

Content Server

バージョン：6.2

ユーザーズガイド

ドキュメント改訂日：4 1 3 , 2 0 0 6

FatWire[®]
SOFTWARE

FATWIRE CORPORATIONは、本文書で、商品性または特定の目的への適合性の黙示的な保証を含めて（これに限定されない）、明示的または黙示的に関わらず、いかなる保証もいたしません。FatWireはいかなる場合も、収益の損失、事業の損失、データの損失、営業の中断、または間接的、特別、偶発的、派生的損失などあらゆる種類の損失に対して、そのような損失の可能性が事前に告知されていたか否かに関わらず、一切の責任を負わないものとします。FatWireは、予告なく本文書の内容を変更することがあります。米国の一部の州や司法管轄では、特定の取引に対する明示的または黙示的保証の除外または制限が認められていないため、上記の制限が適用されない場合があります。

Copyright © 2005 FatWire Corporation. All rights reserved.

本製品は、以下の1つ以上の米国特許によって保護されています。4477698、4540855、4720853、4742538、4742539、4782510、4797911、4894857、5070525、RE36416、5309505、5511112、5581602、5594791、5675637、5708780、5715314、5724424、5812776、5828731、5909492、5924090、5963635、6012071、6049785、6055522、6118763、6195649、6199051、6205437、6212634、6279112、6314089。その他の特許も出願中です。

FatWire, Content Server, Content Server Bridge Enterprise, Content Server Bridge XML, Content Server COM Interfaces, Content Server Desktop, Content Server Direct, Content Server Direct Advantage, Content Server DocLink, Content Server Engage, Content Server InSite Editor, Content Server Satellite, Transact は、米国およびその他の国におけるFatWire Corporationの商標または登録商標です。

*iPlanet, Java, J2EE, Solaris, Sun*またはここに記載されているその他のSun製品は、Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。*AIX, IBM, WebSphere*またはここに記載されているIBMの製品は、IBM Corporationの商標または登録商標です。*WebLogic*は、BEA Systems, Inc.の登録商標です。*Microsoft, Windows* およびここに記載されているMicrosoftの製品は、Microsoft Corporationの商標または登録商標です。*UNIX*は、The Open Groupの登録商標です。その他、記載されている商標および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) およびSun Microsystems, Inc.によって開発されたソフトウェアが含まれています。また、本製品には、Phaos Technology Corporationからの暗号化テクノロジーが含まれています。

本プログラム、関連文書、その他の関連情報やテクノロジーは、米国輸出管理法、敵国貿易法、国際緊急経済権力法、その他の規則を含むがこれに限定されない、すべての米国の法律およびその他適用される輸出法や規制で禁止されている国へ、ダウンロード、輸出、再輸出することは禁じられています。米国外に、インターネットを含む何らかの手段で技術データを持運び、転送する場合は、米国の法律に従う輸出規制の対象となります。特に、本プログラム、関連文書、その他の関連情報やテクノロジー（これに限定されない）を、(1) キューバ、リビア、北朝鮮、イラン、イラク、スーダン、シリア、その他の米国が商品や技術データの輸出を規制している国（または居住者）、(2) 米国財務省が発行する特別指定国リストまたは米国商務省の輸出拒否リストに記載されている人物に対してダウンロード、輸出、再輸出することは禁じられています。本プログラムまたは関連文書をダウンロードまたは使用することにより、前述の事項に合意し、前述の国の管理下、または国民、居住者ではないこと、または前述のリストに載っていないことを声明、保証することになります。さらに、本プログラムや関連文書は、Domestic Only（米国内での使用のみ）またはNot-for-Export（輸出用ではありません）として特定されています（外箱やメディア、インストールやダウンロード実行時、関係文書などに表示または記載）。例外として、カナダ国内でカナダ国民が使用する場合に限り、カナダへの輸出が許可されています。本プログラム、関連文書、その他の関連情報やテクノロジーを、米国外に輸出すること、外国の組織または米国政府の規則で定義されている「外国人」に輸出することは禁じられています。ここで定義されている「外国人」とは、米国国民、米国の国籍を有する者、米国の合法永住者以外の人物（これに限定されない）を指します。本プログラムや関連文書を使用することにより、ユーザーは前述の事項に合意し、ユーザーが「外国人」または「外国人」の管理下でないことを保証するものとします。

Content Server 6.2 ユーザーズガイド

ドキュメント改訂日：4 1 3 , 2 0 0 6

製品バージョン：6.2

FatWire 技術サポート

www.fatwire.com/Support

FatWire 本社

FatWire Corporation

330 Old Country Road

Suite 207

Mineola, NY 11501

www.fatwire.com

目次

このガイドについて	9
このガイドの対象ユーザーについて.....	9
このガイドの編成について	10
このガイドの変更点について	11
関連資料	11

第 1 部 はじめに

1 概要	15
Content Server の概要	16
Content Server プロダクト	16
コンテンツ管理の基本概念	17
コンテンツ：アセットとアセットタイプ	17
デザインアセット	24
Content Server のアセットデータモデル.....	24
アセットに対して実行可能な処理	26
アセットに対する許可	26
依存関係	28
アセットの承認とパブリッシュ	29
アセットの承認.....	29
ページコンテンツの選択.....	29
アセットのパブリッシュ.....	30
ユーザー、ロール、ワークフローのアサイメント	30
ワークフローグループ.....	31
ワークフローレポート.....	31
リビジョントラッキング	31

2 Content Server のインターフェイス	33
Content Server のインターフェイス	34
標準インターフェイス.....	35
ポータルインターフェイス.....	36
サンプルサイト	37
サンプルサイトアセット.....	37

第 2 部 CS の標準インターフェイスの使用

3 標準インターフェイスを使い始めるにあたって	43
標準インターフェイスにログインする	44
Content Server の標準インターフェイスの使用	46
ボタンバー	47
アイコンバー	53
ツリー	54
作業領域	60
アクティブリストの使用	61
標準インターフェイスからログアウトする	64
4 アセットの使用	65
許可について	66
新しいアセットの作成	66
作成可能なアセットについて	66
アセットの新規作成	67
コピー機能を利用したアセットの新規作成	69
CS-Desktop を使用したアセットの新規作成	70
CS-DocLink を使用したアセットの新規作成	71
アセットの検索	72
検索の基本について	72
検索の実行	72
検索条件の保存	74
検索結果の保存	75
保存済みの検索の実行	76
保存済みの検索の編集	76
特定の属性の検索	76
検索のヒント	77
アセットの編集	79
Content Server の標準インターフェイスでの編集	79
CS-Desktop での編集	79
CS-DocLink での編集	79
InSite Editor での編集	80
eWebEditPro の使用	81
アセット内へのリンクの埋め込み	82

内部リンクの埋め込み.....	82
外部リンクの埋め込み.....	83
アセットのコンテンツの埋め込み.....	85
埋め込みリンクとフレックスアセット.....	86
他のサイトとのアセットの共有.....	86
コレクションアセット.....	87
コレクションの作成.....	88
リコメンデーションアセットとコレクションアセット.....	88
アセットと関係.....	90
名前付き関連.....	90
無名関係.....	90
アセットの関連付け.....	90
ページアセット.....	91
アセットの削除.....	92
制約.....	92
アセットの削除.....	92
5 パブリッシュ.....	93
パブリッシュ方法.....	93
パブリッシュの承認.....	94
アセットの依存関係.....	94
依存関係のタイプ.....	94
依存関係：動的パブリッシュ.....	95
依存関係：外部パブリッシュ.....	95
依存関係：静的パブリッシュ.....	95
パブリッシュ保護メカニズム.....	96
パブリッシュコンソール.....	98
パブリッシュタスク.....	98
パブリッシュするアセットの承認.....	98
承認状態の確認.....	99
承認の競合の解決.....	103
エクスポート開始ポイントの指定.....	104
承認済みアセットのパブリッシュ.....	105
現在のパブリッシュ処理の表示.....	107
スケジュール設定されたパブリッシュアクティビティの表示.....	107
パブリッシュ履歴の表示.....	109
6 ワークフロー.....	111
概要.....	112
ワークフローとアセット.....	112
ステップと状態.....	112
ロール、ユーザー、参加者.....	112
ワークフローのアサイメント.....	113
同意とデッドロック.....	114
サンプルワークフロー.....	115

サンプルワークフローのステップと状態	115
サンプルワークフローのシナリオ	117
ワークフロータスク	118
アセットの状態の表示	119
アセットに対するワークフローオプションの設定	119
ワークフロー期限の設定	121
アサイメントリストの更新	124
アサイメントの完了	124
アサイメントの委任	126
投票権の棄権キャンセル	128
承認のデッドロックの解決	129
ワークフローからのアセットの削除	130
アセットの参加者リストの確認	131
ワークフロー参加者の設定	132
アセットのワークフロー進行状態の確認	132
ワークフローグループ	134
ワークフローグループの作成	134
ワークフローグループへの複数アセットの追加	137
ツリーがオフになっているときのワークフローグループへの アセットの追加	137
ワークフローグループからのアセットの削除	138
ワークフローグループの編集または削除	139
ワークフローレポート	141
ワークフローレポートの作成	141
ワークフローレポート条件の保存	142
ワークフローレポートの実行	143
保存済みワークフローレポートの編集または削除	144
7 リビジョントラッキング	145
概要	146
ロールバックとリビジョン履歴	146
自動チェックアウトとチェックイン	147
アセットのチェックアウト	149
チェックアウトを元に戻す	149
アセットのチェックイン	150
バージョン履歴の確認	150
以前のバージョンへの復元 (ロールバック)	151
ロックされたアセットを解除するには	151
第 3 部 Engage の使用	
8 Engage の概要	155
マーチャンダイジングアセットについて	156

セグメントによるビジターの分類.....	156
セグメントに属するビジターへのリコメンデーションの作成.....	156
購買パターンに基づくプロモーション.....	157
9 ビジターのグループ化 (セグメント化).....	159
セグメントについて.....	160
セグメントとビジターデータアセット.....	160
セグメントの作成 概要.....	160
セグメントフォームについて.....	161
[セグメントのフィルタ基準] フォーム.....	161
[セグメント定義] フォーム.....	163
セグメントの作成.....	164
手順 1: セグメントの名前付けおよび定義.....	164
手順 2: ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成.....	165
手順 3: 履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成.....	166
手順 4: ショッピングカート基準によるセグメントの定義.....	176
サンプルセグメントアセット.....	178
セグメントのパブリッシュ.....	178
パブリッシュ完了後.....	178
10 リコメンデーションの作成および設定.....	179
リコメンデーションアセットについて.....	180
リコメンデーションの作成 概要.....	180
レーティングおよび確信度について.....	181
選択基準およびソート順について.....	184
リコメンデーションアセットタイプ.....	186
静的リスト.....	186
静的リストのレーティングの算出.....	186
動的リスト.....	187
動的リストのレーティングの算出.....	187
関連アイテム.....	189
関連アイテムのレーティングの算出.....	189
リコメンデーションアセットの作成.....	190
静的リストリコメンデーションの作成.....	190
動的リストリコメンデーションの作成.....	196
関連アイテムリコメンデーションの作成.....	199
ソート順の設定.....	202
リコメンデーションアセットの編集.....	203
推奨されるアセットの設定.....	205
アセットに対するレーティングの割り当て.....	206
フレックスアセットの関係の設定.....	207
リコメンデーションアセットの検証.....	208
サンプルリコメンデーションアセット.....	209
レーティングされたフレックスアセットのパブリッシュ.....	209

11 プロモーションの作成	211
プロモーションについて	212
プロモーションおよびリコメンデーションについて	212
プロモーションが重複している場合	212
プロモーションの作成	214
ステップ 1 プロモーションの名前付けと定義	214
ステップ 2 プロモーションの目標の定義	215
ステップ 3 プロモーションの対象ビジターの定義	216
ステップ 4：割引の定義	217
ステップ 5 プロモーション期間の定義	220
ステップ 6 サイトのプロモーションの広告	220
サンプルプロモーションアセット	222
プロモーションのパブリッシュ	222

付録

A. フレックスアセットモデル	225
フレックスアセットモデルの概要	226
フレックスアセットの機能	226
Engage の使用	227
アセットの検索	227
新しいアセットの作成	227
手順の索引	229
牽引	231

このガイドについて

このガイドでは、Content Server 6.2 の インターフェイス、オンラインサイトとの関連性、コンテンツプロバイダがビジネスコンテンツを作成するにあたって Content Server インターフェイスで実行するタスクに関する概要を説明します。

このガイドは、コンテンツ管理タスクを実行するにあたり、高度な専門知識のないユーザーでも、効率的に Content Server を使用できるように作成されています。さらに、オンラインサイトへ配信するコンテンツの作成、編集、承認の方法、必要に応じたワークフローとのコラボレーション、コンテンツ管理の方法についても説明します。

このガイドの対象ユーザーについて

このガイドは、Content Server のインターフェイスを使用してコンテンツを作成、見直し、承認するコンテンツプロバイダ向けに作成されています。一般的に、コンテンツプロバイダは、社内コミュニケーション、財務経理、人事、営業、マーケティングなどの分野を専門としています。コンテンツプロバイダの専門性はコンテンツそのものであり、コンテンツ管理に使用するソフトウェアではないため、高度な専門知識などは必要ありません。

このガイドは、コンテンツプロバイダのアシスタントや機能を実行する担当者、単に Content Server の基本コンセプトを理解したいユーザーにも役に立つ内容であると同時に、Content Server の管理者にも最適な内容になっています。管理者とは、コンテンツプロバイダのニーズに合わせてこのソフトウェアの開発やカスタマイズをサポートしたり、このソフトウェアの保守やビジネスユーザーに技術的なサービスを提供する人物です。管理者の機能に関する情報は、『*Content Server Administrator's Guide*』を参照してください。

このガイドの編成について

このガイドは以下の各章から構成されています。

- **第 1 章 「概要」**：Content Server とその構成要素であるアセット、ワークフロー、パブリッシュ、およびリビジョントラッキングの高レベルな概要を説明します。
- **第 2 章 「Content Server のインターフェイス」**：Content Server のメインインターフェイスと同梱のサンプルサイトについて説明します。
- **第 3 章 「標準インターフェイスを使い始めるにあたって」**：Content Server の標準インターフェイスにログインして、実際に使用方法について説明します。
- **第 4 章 「アセットの使用」**アセットを作成、編集、検索、共有、削除する方法について説明します。この章では、ページアセットとコレクションアセットの使用方法について説明します。
- **第 5 章 「パブリッシュ」**：パブリッシュプロセスの概要と、パブリッシュするアセットを承認する手順について説明します。
- **第 6 章 「ワークフロー」**：ワークフローコンセプトの概要とワークフローに関連する特定のタスクを実行する手順について説明します。
- **第 7 章 「リビジョントラッキング」**：リビジョントラッキングと、アセットをトラッキングする手順について説明します。
- **第 8 章 「Engage の概要」**：特定のオンラインサイトビジター向けのメッセージを作成できる Engage の概要を説明します。
- **第 9 章 「ビジターのグループ化 (セグメント化)」**：セグメントの概要とその作成手順について説明します。
- **第 10 章 「リコメンデーションの作成および設定」**：リコメンデーションアセットの概要とその作成、検証手順について説明します。
- **第 11 章 「プロモーションの作成」**：プロモーションの概要とその作成手順について説明します。
- **付録 A 「フレックスアセットモデル」**：フレックスアセットデータモデルとそのコンテンツプロバイダとの関連性について説明します。

このガイドの最後には、便利なコンテンツ管理の手順一覧がありますのでご利用ください。

このガイドの変更点について

このガイドは、Content Server 6.2 用に改訂されたものです。主な変更点は次のとおりです。

- Content Server のポータルインターフェイスの使用法の説明を新しいガイド『Portal Applications User's Guide』に移動して、このガイドでは標準インターフェイスを使用してタスクを実行する方法についてのみ説明しています。Content Server のポータルインターフェイスの使用法は、『Portal Applications User's Guide』を参照してください。
- このデータモデルとそのコンテンツプロバイダとの関連性について説明する付録 A 「フレックスアセットモデル」が追加されました。
- Content Server に Fatwire Professional Services のベストプラクティスに従ってサイトを開発する方法を示すサンプルサイトである FirstSite が利用できるようになり、37 ページの「サンプルサイト」FirstSite で利用可能なサンプルアセットタイプとアセットについての説明が追加されました。

本書のグラフィックについて

本書で使用されるグラフィックの多くは、Content Server のユーザー インターフェイスを画面から取り組んだものです。これらのスクリーンショットは、本書用に作成されたコンテンツ管理シナリオの手順を実行する際の参考としてお使いください。スクリーンショットは、お客様のマシンにインストールされた Content Server の画面、サイト、その他の機能に関するサポートが必要な場合は、Content Server 管理者にお問い合わせください。

関連資料

FatWire ライブラリには Content Server 開発者および管理者向けの出版物が含まれており、これらは Content Server ソフトウェアの製品マニュアルとして同梱されています。また、次の Web サイトにも掲載されています。

<http://e-docs.fatwire.com/CS>

この Web サイトはパスワード保護されていますので、FatWire テクニカルサポートからパスワードを入手してください。テクニカルサポートの連絡先情報は、次の Web サイトをご覧ください。

http://www.fatwire.com/Support/contact_info.html

ホワイトペーパーおよびその他の文書には Content Server の特徴やビジネスアプリケーションに関する情報が記載されています。これらの文書を入手するには、sales@fatwire.com までご連絡ください

第 1 部 はじめに

ここでは、Content Server の概要を説明します。この部は、以下の各章から構成されています。

- [第 1 章 「概要」](#)
- [第 2 章 「Content Server のインターフェイス」](#)

第 1 章 概要

コンテンツプロバイダは、Web サイトのコンテンツを作成、管理、配信する作業を担当します。コンテンツプロバイダの専門知識はコンテンツであり、コンテンツ管理に使用するソフトウェアではありません。このガイドは、コンテンツ管理タスクを実行するにあたり、高度な専門知識のないユーザーでも、効率的に Content Server コンテンツアプリケーションを使用できるように作成されています。

Content Server を使用して管理するコンテンツの内容は、組織の分野によって異なります。ニュースサイトではアークティクル、写真、ビデオクリップの作成、人事部では人材募集や人事制度の管理、オンライン販売会社ではプロダクトの説明、特別キャンペーン情報、クーポンの提供などが考えられます。

Content Server で管理するアイテムをアセットと呼びます。アークティクル、クリップ、クーポン、プロダクトの説明、写真などもアセットに含まれます。アセットは、作成されてからオンラインサイトに掲載されるまでに複数のステップを移動します。アセットがこれらのステップを経て人から人へ移動するプロセスをワークフローと呼びます。リビジョントラッキングを使用して、ワークフローを移動するアセットの変化を監査することもできます。

アセットは、最終的に配信サイトに移動させてビジターが利用できるようにします。この配信サイトに移動するプロセスをパブリッシュと呼びます。

この章は、以下の節から構成されています。

- [Content Server の概要](#)
- [コンテンツ管理の基本概念](#)
- [アセットに対して実行可能な処理](#)
- [アセットに対する許可](#)
- [依存関係](#)
- [アセットの承認とパブリッシュ](#)
- [ユーザー、ロール、ワークフローのアサイメント](#)
- [リビジョントラッキング](#)

Content Server の概要

Content Server (CS) プロダクトファミリーは、高性能な大規模コンテンツ管理および配信システムです。コンテンツプロバイダは、CS を使用して、Web サイトやオンラインビジネスを運営する他のオンラインサイト (WAP など) 上のコンテンツの管理、配信を行うこととなります。

Content Server プロダクト

Content Server は以下のプロダクトから構成されています。

- **Content Server** - すべてのコンテンツアプリケーションの基礎となるコアアプリケーション。CS プロダクトファミリー全体を稼働させるオペレーティングシステムです。管理しているコンテンツを格納し、サイトにコンテンツを提供します。

Content Server には、ユーザーにさまざまな機能を提供する複数のインターフェイスがあり、コンテンツがアセットと呼ばれるオブジェクトとして Content Server データベースに格納される、コンテンツ用の構造が作成されます。

以下のプロダクトは、Content Server に追加できるものの 1 つです。

- **Engage** - マーケティングの対象となる顧客を複数のセグメントに分割して、パーソナライズした販売促進メッセージやマーケティングメッセージをターゲットとなるセグメントに提供できるようにしたアプリケーション。プロモーションやセグメントなどのアセットタイプが表示されている場合は、Engage がシステムにインストールされています。

コンテンツプロバイダは、管理システムを使用して、オンラインサイトに配信するコンテンツを作成します。アセットが承認されて配信システムにパブリッシュされるまでのプロセスは、ワークフローおよびリビジョントラッキングを使用して、アセット (コンテンツ) をトラッキングおよび管理します。

コンテンツ管理の基本概念

ここでは Content Server によるコンテンツの定義および処理方法について説明します。このガイドで使用される「アセット」、「アセットタイプ」などの用語についても説明します。

コンテンツ：アセットとアセットタイプ

Content Server のコンテンツは「アセット」と呼ばれます。アセットは異なるタイプに分かれています。アセットとアセットタイプの違いを以下に説明します。

Spark Contact: (Contact)

キャンセル 保存

*名前: John Doe

説明:

ファイル名:

パス:

外部アイテムID:

Spark Content Definition: [Contact](#)

Phone: 516-555-5555

Email: john.doe@fatwiredetail.com

レーティング: [セグメントが定義されていません]
セグメント適用外ユーザーのレーティング

関連アイテム: [リコメンデーションが定義されていません]

キャンセル 保存

アセットは、コンテンツ入力フォームでユーザーが入力したフィールドによって作成されるオブジェクトで、左側の図と同じようなものになります。このサンプルでは、アセットは連絡先で、ユーザーによって入力されたフィールド値で定義されています。

特定の名前
(この例では John Doe)

特定の電話番号
(この例では 516-555-5555)

特定の電子メールアドレス
(この例では
john.doe@fatwiredetail.com)

アセットはフィールド値により定義されます。保存すると、Content Server のデータベースに格納されます。アセットは、編集、調査、削除、コピー、ワークフローへの配置、リビジョントラッキング、検索、オンラインサイトへの配信が可能です。

この例のアセットも、他のアセットと同様、画面左側にあるフィールド名（名前、電話番号、電子メール）でコンテンツ入力フォームに定義されているアセットタイプから作成されたものです。アセットタイプはフィールド名により定義されます。

アセットタイプとは 1 つの仕様であり、アセットタイプの性質を定義するために、管理者（およびシステム）によって作成された一連のフィールド名です。これには、新聞記事、求人広告、HTML ドキュメント、例にあるような連絡先などがあります。

Content Server では多くの種類のアセットタイプが作成されます。各アセットタイプにはこのように書式化された専用のコンテンツ入力フォームがありますが、フィールドはアセットタイプごとに固有となります。ここで、アセットタイプは、ユーザーが作業に必要なものアセットタイプを選択して、そこからアセットを作成、編集するために作成されているということを覚えておいてください。

Spark Contact: (Contact)

キャンセル 保存

*名前: John Doe

説明:

ファイル名:

パス:

外部アイテムID:

Spark Content Definition: [Contact](#)

Phone: 516-555-5555

Email: john.doe@fatwireretail.com

レーティング: [セグメントが定義されていません]
セグメント適用外ユーザーのレーティング

関連アイテム: [リコメンデーションが定義されていません]

キャンセル 保存

注

厳密に言えば、17 ページの「コンテンツ：アセットとアセットタイプ」で説明されているフィールドは属性と呼ばれます。この識別は管理者と開発者にとっては重要ですが、コンテンツプロバイダの作業や、Content Server インターフェイスにおけるコンテンツ管理を理解する上では、特に影響はありません。このガイドでは、「フィールド」と「属性」を同意義で扱っています（例：72 ページの「アセットの検索」）。

コンテンツ入力フォームからオンラインサイトまでの流れ

コンテンツ入力フォームは、ビジネスユーザーがオンラインサイト向けコンテンツを提供、編集するためにデザインされたインターフェイスです。コンテンツ入力フォームは、オンラインサイトとデータベースに対して明確な関係を持っています。Content Server では、コンテンツの保存にデータベースを使用します。ここでは、図 1 および 図 2 を例にとって、この関係を説明します。これらの図では、コンテンツ入力フォームと（静的ではなく）動的オンラインサイトの関係が示されています。

たとえば、図 1 の [アーティクル] フォームなどのコンテンツ入力フォームに、コンテンツを入力して保存すると、コンテンツ管理データベースに入力したコンテンツが保存されます（図 1 のステップ 1）。たとえば、アセットの動的パブリッシュを承認した後、適切な許可のあるユーザーまたは CS 管理者がアセット

を配信システムにパブリッシュすると、配信システムの複製データベースによりアセットが受け入れられます (図 1 のステップ 2)。最後に、アセットがオンラインサイトへ配信する準備ができると、コンテンツのデータベースからの引き出し、書式化およびレイアウト (図 1 のステップ 3)、オンラインサイトへの配信は、すべてコードで実行されます (図 2 のステップ 4)。

コンテンツ入力フォームとオンラインサイトの関係は複雑ではありません。コンテンツ入力フォームは、ストレージとしてデータベースの未加工のコンテンツを受け入れます。サイトは、クライアントが表示できる形式でコンテンツを表示します。

コンテンツ入力フォームには、以下のような大きな利点があります。

- Content Server データベースに関する知識が必要ないこと

コンテンツ入力フォームは Content Server データベースへの窓口のようなもので、フォームに入力されたコンテンツはデータベースに保存され、取得するコンテンツはデータベースから読み出されて編集用のコンテンツ入力フォームに表示されます。

コンテンツ入力フォームは、Content Server でサポートされている各種データベースに対する標準インターフェイスとなるため、ユーザーにはデータベースに関する特別な知識は必要ありません。使用しているデータベースを他のデータベースに変更した場合 (例: SQL サーバーを Oracle データベースに変更した場合) でも、この切り替えはユーザーに見えないようになっています。

- HTML や他のマークアップ言語の知識が必要ないこと

コンテンツ入力フォームでは、ユーザーが入力または編集したコンテンツを書式化する必要はありません。書式化は、開発者がオンラインサイト設計者の仕様に合わせて作成したコードによって実行されるため、コンテンツプロバイダは提供するコンテンツの内容と品質のみに集中することができます。

- 入力が必要な情報が明確であること

コンテンツ入力フォームでは、電話番号、仕事内容、ファイル名などのフィールド名に従って情報を入力するようになっているため、どのようなコンテンツを入力すればよいかを簡単に予測することができます。

- 再利用性や統一性が高いこと

フォームに入力した各コンテンツユニットは、必要に応じて何度でも、さまざまな形式で、オンラインサイト上の複数の場所で再利用できます。コンテンツユニットを再利用することで、サイト全体の統一性が高まり、毎回使用する情報を繰り返し作成する手間が省けます。

図 1 コンテンツ入力フォーム

注意：この図は次ページの図と一対になっています。
ページを並べて表示してください。

Content (Article): NECUnveilsFirstMobilePhonewithHD

キャンセル 変更の保存

*名前: NECUnveilsFirstMobilePhonewithHD

説明:

テンプレート: ArticleDetailPage

状態:

ID: 1124813172330

外部アイテムID:

Content Definition: Article

Content Parent:

* ContentCategory (5): 選択したアイテムの追加 ツリーで Template を選択してから [追加] をクリックします。

*Headline: NEC Unveils 1st Mobile Phone

Subheadline:

Byline: by John Doe

*Abstract:

- The phone makes its debut at ITU Telecom Asia 2004 in Busan.
- A tiny 1.5GB hard drive in the phone greatly expands memory capacity.
- The phone is also equipped with a

*Body:

BUSAN, Korea - September 7, 2004
NewElectronicsCompany unveiled the first-ever mobile phone (model: SEH-V5400) with an internal hard disc drive. The company's latest innovation, which also comes with a mega-pixel camera, is currently being exhibited at the ITU Telecom Asia 2004 from September 6 to 11 at the Busan Exhibition and Conference Center (BEXCO).

関連アイテム:

作成日: Oct 20, 2004 4:19:05 PM 作成者: admin

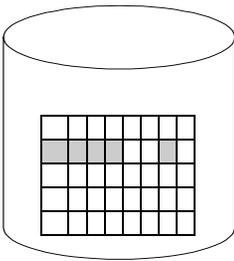
変更日: Nov 2, 2004 4:32:29 PM 更新者: firstsde

キャンセル 変更の保存

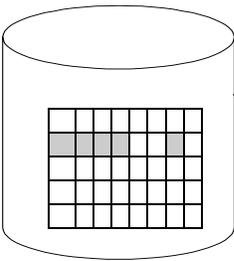
1 コンテンツ入力フォームへ入力されたコンテンツは、Content Serverのコンテンツ管理データベースに保存されます。

2 アセットのパブリッシュを承認した後、コンテンツプロバイダは配信システムデータベースへアセットをパブリッシュします。

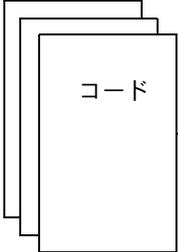
2 アセットをオンラインサイトに配信する準備ができると、コンテンツベースからの引き出し、書式化、レイアウトは、すべてコードによって実行されます。



コンテンツ管理データベース



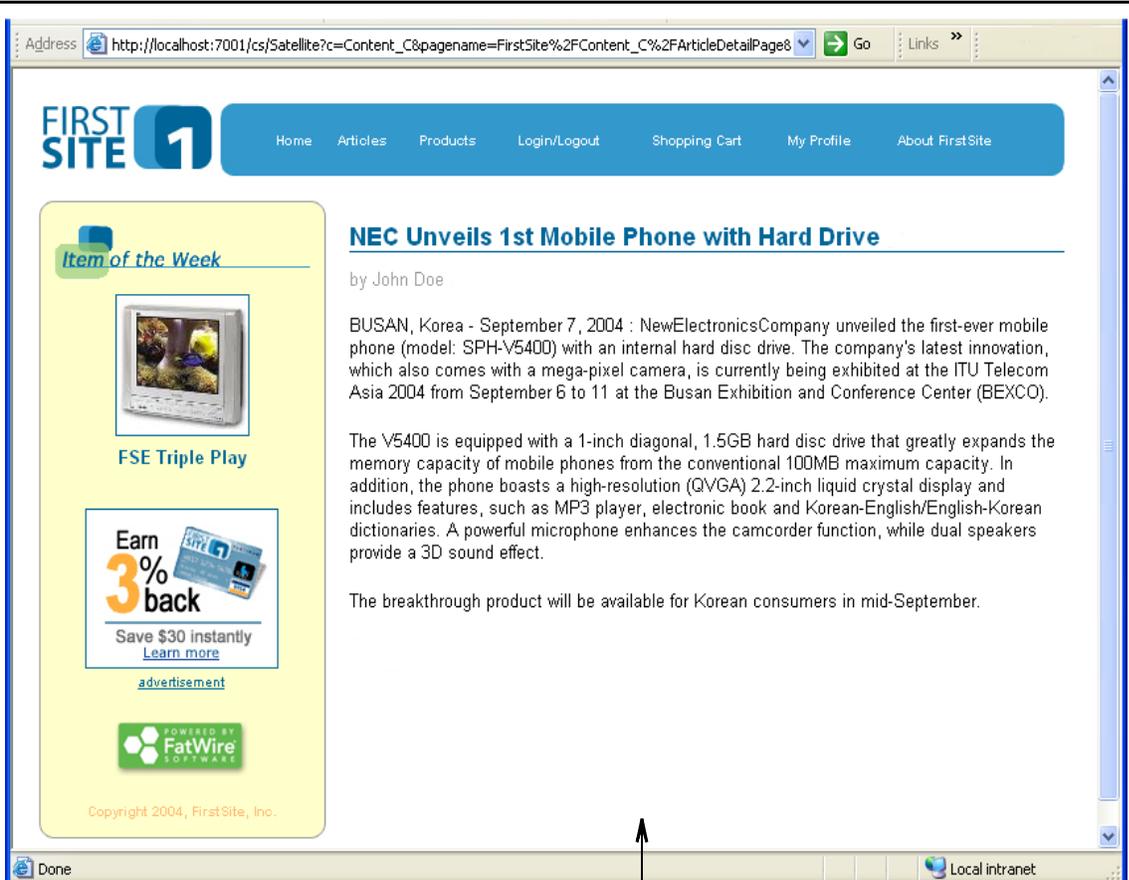
配信システムデータベース



コード

図 2 オンラインサイト

注意：この図は前ページの図と一対になっています。
ページを並べて表示してください。



2 書式化された
コンテンツは
コードにより
オンラインサ
イトへ配信さ
れます。

構造化されたコンテンツアセット対 ドキュメントアセット

コンテンツプロバイダは、コンテンツを入力するフィールドを使用してコンテンツをパブリッシュするようにユーザーに求める**構造化されたコンテンツアセットタイプ**と、パブリッシュ可能なコンテンツが格納されているファイル名をユーザーに求める**ドキュメントアセットタイプ**の 2 種類のアセットタイプを使用します。

- 構造化されたコンテンツアセット：**
 構造化されたコンテンツアセットは、構造化されたコンテンツアセットタイプのインスタンスです。構造化されたコンテンツアセットは、事前に設定されたコンテンツ入力フォームに直接コンテンツを入力して作成します。フォームは、部品番号、パブリッシュ日、イメージ、新聞記事のテキストなど、特定の情報を求めるフィールドを利用することでコンテンツを構造化しています。

右のサンプルフォームには、名前、電話番号、電子メールを入力します。フォームに入力したコンテンツは、[ページ 18](#) で説明されているように、Content Server のデータベースに直接保存されます。通常、コンテンツの書式化とレイアウトを制御することはできません。

構造化されたコンテンツアセット

- ドキュメントアセット：**ファイルベースのコンテンツを持つアセットは「ドキュメントアセット」と呼ばれます。ドキュメントアセットは、ドキュメントアセットタイプのインスタンスです。コンテンツを任意のファイル（この例では .doc ファイル）に入力して、そのファイルをドキュメントアセットに添付すると、ドキュメントアセットが作成されます。ドキュメントアセットを取り扱う作業を「ドキュメント管理」と呼びます。

お使いのシステムで CS-DocLink (Windows エクスプローラの拡張機能を提供する) がサポートされている場合、それを使用してドキュメントアセットを作成、管理できます。詳細については、[71 ページの「CS-DocLink を使用したアセットの新規作成」](#)を参照してください。

構造化されたコンテンツは、一貫性と標準化が必要な場合に使用されます。一方、ファイルベースのコンテンツは、自由形式のコンテンツが許可されている場合に使用されます。ファイルベースのコンテンツでは、ユーザーが自由にコンテンツを作成したり、独自の形式や書式で表現できます。

ドキュメントアセット

構造化されたコンテンツアセットは、ファイルと関連付けることはできないため、ドキュメント管理もサポートされていません。

デザインアセット

デザインアセットと呼ばれる一部の構造化されたコンテンツアセットを使用すると、Web サイトコンテンツを書式化、整理できます。以下のリストに、使用できるデザインアセットの一般的な説明を記載しています。デザインアセットの利用やアクセス権については、所属する組織の Content Server 導入形態とシステム管理者から許可が与えられているかどうかによって決まります。

- クエリーアセットには通常、選択したパラメータまたは条件に基づいてアセットのリストを取得するデータベースクエリーが格納されます。クエリーアセットは、ページアセットおよびコレクションで使用します。
- コレクションアセットには、1つのタイプのアセットを順序付けしたリストが格納されます。コレクションは、1つ以上のクエリーを実行して、その結果から選択したアイテムをランク付けして順番に並べることによって「作成」します。このランク付けに従って順序付けしたリストがコレクションアセットです。
- ページアセットには、他のアセットへの参照が格納され、サイト設計者が導入した設計に従って整理されます。ページアセットには、コレクション、クエリー、アーティクルなどを関連付けます。
- テンプレートアセットは Web サイトの外観と雰囲気を作成に使用します。コンテンツプロバイダは、テンプレートアセットを割り当てて、アーティクルなどの他のアセットを書式化します。通常、テンプレートを割り当てる方法は、サイト開発者が指示します。
- リンクアセットには、外部 Web サイトへの URL が格納されます。リンクアセットを使用して、別のアセット内に外部リンクを埋め込みます。

通常、サイト開発者がデザインアセットを作成します。通常、コンテンツプロバイダは、サイト開発者が作成したデザインアセットを使用して、コンテンツの書式化、整理を行います。他のアセット用に選択する以外に、コンテンツプロバイダがテンプレートやクエリーを操作することはほとんどありません。リンク、コレクション、ページの使用方法については、「[第 4 章 アセットの使用](#)」で説明します。

その他のコアアセットタイプには、CSElement と SiteEntry があります。これらは開発者が設計時にパブリッシュ作業を効率的に行うために使用します。サイトデザインアセットタイプとこれらの使用方法の詳細については、『*Content Server Developer's Guide*』を参照してください。

Content Server のアセットデータモデル

Content Server 開発者は、基本アセットモデルとフレックスアセットモデルの 2 種類のアセットデータモデルを使用して、データを Content Server データベースに保存する方法を定義します。

基本アセットは、アーティクル、イメージファイル、ページ、クエリーなどそれぞれのコンテンツを表すスタンドアロンアセットタイプです。基本アセットは単純なデータ構造を持ち、相互に単純な親子関係を持たせることができます。

フレックスアセットは複雑なデータ構造を持ち、基本アセットより多数のフィールドをサポートできます。またオプションで、複数のペアレントやグランドペアレント（2 階層上）からフィールド値を継承することもできます。

コンテンツプロバイダの業務内容のほとんどは、フレックスアセットであっても基本アセットであっても同じことが多いため、これらのアセットタイプの厳密な

区別は重要ではありません。このガイドでは、フレックスアセットまたは基本アセットに特有な機能や状況がある場合のみ説明します。（この情報は「[付録 A フレックスアセットモデル](#)」にも要約されています。）

アセットに対して実行可能な処理

Content Server でアセットに対して実行可能な処理の概要は以下のとおりです。

- オンラインフォームに入力して、アセットタイプの新しいインスタンスを作成する。アセットの作成およびパブリッシュ方法の詳細については、[図 1](#)と[図 2](#)を参照してください。
- Word ドキュメントおよび他の一般的なファイルタイプを新しいアセットタイプのインスタンスに変換する。
- 簡単または複雑な条件を指定して、アセットを検索する。
- Content Server の標準インターフェイス内部または外部のアセットコンテンツを変更する。
- サイト間でアセットをコピー、共有する。
- アセット同士を関連付ける。
- アセットを選択、ランク付けして表示用に整理する。
- パブリッシュするアセットを承認する（準備ができていないアセットや変更の可能性のあるアセットが誤ってパブリッシュされるのを防ぐ機能あり）。
- パブリッシュするアセットをプレビューして確認する。
- 承認済みのアセットを配信システムにパブリッシュする。
- アセットが組織内を移動する過程をトラッキングする。
- アセットに加えられるリビジョンをトラッキングする（前の状態にロールバックする機能あり）。
- 古いアセットや使用されていないアセットを削除する。

各ユーザーが実行できる処理は、ユーザーログイン名に与えられているロールによって決まります。適切な許可がない場合は、機能を使用できないか（淡色表示されるか、表示されない）、機能を実行しようとする拒否されます。

アセットに対する許可

標準インターフェイスとポータルインターフェイスの外観は、与えられている許可によって異なります。許可とは、アセットの作成、表示、編集、ワークフローへの参加、パブリッシュの承認など、コンテンツを管理する許可のことです。自分に与えられた許可により、ワークスペースに表示されるアセットやアセットタイプの種類、アセットの操作に使用できるコンテンツ管理ツールの種類が使用できるかが決定されます。

許可は CS 管理者によって与えられ、その有効性はワークフローによって決定されます。

- たとえば、特定のアセットを作成できるかどうかは、管理者から特定のアセットを作成する許可を与えられたかどうかによって決まります。許可がないと特定のアセットを作成することはできないため、コンテンツアセットタイプはいずれのインターフェイスにも表示されません。
- ワークフローが任意のアセットに割り当てられると、ワークフローのアセットに対する許可が変更されたこととなります。ワークフローの任意の段階で

参加者になっていない場合は、この段階のアセットに対する作業はできません。

依存関係

依存関係は、アセットが削除可能かどうか、どの順番で削除されるかなど、アセットの管理方法を決定づけるため、コンテンツプロバイダにとっては重要な考慮点となります。

依存関係とは、相互に関連付けられたアセット間に存在する関係のことです。データモデルに伴う関係もあれば、コンテンツプロバイダによりアセットレベルで作成される関係もあります。アセットのアソシエーションを作る方法は以下のとおりです。

- 管理者は、共通（共有）フィールドを持つアセットタイプを作成できます。対応するアセットが作成されると、フィールド値が共有されます。このタイプのアソシエーションはデータモデルで定義され、CS 管理者はそれを仕様にして共有フィールドを持つアセットタイプを作成します。
- 管理者は、他のアセットタイプをポイントするアセットタイプを作成できます。たとえば、アセットタイプ A がアセットタイプ B からの情報を必要とする場合、アセットタイプ A のフィールドがアセットタイプ B の特定のフィールドをポイントするように作ることが可能です。対応するアセットが作成されると、任意のフィールドには別のアセットの任意のフィールドから値が引き出されます。このタイプのアソシエーションもデータモデルで定義されます。
- コンテンツプロバイダは、ドキュメントアセットを他のアセットに関連付けることができます。たとえば、ドキュメントアセットを CS フォルダに添付したり、CS フォルダを他のフォルダに添付すると、依存関係が作成されます。

依存関係にあるアセットはデータを共有するため、「ルート」アセットが削除されると依存関係にあるアセットのデータも失われます。アセットのデータ損失を防ぐため、Content Server ではルートアセットを直接削除することはできません。ルートアセットを削除するには、最初にアセットの依存関係をルートアセットから取り消しておく必要があります。他の操作に関しても同様の理由が適用されます。依存関係にあるアセットをパブリッシュのために承認するには、最初にルートアセットを承認しなければなりません。

本質的に、依存関係は階層関係から発生するため、依存関係は階層の下側から解除する必要があります。依存関係が原因で操作を実行できない場合、使用中のインターフェイスから依存関係の警告が表示され、原因となっているアセットが特定されますので、問題のアソシエーションを適切に解除ことができます。

アセットの承認とパブリッシュ

Content Server を使用する最終的な目的は、コンテンツを配信システムにパブリッシュすることです。アセットをパブリッシュするには、まずアセットを承認する必要があります。

アセットの承認

パブリッシュするアセットを承認する目的は、パブリッシュされる前に、そのアセットと従属アセットが承認されていることを確認するためです。これによって、配信サイトに壊れたリンクが表示されるのを防ぐことができます。

アセットの依存関係は、アセット間に何らかのアソシエーションがある場合に存在します。たとえば、任意のページアセットとコレクションアセットの間にと何らかのアソシエーションがあるとします。そのコレクションアセットは3つのアーティクルアセットとアソシエーションがあり、そのアーティクルアセットの2つは ImageFile アセットとアソシエーションがあるとします。このツリー階層にはこれらすべてのアセット間のペアレント・チャイルド（親子）関係が示されますが、パブリッシュするには、これらすべてのアセットを承認する必要があります。

特定のアセット間の依存関係は既存のもので、明示的な依存関係は設計者と管理者が設定します。承認の許可を持つコンテンツプロバイダのルールは、承認プロセス中に発生する依存関係の競合を解決し、パブリッシュを正常に完了させることです。CS は、設計チームが設定した依存関係を適用し、競合を識別して解決できるようにします。

アセットの承認の詳細については、「[第 5 章 パブリッシュ](#)」を参照してください。

ページコンテンツの選択

設計チームは、作成したページアセットをサイトプランの適切な場所に置いて、コンテンツを整理、配置します。

ページアセットには、イメージファイル、テキストファイル、クエリーの結果、コレクション（アセットのリスト）など、他のアセットへの参照が格納されます。ページアセットをオンラインページにレンダリングする際には、ページアセットに関連付けられた各アセットに割り当てられているテンプレートが使用され、コンテンツの配置場所、書式化の方法、表示するボタンの種類や動作内容など、レンダリング後のオンラインページの外観を制御します。

コンテンツプロバイダが、ページのコンテンツを選択する場合もあります。たとえば、サイトのホームページアセットにクエリーとコレクションがあると仮定します。ホームページテンプレートは、コレクションの上位にランク付けされた記事を取り出し、生成されたページにそれぞれの見出しと要約を表示します。クエリーから返されたアーティクルを取り出し、これらを見出しをホームページの左側のリストに表示します。

コンテンツプロバイダは、ホームページアセットに割り当てられたコレクションを作成します（コンテンツを選択して順序付けすること）。コレクションを作成する際には、1つ以上のクエリーを実行して、その結果からアイテムを選択します。既にコレクションに含まれていてランク付けされているアセットを調べ、そのまま残すアイテムと新しいアイテムに置き換えるアイテムを決定します。

アセットのランクを変更すると、アセットの順序を変更できます。新しいアセットを追加するには、ランク付けされていないアーティクルにランクを追加します。ランクを変更して、ページアセットをパブリッシュすると、レンダリング後のページに表示されるアーティクルの順序に反映されます。コレクションの作成の詳細については、[87 ページの「コレクションアセット」](#)を参照してください。

プレビュー機能を使用して、パブリッシュ後にアセットの書式やコンテンツがどのように表示されるかを確認します。プレビューできるのは、テンプレートが割り当てられたアセットです。ページのプレビューの詳細については、[60 ページの「作業領域」](#)を参照してください。

アセットのパブリッシュ

パブリッシュが承認されたアセットは、パブリッシュイベントが発生するまでデータベースでパブリッシュ承認のマークが付けられます。コンテンツプロバイダは、標準またはポータルインターフェイスを使用して、いつでもイベントを起動できます。または、イベントが指定した日時に発生するようにスケジュール設定することもできます。いずれの場合もパブリッシュはバックグラウンドで発生するため、パブリッシュイベント中も Content Server の標準インターフェイスを使用できます。

パブリッシュイベントが発生すると、パブリッシュの承認済みで準備ができていすべてのアセットが、指定したパブリッシュ先にパブリッシュされます。これには、任意のサイトからのアセットも含まれます。従属アセットがまだ承認されていない場合は、たとえ承認済みであってもそのアセットのパブリッシュは保留されます。パブリッシュイベントの実行中は、パブリッシュ中のアセットを開いたり、保存したりすることはできません。

パブリッシュすると、Content Server によって、ローカルまたはネットワークデバイスに静的 HTML ファイルが作成されるか、Content Server が稼働している別のサーバーにアセットがミラーリングされます。3 番目のパブリッシュ方法では、Content Server が稼働していない Web サイトへの配信用にコンテンツを XML ファイルに変換します。アセットをパブリッシュする方法は、組織や使用するパブリッシュ方法によって異なります。

Content Server の標準インターフェイスでのパブリッシュの詳細については、[「第5章 パブリッシュ」](#)を参照してください。Content Server のポータルインターフェイスでのパブリッシュの詳細については、*『Portal Applications User's Guide』*を参照してください。

ユーザー、ロール、ワークフローのアサイメント

ほとんどの組織では、各個人がさまざまな役割と責任を持ち、複数の人によってサイトへのパブリッシュが実行されます。多くの人が同じ役割を実行する場合もあれば、1人が複数の役割を担当することもあります。CS では、各個人の責任を「ロール」、各個人を「ユーザー」と呼び、全員がユーザー名を持ちます。このユーザー名は、各個人の識別とログインに使用され、本人であることを証明するものです。

作業は人から人へと移行します。作成者がアーティクルのテキストを作成または構成し、それを編集者に渡します。編集者は意見を添付してテキストを作成者に戻すか、変更を加えて最終的な見直しおよび承認のために送信します。コンテンツが予測できる方法で人から人へと移行するこのプロセスを、ワークフローと呼びます。

組織でワークフロー機能を使用している場合、タスクと許可は、ほとんどの場合、ユーザー名ではなくロールに割り当てられます。ユーザーはユーザー名を使用してログインしますが、作業内容は割り当てられたロールによって決まります。Content Server インターフェイスではアイコンバーの直下にロールが表示されます。

Content Server の標準インターフェイスまたはポータルインターフェイスにログインすると、自分に割り当てられているすべてのアセットが表示されます。標準インターフェイスを使用している場合は、[マイアサイメント] の下の作業領域にアサイメントが表示されます。ポータルインターフェイスを使用している場合は、アセットの種類によって、[コンテンツアサイメント] または [ドキュメントアサイメント] のポートレットにアサイメントが表示されます。また、アサイメントを完了しなければならない期間も表示されます。休暇などで担当できない場合は、自分と同じロールの別のユーザーにアサイメントを委任できます。アサイメントを完了できない場合は、自分を参加者から削除する（承認作業を辞退する）ことができます。

アセットの処理が完了したら、アサイメントの処理が終了したことを表します。ワークフロープロセスによってアセットの状態が変更され、次にアサイメントを受け取るユーザーが決定されます。

自分が作成したアセットにワークフロープロセスを割り当てることもできますが、一般的には、管理者がユーザー環境をパーソナライズする作業の一環でワークフローを割り当てて、ユーザーが作成できるアセットの参加者を設定することがほとんどです。

標準インターフェイスでのワークフローの詳細については、「第 6 章 ワークフロー」を参照してください。ポータルインターフェイスでのワークフローの詳細については、『Portal Applications User's Guide』を参照してください。

ワークフローグループ

ワークフローグループを使用すると、一連の定義されたアセットを組織的に管理できます。これにより、ワークフローグループのアセットと一緒にワークフロープロセスを完了できるようになり、パブリッシュの段階に進むことができます。ワークフローグループを作成するときは、グループにアセットを割り当てるユーザーと、そのグループを管理するユーザーを決定します。グループには、ワークフロープロセスも割り当てます。

ワークフローレポート

ワークフローレポートを使用すると、ワークフローのアセットやユーザーのアサイメントの進捗状況をトラッキングできます。ワークフローレポートは、現在のワークフローの状態を判断できる便利なメカニズムです。たとえば、今後 24 時間以内にアサイメントの期限のある作成者を全員表示するようにレポートを実行することができます。

リビジョントラッキング

Content Server では、アセットに加えられた変更をトラッキング、管理できます。リビジョントラッキングが有効な場合、CS では以下の処理を実行できます。

- 同時に複数のユーザーがアセットを編集または削除しないよう、アセットをロックする。

- アセットに加えられたすべての変更をトラッキングする。
- アセットを以前のバージョンに復元する（ロールバック）。

アセットを操作するには、データベースからチェックアウトします。アセットをチェックアウトできるのは、一度に 1 ユーザーのみです。アセットをチェックアウトしたユーザーのみが、そのアセットを編集、削除、またはワークフローに割り当てることができます。チェックアウトせずにアセットの編集を開始した場合も、CS によって自動的にチェックアウトされます。

編集作業が終わったら、アセットを再びチェックインします。チェックインによって、アセットの新しいバージョンが保存され（前のバージョンは上書きされません）、他のユーザーに解放されます。チェックインしてアーカイブバージョンを保存し、そのままチェックアウトして作業を継続する方法もあります。自動的にチェックアウトされたアセットを操作している場合は、[保存] をクリックすると自動的にチェックインされます。

アセットをチェックアウトし、新しく作成したバージョンを保存したくない場合（または誤ってチェックアウトした場合）は、チェックアウトを取り消す（元に戻す）ことができます。

アセットの以前のバージョンを取得したり、ロールバックすることができます。チェックアウトしたアセットがあれば、任意の古いバージョンにロールバックすることができます。チェックアウトされていないアセットをロールバックしようとする、CS によって自動的にチェックアウトされます。ユーザーはアセットのリビジョン履歴を調べることができます。

標準インターフェイスでのリビジョントラッキングの詳細については、「[第 7 章 リビジョントラッキング](#)」を参照してください。ポータルインターフェイスでのリビジョントラッキングの詳細については、『*Portal Applications User's Guide*』を参照してください。

第 2 章

Content Server のインターフェイス

この章では、Content Server の主要インターフェイスと同梱のサンプルサイトについて説明します。

この章は、以下の節から構成されています。

- [Content Server のインターフェイス](#)
- [サンプルサイト](#)

Content Server のインターフェイス

Content Server には、標準インターフェイスとポータルインターフェイスの2つの主要インターフェイスがあります。どちらのインターフェイスも同じ機能を提供していますが、表示方法が異なります。Content Server インターフェイスの外観は、以下のような多くの要素によって決定されます。

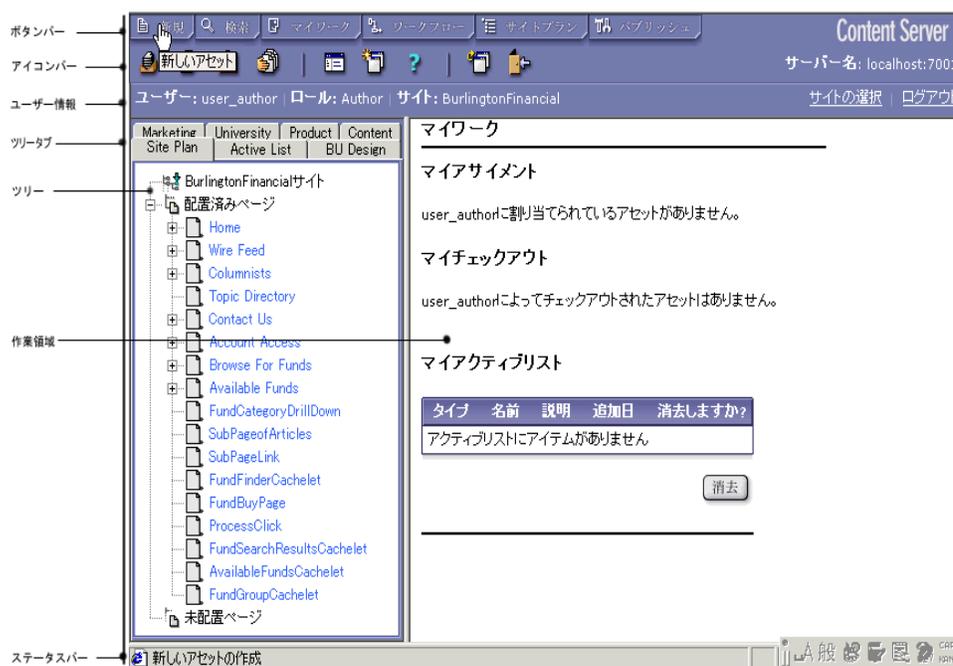
- インストールされているプロダクト
- 作業しているサイト
- ユーザーとしてのロールと CS 管理者から与えられた許可 [26 ページの「アセットに対する許可」](#)を参照してください。
- 管理設定

注

インターフェイスには、これ以外にも CS-DocLink、CS-Desktop、InSite Editor の3種類があります。標準インターフェイスおよびポータルインターフェイスとは異なり、これらのインターフェイスからは一部アクセスできない Content Server の機能があります。これらのインターフェイスの詳細については、[79 ページの「CS-Desktop での編集」](#)、[79 ページの「CS-DocLink での編集」](#)、[80 ページの「InSite Editor での編集」](#)を参照してください。

標準インターフェイス

Content Server の標準インターフェイスは、コンテンツ管理に使用する2つのインターフェイスの内の1つです。この図は、Burlington Financial サンプルサイトの典型的なユーザービューを示したものです。



Content Server の標準インターフェイスでは、図に示されているようなコンポーネントを使用してオンラインサイトを管理します。Content Server の標準インターフェイスの詳細については、[46 ページの「Content Server の標準インターフェイスの使用」](#)を参照してください。

ポータルインターフェイス

ポータルインターフェイスを使用すると、ポートレットを通してコンテンツを管理できます。

The screenshot displays the Content Server Portal Interface with several panels:

- Active Content:** A table listing active content items with columns for Type, Name, and Date Added. Items include 'Alcatel-A221-2001Mar9', 'Altavista-A227-2001Mar9', 'Analysts-A322-2001Mar9', 'Anticancer-A459-2001Mar9', and 'About Burlington Financial'.
- Create Content:** A table listing content types and their corresponding names, such as 'Article', 'Attribute Editor', 'Collection', etc.
- Search Content:** A search interface with a 'Find Article' dropdown, search criteria (Name), and a 'Search' button.
- Content Assignments:** A panel showing 'No assets in Assignment List'.
- Checked-out Content:** A panel showing 'No assets in Checkout List'.
- Content History:** A table listing content history items with columns for Type, Name, and checkboxes. Items include 'Anticancer-A459-2001Mar9', 'About Burlington Financial', 'Aggressive-A678-2001Mar9', and 'Active-A745-2001Mar9'.
- Publish Console:** A panel for managing publishing, including 'Select Publish Destination' (Destination 1: static), 'Running Publish Sessions' (No Running Publish Sessions), 'Scheduled Publish Tasks' (No Scheduled Publish Tasks), and 'Publish History' (No Publish History).

ポートレットには、コンテンツ管理 (CM) ポートレットとドキュメント管理 (DM) ポートレットの2種類があります。CM ポートレットを使用すると構造化されたコンテンツアセットとドキュメントアセットを管理できますが、DM ポートレットからはドキュメントアセットしか管理できません。上の図には、CM ポートレットのみ示されています。CS ポータルインターフェイスに表示されるポートレットの詳細、CS ポータルインターフェイスの使用方法については、『Portal Applications User's Guide』を参照してください。

サンプルサイト

CS コンテンツアプリケーションのパッケージには、いくつかのサンプルサイトが含まれています。（これらのサンプルサイトを利用するには、会社の Content Server インストール担当者がインストールする必要があります。）

- FirstSite は、FatWire Professional Services のベストプラクティスに従ってサイトを開発する方法を示す、新しく導入されたサンプルサイトです。FirstSite は、コンテンツプロバイダ向けの学習ツールとして、および開発者や管理者の学習ツールに適しています。FirstSite は、ソースコードを実際の実装にも使用できるため、カスタムサイトの作成にも最適です。
- CO は、典型的な小規模企業向けの Web サイト構築に適した代表的なサイトです。サイトの複製に適したハイパフォーマンスのページデザインのサンプルです。また、コンテンツプロバイダが学習ツールとして使用できるアセットタイプとサンプルアセットも含まれています。
- HelloAssetWorld は、コンテンツ配信の基本を説明したシンプルなサイトです。これは、コンテンツプロバイダの実習フィールドとしてよりも、開発者や管理者のプロトタイプの学習ツールに適しています。
- Burlington Financial は、ダイナミックでインタラクティブ度の高いコンテンツ配信サイトのサンプルです。オプションの Engage をインストールすると、マーケティング担当者向けのマーチャンダイジング機能を説明する Burlington Financial Extensions (BFE) が使用できるようになります。
- GE Lighting は、オンラインカタログ開発者向けのサンプルサイトです。このサイトは、属性の継承とプロダクト検索に重点を置いています。

サンプルサイトアセット

各サンプルサイトには独自のアセットが用意されています。コンテンツプロバイダは、これらのアセットタイプにデータを取り入れて、新しくアセットを作成できます。

サンプルサイトでは、ここで説明する以外のアセットタイプおよびサンプルアセットも提供されています。ここでは、コンテンツプロバイダが日常的に使用するアセットタイプについて説明します。

FirstSite

FirstSite サンプルサイトはフレックスアセットモデルに基づくもので、数種類のアセットファミリーがあります。（フレックスアセットモデルの詳細は、「[付録 A フレックスアセットモデル](#)」を参照してください。）

- **プロダクトアセットファミリー**：コンテンツプロバイダは、主に次の 2 つのメンバーを使用します。
 - **プロダクトアセットタイプ**：プロダクトアセットの作成に使用します。
 - **プロダクトペアレントアセットタイプ**：プロダクトペアレントアセットの作成に使用します。プロダクトペアレントアセットはプロダクトの分

類に使用します。FirstSite のプロダクトペアレントアセットには、DVD プレーヤー、携帯オーディオ、テレビなどがあります。

注

コンテンツプロバイダは、通常、新しくペアレントアセットを作成することはありませんが、作成または変更するアセットのペアレントアセットを選択する必要がある場合や、選択できる場合があります。

- **コンテンツアセットファミリー**：コンテンツプロバイダは、主に次の2つのメンバーを使用します。
 - **コンテンツアセットタイプ**：アールティクルアセットの作成に使用します。アールティクルアセットには、アールティクルのテキストのほか、見出し、署名欄、クレジットライン、本文テキストなどのアールティクルに関する情報が格納されます。
 - **ペアレントアセットタイプ**：コンテンツペアレントアセットの作成に使用します。コンテンツペアレントアセットはアールティクルアセットの整理に使用します。FirstSite にはサンプルコンテンツペアレントアセットが1つ（アールティクル）が含まれています。
- **ドキュメントアセットファミリー**：主に次の2つのメンバーを使用します。
 - **ドキュメントアセットタイプ**：ドキュメントアセットの作成に使用します。ドキュメントアセットとはファイル（.doc や .xls など）が添付されたアセットのことです。ファイルの作成者やタイトルなどの属性を指定することもできます。ドキュメントアセットは、ファイルと属性により作られます。
 - **ペアレントアセットタイプ**：ドキュメントペアレントアセットの作成に使用します。ドキュメントペアレントアセットはドキュメントアセットの整理に使用します。FirstSite のドキュメントペアレントアセットには、*プロダクト情報シート*と*プロダクト操作マニュアル*の2種類があります。
- **メディアアセットファミリー**：主に次の2つのメンバーを使用します。
 - **メディアアセットタイプ**：イメージアセットの作成に使用します。イメージアセットには、アールティクルなどの他のアセットに関連付けることができる、アップロード済みのイメージファイルが格納されます。
 - **ペアレントアセットタイプ**：メディアペアレントアセットの作成に使用します。メディアペアレントアセットはイメージアセットの整理に使用します。FirstSite のメディアペアレントアセットには、*プロダクトイメージ*と*アールティクルイメージ*の2種類があります。

FirstSite には Engage を使用する為のアセットやアセットタイプもあります。マーケティング担当者は、FirstSite を使用して、リコメンデーション、セグメント、プロモーション機能を体験できます。

CO

FirstSite と同様、CO サイトもフレックスアセットモデルに基づいています。CO には Co. コンテンツアセットファミリーがあり、以下のアセットタイプが含まれています。

- Co. ドキュメントアセットタイプ：ドキュメントアセットの作成に使用します。このアセットタイプは、37 ページの「FirstSite」で説明されているドキュメントアセットタイプに類似しています。
- Co. テキストアセットタイプ：テキストアセットの作成に使用します。テキストアセットには、アーティクルやプレスリリースのテキストのほか、見出し、筆者、本文テキストなど、そのアーティクルやプレスリリースに関する情報が格納されます。
- Co. フォームアセットタイプ：フォームアセットの作成に使用します。ドキュメントアセットと同様、フォームアセットはファイル（.doc や .xls など）が添付されたアセットですが、フォームアセットタイプはフォームとして使用するファイル専用設計されています（求人フォームなど）。
- Co. グラフィックアセットタイプ：イメージアセットの作成に使用します。このアセットタイプは、37 ページの「FirstSite」で説明されているメディアアセットタイプに類似しています。
- ペアレントアセットタイプ：コンテンツペアレントアセットの作成に使用します。コンテンツペアレントアセットは、CO サイトのコンテンツアセットの整理に使用します。CO サイトのコンテンツペアレントアセットには、アーティクルとプレスリリースの2種類があります。

Engage 専用のアセットやアセットタイプもあります。マーケティング担当者は、CO サイトを使用して、リコメンデーション機能を体験できます。

HelloAssetWorld

HelloAssetWorld サンプルサイトでは、以下のアセットタイプを使用しています。

- HelloArticle は、37 ページの「FirstSite」で説明するアーティクルアセットの簡易バージョンです。
- HelloImage は、37 ページの「FirstSite」で説明するイメージアセットの簡易バージョンです。

Burlington Financial

Burlington Financial サンプルサイトでは、以下のアセットタイプを使用しています。

- アーティクルアセットタイプ：アーティクルアセットの作成に使用します。アーティクルアセットには、アーティクルのテキストのほか、見出し、署名欄、クレジットライン、本文テキストなどのアーティクルに関する情報が格納されます。
- ImageFile アセットタイプ：イメージアセットの作成に使用します。イメージアセットには、アーティクルなどの他のアセットに関連付けることができる、アップロード済みのイメージファイルが格納されます。

Burlington Financial Extensions をインストールすると、開発者向けの特別アセットとして、PDF と DrillHierarchy が追加されます。さらに、サンプルサイト用のフレックスアセットサポートも追加されます。BFE 用のサンプルデータをインストールすると、プロダクトのアセットインスタンスがセグメント、リコメンデー

ション、プロモーションのファンドおよびサンプルインスタンス形式で提供されます。

注

アセットリストには、他の2種類のアセットタイプであるイメージとリンクセットも表示されます。これらのアセットタイプの下位互換性はサポートされています。

GE Lighting

GE Lighting サンプルサイトでは、プロダクト用とコンテンツ用に1つずつ、合計2つのアセットファミリーを使用しています。

コンテンツプロバイダが使用するプロダクト用のアセットタイプ

- プロダクト
- プロダクトペアレント

コンテンツプロバイダが使用するコンテンツ用のアセットタイプ

- アーティクル (フレックス)
- イメージ (フレックス)
- コンテンツペアレント

プロダクトファミリーとコンテンツファミリーの残りのメンバーは、開発者と管理者用のデザインアセットです。

第 2 部

CS の標準インターフェイスの使用

ここでは、Content Server の標準インターフェイスの使用方法について説明します。この部は、以下の各章から構成されています。

- 「[第 3 章 標準インターフェイスを使い始めるにあたって](#)」
- 「[第 4 章 アセットの使用](#)」
- 「[第 5 章 パブリッシュ](#)」
- 「[第 6 章 ワークフロー](#)」
- 「[第 7 章 リビジョントラッキング](#)」

第 3 章

標準インターフェイスを使い始めるにあたって

この章では、Content Server にログインして、標準インターフェイスを使用する方法について説明します。

この章は、以下の節から構成されています。

- [標準インターフェイスにログインする](#)
- [Content Server の標準インターフェイスの使用](#)
- [標準インターフェイスからログアウトする](#)

標準インターフェイスにログインする

Content Server の標準インターフェイスにログインするには

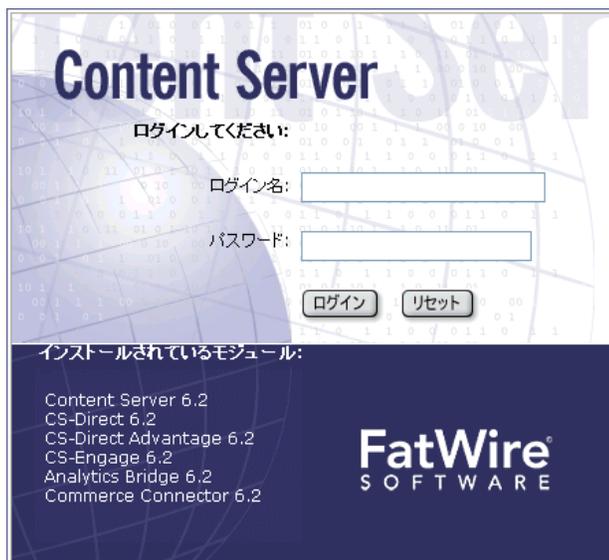
Content Server アプリケーションを使用するには、Content Server の標準インターフェイスにログインする必要があります。

1. ブラウザを開いて、以下のアドレスを入力します。

`http://your_server:port/webapp/Xcelerate/LoginPage.html`

- `your_server` には、使用しているサーバー名を入力します。
- `port` には Content Server が使用しているポート番号を指定します。ポート番号がわからない場合は、CS 管理者に問い合わせてください。
- `webapp` には、インストール時に Content Server に割り当てられた Web アプリケーションコンテンツのルートパスを入力します。このパスがわからない場合は、CS 管理者に問い合わせてください。

ログインフォームが表示されます。



The screenshot shows the Content Server login page. At the top, it says 'Content Server' in large blue letters. Below that, it says 'ログインしてください:' (Please log in:). There are two input fields: 'ログイン名:' (Login name) and 'パスワード:' (Password). Below the password field are two buttons: 'ログイン' (Login) and 'リセット' (Reset). At the bottom, there is a section titled 'インストールされているモジュール:' (Installed modules:). It lists several modules: Content Server 6.2, CS-Direct 6.2, CS-Direct Advantage 6.2, CS-Engage 6.2, Analytics Bridge 6.2, and Commerce Connector 6.2. The FatWire SOFTWARE logo is also visible in the bottom right corner of the page.

2. ログインフォームには、インストールされている CS 製品ファミリーが一覧表示されます。ログイン名とパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。ログイン名またはパスワードが分からない場合は、管理者に問い合わせてください。

user_authorとしてログインしています
作業するサイトを選択:

サイト名	説明	割り当てられているロール
BurlingtonFinancial	Burlington Financial	Author
GE Lighting	GE Lighting	Author

[\[もう一度ログインする\]](#)

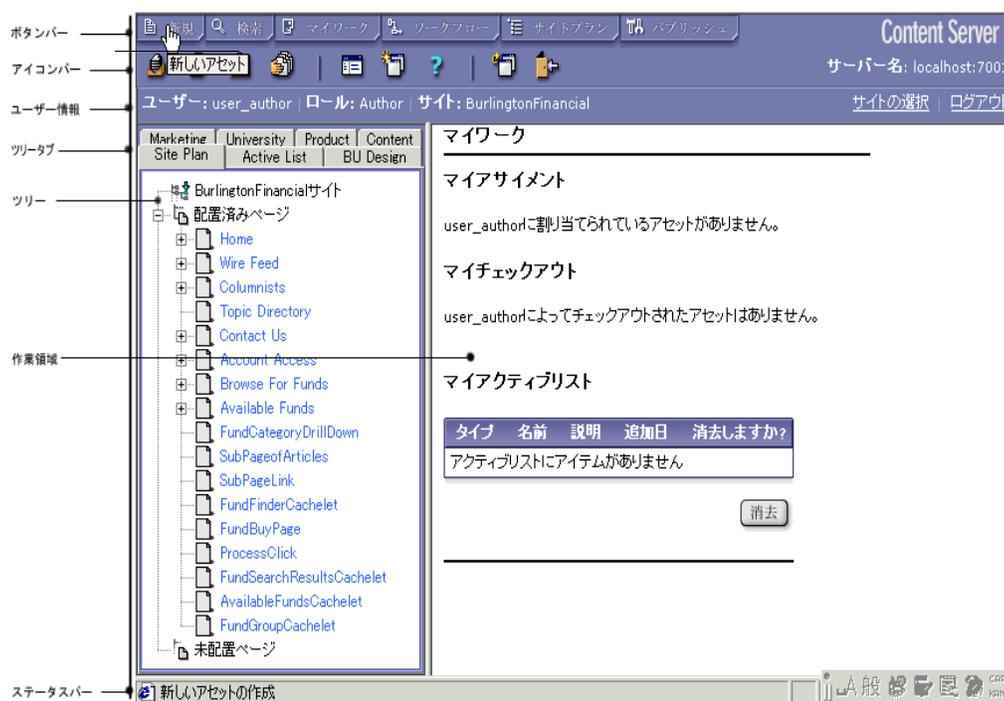
3. 複数のサイトが設定されている場合は、サイト名をクリックして作業するサイトを選択します。サイトが1つのみの場合は、ログイン後すぐに Content Server インターフェイスが表示されます。一度に作業できるサイトは1つのみですが、一度ログインすると、アクセス権のある他のサイトが使用可能な場合は、サイトを切り替えることができます。

Content Server の標準インターフェイスの使用

Content Server の標準インターフェイスの外観は、以下のような多くの要素によって決定されます。

- インストールされている製品の種類
- 選択したサイトの種類
- ユーザーとしてのロール
- 管理設定

この図は、Burlington Financial サンプルサイトで作業する場合に表示される一般的なユーザービューを示したものです。



- **ボタンプール:** 1回のクリックで共通タスクにアクセスできます。
- **アイコンバー:** 1回のクリックで、その他のタスクや機能にアクセスできます。接続先のサーバー名が右端に表示されます。
- **ユーザー情報:** ユーザー名に関連付けられているロールが表示されるため、ログインしているサイトで与えられている権限が一目でわかります。ロールがこの行に表示しきれない場合は、[詳細] ハイパーリンクにすべてのロールが表示されます。CS には、各ロールに対してデフォルトのユーザー名（作成者の場合は user_author など）が用意されています。デフォルトのユーザー名およびロールの詳細については、管理者に確認してください。
- **ツリー:** 詳細設定やカスタマイズ可能な動的なタブで分類された、サイトの構成とアセットに関する情報が表示されます。

- 作業領域：アセットの作成、検索の実行、アサイメントの確認など、初回リクエストに対するフォローアップアクションを実行する領域です。多くの場合、作業領域内のフォームまたはこのリストを使用して作業します。
- ステータスバー：画面コンポーネント上にマウスポインタを置くと、説明が表示されます。アクティビティの処理状況も表示されます。

ボタンバー

ボタンバーを使用すると、Content Server の標準インターフェイスで頻繁に実行されるタスクにアクセスできます。ボタンバーには以下のボタンが含まれます。

- **新規**：作成する許可を与えられているアセットタイプの新しいインスタンスを作成します。
- **検索**：指定された条件に基づいて、サイト内のアセットを検索します。
- **マイワーク**：初回ログイン時に表示されるワークロードを更新します。
- **ワークフロー**：ワークフローレポートとワークフローグループを管理します。
- **サイトプラン**：サイトのページアセットと関連アセットを、ドリルダウンして表示します。
- **パブリッシュ**：パブリッシュコンソールにアクセスして、パブリッシュのアクティビティを確認します。

新規

ボタンバーの**【新規】**をクリックすると、作成可能なアセットタイプのリストが作業領域に表示されます。下の図に例を示します。

新規

作成するアセットタイプを選択してください。

タイプ	名前
Article	New Article
Article (Flex)	New Article (Flex)
Collection	New Collection
Article	New Columnist Article
Content Parent	New Content Parent
Drill Hierarchy	New Drill Hierarchy
Image (Flex)	New Image (Flex)
ImageFile	New ImageFile
Link	New Link
PDF	New PDF

このリストは、管理者がユーザー用にパーソナライズしています。つまり、各ユーザーが作成可能なアセットタイプの種類は、割り当てられているロールやログイン可能なサイトに基づいて、管理者が決定したものです。

管理者は、リスト内の各アセットタイプに対して、ワークフロー処理を割り当てたり、ワークフローの参加者を設定することができます。管理者は、特定の値を事前に定義することができます。ユーザーがこれらの値を変更することはできません。デフォルトも設定できます。デフォルトの値は編集できます。

アセットはタイプ別に表示されます。アセットの説明をクリックすると、作業領域にそのアセットの**新規**フォームが表示されます。

検索

ボタンバーの [検索] ボタン をクリックすると、検索可能なアセットタイプのリストが作業領域に表示されます。以下に例を示します。

検索

タイプ	名前	
Article	Find Article	(詳細検索)
Article (Flex)	Find Article (Flex)	(詳細検索)
Collection	Find Collection	(詳細検索)
Content Parent	Find Content Parent	(詳細検索)
Drill Hierarchy	Find Drill Hierarchy	(詳細検索)
Image (Flex)	Find Image (Flex)	(詳細検索)
ImageFile	Find ImageFile	(詳細検索)
Link	Find Link	(詳細検索)
PDF	Find PDF	(詳細検索)
Product Parent	Find Product Parent	(詳細検索)
Products	Find Products	(詳細検索)
StyleSheet	Find StyleSheet	(詳細検索)

保存済み検索

実行する保存済み検索を選択してください

名前	アセットタイプ	共有
  Headline Funds	Article	shared

作成可能なアセットタイプと同様、検索可能なアセットタイプはユーザーのロールとサイト許可に基づいて、管理者によって決定されます。このリストには、[新規] アセットリストには表示されないアセットタイプが含まれていることがあります。つまり、これらのアセットタイプに対しては、検索や調査はできませんが、新しくインスタンスを作成することはできません。

保存済みの検索がある場合は、そのリストが検索可能なアセットのリストの下に表示されます。保存済みの検索とは、検索結果ではなく、過去に行った検索で使用した条件を保存したものです。検索条件を保存しておく、繰り返し実行する検索を効率的に実行できます。保存済みの検索は共有できるようになっているため、自分が検索条件をまったく保存していない場合でもリストが表示されることがあります。

- リスト内のアセットタイプをクリックすると、簡易検索用の [検索] フォームが作業領域に表示されます。
- [詳細検索] をクリックすると、アセットタイプの詳細検索用の [検索] フォームが表示されます。
- 検索名 (または目のアイコン) をクリックすると、保存済みの検索が実行されます。

マイワーク

初回ログイン時は、作業領域にワークロード (ユーザー自身が選択したアセットまたは作業用に選択されたアセット) が表示されます。このワークロードには、以下の要素が含まれます。

- ワークフローで設定されたアサイメント。
- リビジョントラッキングで (意図的または自動的に) チェックアウトしたアセット。
- アクティブリストのアセット (ユーザーがアクティブリストから消去するまで、セッション間で保持するように指定されたアセットのこと)。

最初は、このビュー（マイワーク）に以下の要素しか表示されない可能性があります。

マイワーク

マイアサインメント

user_authorに割り当てられているアセットがありません。

▶ [待機中の完了アサインメントの表示](#)

マイチェックアウト

user_authorによってチェックアウトされたアセットはありません。

マイアクティブリスト

タイプ	名前	説明	追加日	消去しますか?
アクティブリストにアイテムがありません				

消去

セッション中にワークロードを管理するに従って、作業内容が反映されてリストが変更されます。ボタンの [マイワーク] をクリックして、ビューを更新してください。

ワークフロー

ボタンの [ワークフロー] をクリックすると、作業領域が管理コンソールに変わります。管理コンソールでは、以下に示されているように、ワークフローグループとワークフローレポートの作成と管理を行います。

Workflow

以下のいずれか1つのアイテムを選択してください

[ワークフローレポートを作成](#)

[ワークフローグループを作成](#)

ワークフローグループ

名前	説明	ワークフロープロセス	個のアイテムを表示
----	----	------------	-----------

保存済みワークフローレポート

保存済みワークフローレポートがありません

ワークフローグループ

ワークフローグループを使用すると、一連の定義されたアセットを組織的に管理できます。これにより、ワークフローグループのアセットと一緒にワークフロープロセスを完了できるようになり、パブリッシュの段階に進むことができます。ワークフローグループを作成するときは、グループにアセットを割り当てるユーザーと、そのグループを管理するユーザーを決定します。グループには、ワークフロープロセスも割り当てます。すでにワークフローに含まれているアセットは、ワークフローグループに割り当てることはできません。ワークフローグループの作成および管理の詳細については、[第6章「ワークフロー」](#)を参照してください。

ワークフローレポート

ワークフローレポートを使用すると、ワークフローのアセットやユーザーのアサインメントの進捗状況をトラッキングできます。ワークフローレポートは、現在の

ワークフローの状態を判断できる便利なメカニズムです。たとえば、今後 24 時間以内にアサイメントの期限のある作成者を全員表示するようにレポートを実行することができます。検索と同様にレポート条件は保存できるため、保存されているワークフローレポートのリストにあるレポート名をクリックすると、それらのレポートを繰り返し実行できます。ワークフローレポートの作成および管理の詳細については、[第 6 章 「ワークフロー」](#) を参照してください。

サイトプラン

サイトプランはボタムバーから表示できますが、Content Server の標準インターフェイスの左フレームにあるツリーからも階層構造で表示できます（[54 ページの「ツリー」](#)を参照）。ボタムバーを使用すると、より詳細な情報が含まれた異なるビューでサイトプランが表示されます。このビューでは、1 ノードずつ表示できます。ツリーがオフの場合や割り当てられているユーザーロールでツリー表示を使用できない場合は、ボタムバーを使用してサイトプランを表示してください。

ボタムバーの [サイトプラン] をクリックすると、サイトルートノードが作業領域に表示されます。サイトルートノードには、そのサイトに属する上位レベルのページアセットすべてが含まれます。以下の図は、Burlington Financial サンプルサイトを示したものです。

BurlingtonFinancial サイトプランの参照

現在のサイト: BurlingtonFinancial

子ページ:

名前	子
Home	7
Wire Feed	0
Columnists	0
Topic Directory	0
Contact Us	0
Account Access	4
Browse For Funds	0
Available Funds	0
FundCategoryDrillDown	0
SubPageofArticles	0
SubPageLink	0
FundFinderCachelet	0
FundBuyPage	0
ProcessClick	0
FundSearchResultsCachelet	0
AvailableFundsCachelet	0
FundGroupCachelet	0

未配置ページ:

未配置ページがありません。

この site の下に [ページ](#) を配置します。

ハイパーリンクが設定されている各ページの横の数字は、上位レベルページの直下にある子ページアセットの数を示します。このビューには未配置ページも表示され、ページ配置機能へのリンクが提供されます。

注

ページの配置および配置解除は、サイトプランの構築方法と関連してきます。これは、サイト階層内ではページが相互に関連して表示されるためです。これらの機能は通常、サイト設計者が実行します。詳細については、『*Content Server Developer's Guide*』を参照してください。

ドリルダウンすると、サイトのアセットに関する詳細情報を表示できます（以降の節を参照）。

アセット詳細

アセットの一般的な「調査」フォームビュー、標準コマンドアイコン（「プレビュー」、「調査」、「編集」、および「削除」）を含むアクションバー、およびこのアセットタイプで実行可能な機能のドロップダウンリストが表示されます。詳細には、名前、説明、アセットタイプ、および状態などの識別情報も含まれています。以下に、Tech Stocks ページに表示されるアセットの詳細を示します。

BurlingtonFinancial サイトプランの参照 - Tech Stocks

プレビュー
 調査
 編集
 削除

名前: Tech Stocks
説明: Burlington Financial Tech Stocks
ステータス: 編集済み
ID: 968695082886
タイプ: Page
変更済み: 2001/03/16 12:09:35、更新者 user_author

パス

サイトルートノードから現在のアセットまでのアセットの階層構造が表示されます。上の階層に戻るには、その階層のリンクをクリックします。ページアセットからサイトルートノードに戻る階層のパスは 1 つしかありませんが、それ以外のアセットタイプには複数の階層のパスがある場合があります。例として、Burlington Financial サイトルートノードから Tech Stocks ページに至るまでの階層のパスを示します。

パス: [BurlingtonFinancial](#)
 └─ [Home](#)
 └─ [Stocks](#)
 └─ Tech Stocks

子ページ

表示しているアセットがページアセットの場合、そのページアセットが持つすべての子ページの名前とその直下ページの数が表示されます（ページアセットは、サイトプランルートまたはその他のページアセットの子にのみなることができます）。ページの配置リンクも表示されます。以下の図は、Burlington Financial ホームページに属する子ページを示します。

子ページ:

名前	子
News	1
Companies	0
Funds	1
Portfolio	0
Markets	2
Stocks	2
About	0

この page の下に [ページを配置](#) します。

関連アセット

現在のアセットの子アセットと、直接参照されているアセットの数も表示されます。以下の図は、Burlington Financial ホームページに属する子アセットを示します。

関連アセット:

Collection:			
	名前	説明	関連アイテム
SidebarBottom	Analyst Home Stories	From our Analysts	6
SidebarMiddle	Editor's Pick	Editor's Pick	8
SidebarTop	HomePage Columns	collection of columns for the home page	4
TopStories	HomePage Stories	HomePage Top Story List	15
Query:			
	名前	説明	関連アイテム
WireFeed	Home Wire Feed	Home Wire Feed Query	0

複数パス

現在のアセット（ページアセット以外）を参照するその他のアセットも表示されることがあります。たとえば、同じ記事が複数のコレクションに含まれるとします。以下の図では、記事アセットが1つのパスで表示されています。このアセットは別のアセットからも参照されていることがわかります。

パス: [BurlingtonFinancial](#)
 ↳ [Home](#)
 ↳ ↳ [Markets](#)
 ↳ ↳ ↳ [MarketsTop](#)
 ↳ ↳ ↳ ↳ Scania-A620-2001Mar9

このアセットは他のアセットを参照していません。

Article「Scania-A620-2001Mar9」も次からも参照されています:

名前	説明	タイプ
CompaniesTop	Top Stories	Collection

同じアセットに対して複数のパスがある場合は、実際に使用したパスのみが表示され、それ以外のパスは、現在のアセットを参照する他のアセットとして表示されます。この図では、記事アセットは MarketsTop コレクションから表示され、CompaniesTop コレクションによって参照されています。実際に CompaniesTop コレクションを表示してみると、同じ記事が含まれていることがわかります。そのリンクをたどると、ロールが反転します。CompaniesTop がパス側に移り、MarketsTop が参照するアセットとなります。

パブリッシュ

ボタンバーの [パブリッシュ] をクリックすると、図のようなパブリッシュコンソールが作業領域に表示されます。

<p>パブリッシュコンソール</p> <p>パブリッシュ先の選択</p> <p>パブリッシュ先 <input type="text" value="Static(Export to Diskを使用)"/></p> <p><input type="button" value="パブリッシュ先の選択"/></p>
<p>パブリッシュセッションの実行</p> <p>実行中のパブリッシュセッションはありません</p>
<p>スケジュール設定されているパブリッシュタスク</p> <p>スケジュール設定されたパブリッシュタスクはありません</p>
<p>パブリッシュ履歴</p> <p>パブリッシュ履歴がありません</p>

パブリッシュコンソールには、以下のようなサイトのパブリッシュアクティビティの状態の概要が表示されます。

- パブリッシュ中のアイテム（パブリッシュセッションの実行中）
- パブリッシュされる予定のアイテム（スケジュール設定されているパブリッシュタスク）
- パブリッシュ済みのアイテム（パブリッシュ履歴）

[パブリッシュ先の選択] をクリックすると、選択したパブリッシュ先に対して、パブリッシュが承認されているアセットの数と、承認待ちの関連アセットの数が表示されます。それぞれのアセットの合計数を示したリンクをクリックすると、承認済みアセットのリストと承認待ちアセットのリストが表示されます。承認待ちアセットのリストは、パブリッシュが遅れた場合のトラブルシューティングに役立ちます。適切な権限を持っている場合は、パブリッシュする準備ができているアセットに対して、パブリッシュイベントをトリガーすることができます。パブリッシュコンソールの詳細については、[第5章「パブリッシュ」](#)を参照してください。

アイコンバー

アイコンバーを使用すると、1回のクリックでさまざまな共通機能にアクセスできます。アイコン上にマウスポインタを置くと、黄色の四角形内にそのアイコンの名前が表示されます。以下の表は、各アイコンの機能を説明したものです。

アイコンの種類	アイコンの機能
	ユーザーに与えられているアサイメントのリストを作業領域に表示します。[マイワーク] アサイメント部分のみを単独で表示するのに便利です。
	ユーザーがチェックアウトしたアセットのリストを作業領域に表示します。[マイワーク] で表示される項目のチェックアウト部分のみを単独で表示するのに便利です。

アイコンの種類	アイコンの機能
	現在アクティブリストに含まれているアセットのリストを作業領域に表示します。[マイワーク] で表示される項目のアクティブリスト部分のみを単独で表示するのに便利です。
	現在のセッション中に調査または編集用に開いたアセットのリストを作業領域に表示します。これは、ツリーの[History] タブに表示されるリストと同じものです。
	ツリーフレームのオン（表示）とオフ（非表示）を切り替えます。ツリーをオフに切り替えると、ツリーをオンにしていたときに作業領域に表示されていた内容に関わらず、作業領域がウィンドウに全表示されます。このとき、[マイワーク] ビューも更新されます。 ツリー表示やツリーの切り替えは管理者がコントロールするため、お使いのサイトではサポートされていない場合があります。
	同じサイトを新しいブラウザウィンドウで開きます。これによって、元のウィンドウで作業しているフォームを閉じずに、新しいウィンドウで別の操作（検索など）を実行できます。 [History] タブのアセットカウンタは、新しいウィンドウではリセットされます。
	インストールされている Content Server アプリケーションに基づいて、オンラインの製品ドキュメントへのリンクを含むインデックスページを新しいブラウザウィンドウで開きます。
	ログイン時に表示されるサイト選択ビューに戻ります（複数のサイトへのアクセス権を持っている場合）。これは、同じログイン情報を使用して別のサイトに切り替えるとき使用します。アイコンをクリックしても、別のサイトがない場合は、現在の [マイワーク] ビューが更新されます。 ユーザー情報表示部分の右端にもサイト選択用のハイパーリンクが表示されます。
	サイトからログアウトして、現在のセッションを終了します。ユーザー情報表示部分の右端にも、ログアウト用のハイパーリンクが表示されます。

ツリー

ツリーとは、Content Server の標準インターフェイスの左フレームに表示されるタブ付きの階層のことです。管理者がツリーを有効にしている場合は、ツリーのオンとオフを切り替えるたびに、この階層にあるサイトやアセットが表示が切り替わります。次の図は、ツリー表示されている Burlington Financial サンプルサイト用のサイトプランを示したものです。



ボタンバーを使用してサイトプランを表示した場合と同じサイトノードルート（トップレベルのページ）が表示されます（50 ページの「[サイトプラン](#)」を参照してください）。サイトプランを使用すると、ページやコンテンツの構成がわかりやすく視覚表示されます。また、ページに存在する相関関係や依存関係を理解する場合にも役立ちます。ツリーは、視覚表示機能とアクション開始パッド機能の両方を備えています。

ツリーは動的で、サイトをナビゲート中に選択をしたり、その他のアクションを実行すると、それに合わせて構成が変化します。画面には、設定内容、インストールされている製品、サンプルサイト、ロール、現在のセッション中のアクティビティなどが組み合わさって表示されます。ただし、サイト管理者が無効にしている場合は、ビューにツリーが表示されません。有効にしている場合は、ツリーのオン/オフを切り替えることができます（サイトでのツリーの切り替え機能が有効な場合）。

ツリータブ

ツリーに表示されるタブは、以下のような多くの要素によって決定されます。

- ユーザーロール
- インストールされている製品
- インストールされているサンプルサイトおよびログインしている現在のサイト
- 管理決定
- セッション中のユーザーアクティビティ
- カスタマイズ

次の表は、各タブの表示に関する説明をまとめたものです。

タブ名	タブのツリー表示について
サイト プラン (Site Plan)	ソフトウェアに含まれるデフォルトタブ。
アクティ ブリスト (Active List)	<p>デフォルトタブで、初期状態では空白です。実際にアイテムをアセットフォームやアセットリストからアイテムを追加すると、追加されたアイテムが表示されます（61ページの「アクティブリストの使用」を参照）。アセットが共有されていない場合は、ログインしているサイトからのアセットのリストとなります。</p> <p>これは、各セッション間でデータ内容が保持される持続的リストです。リストに対してアセットの追加・消去を行うと、それに応じてリストのサイズが変化します。ここでいうセッションとは、1つ以上のサイトに1回ログオンしてからログアウトするまでの時間のことです。</p>
History	調査、編集、コピー、削除の操作を実行するために、アセットを初めて開くと、自動的に表示されます。[History] タブの内容は、現在のセッション中で使用している各ブラウザウィンドウに対するものです。セッション中に新しいウィンドウを開くと、そのウィンドウの [History] タブはリセットされます。[History] タブはサイトによって異なります。サイトを切り替えると履歴はクリアされます。
Content	CS-Direct Advantage をインストールしている場合に表示されます。サンプルサイトとそのデータがインストールされている場合は、サンプルアセットが表示されます。
製品 (Product)	CS-Direct Advantage をインストールしている場合に表示されます。サンプルサイトとそのデータがインストールされている場合は、サンプルアセットが表示されます。
マーケ ティング (Marketing)	Engage をインストールしている場合に表示されます。サンプルサイトとそのデータがインストールされている場合は、サンプルアセットが表示されます。
デザイン、 クエリー (All Design)	必要な許可が与えられている場合にのみ表示されます（『 <i>Content Server Administrator's Guide</i> 』を参照）。
管理、サ イト管理、 ワーク フロー	必要な管理者権限がある場合にのみ表示されます（『 <i>Content Server Administrator's Guide</i> 』を参照）。
ユーザ ー 定義	管理者がカスタムタブを設定している場合にのみ表示されます（『 <i>Content Server Administrator's Guide</i> 』を参照）。

ツリーの使用

ツリーで作業するときは、タブをクリックするとその内容が表示されます。後部にあるタブをクリックすると、そのタブが前面に移動します。プラス記号および

マイナス記号をクリックすると、階層表示が展開されたり、縮小されたりします。表示するツリーの幅を調整するには、ツリーの右の境界線を左右にドラッグしてサイズを変更します。

ツリーの内容は、ローカルで変更を加えると自動的に更新されます。たとえば、新しいアセットを追加すると、そのアセットはすぐにツリーに表示されます。同じサイトで作業をしている可能性のある他のユーザーが加えた変更を確認するには、[更新] コマンドを使用します（以下の表を参照）。

ほとんどの機能は、ツリー内でマウスを右クリックして表示されるポップアップメニューから実行します。表示されるメニューは、ユーザーが表示しているタブやマウスポインタが置かれている場所によって異なります。次の表に、マウスを右クリックすると表示されるメニュー内のコマンドを示します。

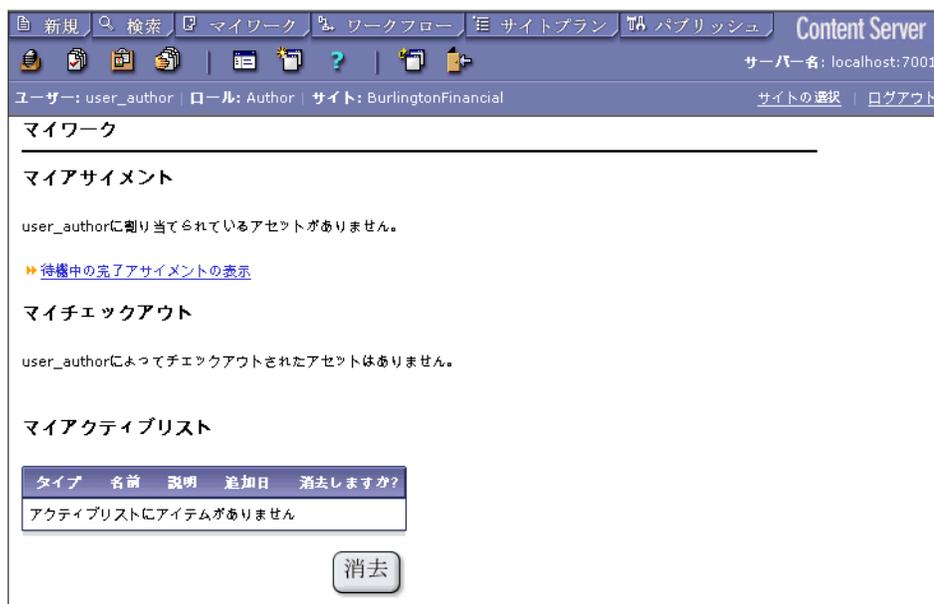
コマンド	アクション
削除	選択したアセットに削除するマークを付けます。適切な許可が必要です。
消去	アクティブリストからアセットを消去します。
編集	選択したアセットを編集するフォームを作業領域に開きます。
調査	選択したアセットの詳細を確認するページを作業領域に開きます。
更新	ツリーを最新の状態で表示できるよう、選択したノードの下のすべての子を更新します。
新規アセットタイプの作成	選択したアセットタイプの新しいインスタンスを作成するフォームを作業領域に開きます。ただし、作成できるのは、自分のロールに対して作成の許可が与えられているアセットタイプのみです。 フレックスアセットの場合、フレックスペアレント（親）またはそのフレックスペアレントの子（子）を作成できます。
状態	選択したアセットの状態を表示するフォームを作業領域に開きます。
プレビュー	選択されたアセットを、配信サイトに表示される場合と同じように新しいブラウザウィンドウに表示します。
ページの配置	作業領域にダイアログボックスを開いて、ツリー内にページを配置および配置解除したり、ページを並び替えたりします。ページは配置しないとパブリッシュできません。これは、適切な許可を必要とする設計アクティビティです。[サイトプラン] タブでのみ使用できます。
すべて更新	1回のクリックで、タブの内容が更新されます。
すべてクリア	[History] タブからすべての内容を消去します。

ヒント

任意のタブ上のアセットインスタンスをダブルクリックすると、作業領域内の [調査] フォームにそのアセットが表示されます。

ツリーが表示されていない場合

ツリーをオフに切り替えるか、管理者がツリーを無効にすると、Content Server インターフェイスは、すべてが作業領域になります（60 ページの「作業領域」を参照）。



ヒント

ツリーの右の境界線をビューの左端まで移動して、ツリーを非表示にすることもできます。

- 作業領域にサイトプランを表示するには、ボタンの [サイトプラン] をクリックします（50 ページの「サイトプラン」を参照）。
- アクティブリストを表示するには、[マイアクティブリストの表示] アイコンをクリックします（53 ページの「アイコンバー」を参照）。
- 現在のウィンドウおよびセッション用のアセットの監査記録を表示するには、[履歴の表示] アイコンをクリックします（53 ページの「アイコンバー」を参照）。
- 他のアセット固有のタブの内容を表示するには、アセットタイプの検索を実行します（72 ページの「アセットの検索」を参照）。

ツリーをオフに切り替えると、アセットの作成および編集にも影響します。アセット名の [新規] フォームと [編集] フォームの多くは、ツリーからデータを選択できるようになっているため、フォームに入力するときにツリーから値（アセット）を選択してボタンをクリックすると、その選択した値をアセットの定義

に追加できます。以下に、New Page アセットにアセットアソシエーションを追加する例を示します。



ツリーからコレクションアセットを選択して [選択したアイテムの追加] をクリックすると、コレクションアセットがページアセットアソシエーションとして追加されます。

ツリーがオフになっている場合は、[選択したアイテムの追加] ボタンの代わりに、以下の矢印ボタンが表示されます。



矢印ボタンをクリックすると、関連アセットタイプ（この例ではコレクション）の [アクティブリスト] タブと [History] タブの内容を表示するポップアップウィンドウが表示されます。



これは、適切なアセットを検索してそれらのアセットをアクティブリストに追加するか、それらのアセットにアクセスして履歴レコードの一部とすることによって、これらのタブの内容のいずれかまたは両方が作成されたことを示します。ページアセットアソシエーションとして追加するコレクションアセットをクリックします。

矢印ボタンをクリックしても（一見）変化がない場合、以下の2つの原因が考えられます。

- いずれのリストにも該当するタイプのアセットが含まれていない。
- 他のアプリケーションでポップアップウィンドウが隠れている。

以下のアセット作成 / 更新タスクでは、この二重選択機能がサポートされています。

- ベーシックアセットに対してアセットアソシエーションを作成する。
- フレックスアセット用のペアレントを選択する。
- PickAsset 属性エディタを使用するタイプアセットの属性の値を選択する。
- セグメントフィルタ基準を追加する。
- リコメンデーション用アセットの関係を設定する。

- プロモーション用フレックスアセットおよびフレックスペアレントを選択する。

作業領域

作業領域は、一部の実行されたアクションに基づいて、フォームやリストが表示される Content Server の標準インターフェイスの一部です。表示される内容は、ユーザーの最新のリクエストに応じて変化します。

初回ログイン時は、作業領域に現在のワークロードが表示されます。

[調査] フォームや [ステータス] フォームなどの性質の類似したフォームでアセットを表示すると、フォームの上部に以下のようなアクションバーが表示されます。

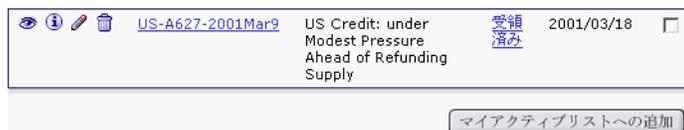


アクションバーには、現在のアセットに対して実行可能なアクションが表示されます。次の表では、それらのアクションの機能について説明しています。

アクション	結果
プレビュー	デフォルトフォーマットとして割り当てられたテンプレートを使用して、サイトに表示される場合と同じようにアセットを表示します。また、プレビューウィンドウでドロップダウンリストから他のテンプレートを選択すると、そのテンプレートを使用した場合にアセットがどのように表示されるかを確認することもできます。 さらに、URL、選択ボタン、ステータスバーなどを含む、フルサイズのブラウザウィンドウでアセットを表示するには、ドロップダウンフィールドの右にある [全画面でプレビュー] ハイパーリンクをクリックします。
調査	名前、説明、ID などのアセットの詳細の概要を表示します。
編集	変更するアセットを編集用のフォームで開きます。[編集] フォームで加えた変更を保存または取り消し (キャンセル) できます。
削除	データベースから削除するアセットにマークを付けます。指定されたアセットは、データベース管理者が次にデータベースを整理したときに削除されます。

アクション	結果
ドロップ ダウンリスト の展開	<p>表示される内容は、アセットタイプと権限によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アセットのパブリッシュを承認する • アセットのコピーを作成する（該当するアセットタイプのインスタンスの新規作成を許可されている場合） • 同じアセットタイプのインスタンスを新規作成する（該当するアセットタイプのインスタンスの新規作成を許可されている場合） • 同じタイプのアセットを検索する • アセットの状態を表示する • アセットをサイト全域で共有する（他のサイトへのアクセス権があり、そこでもそのアセットタイプが有効になっている場合。ページアセットは共有できません） • サイトプランを参照する（ページアセットのみ） • コレクションを作成する（コレクションアセットのみ）
追加	<p>アクティブリストにアセットを追加します。アセットがすでに追加されている場合は、ウィンドウの上部に次のメッセージが表示されます。このアイテムはすでにユーザーのアクティブリストに存在しています。</p>

同様に、アセットのリストを表示すると、各アセットにそれぞれ固有のアクションアイコンと選択肢が含まれていることがあります。下の図は、検索結果リストに含まれているアセットを示したものです。



ここでは、アセットフォームと同じアイコン、アセットの状態（受領済み）へのリンク、[マイアクティブリストへの追加] をクリックしたときに選択したアセットをアクティブリストに追加するためのチェックボックスが表示されています。その他のドロップダウン機能はありません。

アクティブリストの使用

アクティブリストは、長期間にわたってユーザーが維持するリストで、いわば個人資産元帳のようなものです。ユーザーの意思でアセットが追加されるまでは、このリストは空白です。リストに一度追加されたアセットは、ユーザーの意思でリストから消去されるまで（または削除されるまで）、アクティブリストに保持されます。

アクティブリストにアセットを追加する

検索結果リストまたはアセットの [調査] フォームから、アクティブリストにアセットを追加できます。

検索結果リストからアクティブリストにアセットを追加するには

1. 72 ページの「アセットの検索」の節の説明に従ってアセットの検索を実行します。

検索結果リストが作業領域に表示されます。

名前	見出し	ステータス	変更済み
   Phone-A671-2001Mar9	Phone Workers Strike Verizon, But Talks Are Making Progress	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
   Talks-A618-2001Mar9	Talks Resuming in Verizon Strike	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
   Verizon-A194-2001Mar9	Verizon Begins Testing Voice Over DSL	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
   Verizon-A483-2001Mar9	Verizon Makes New Offer	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
   Verizon-A555-2001Mar9	Verizon Faces East Coast Strike If Contract Negotiations Falter	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
   Verizon-A605-2001Mar9	Verizon Strike Begins	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
   Verizon-A656-2001Mar9	Verizon Phone Lines Slashed as Strike Begins	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
   Verizon-A723-2001Mar9	Verizon to Buy Onepoint Communications	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
   Verizon-A744-2001Mar9	Verizon to Buy Northpoint Communications, Misses Q2 Estimates	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>

マイアクティブリストへの追加

2. チェックボックスをオンにして追加するアセットを選択して、[マイアクティブリストへの追加] をクリックします。

アセットが正常に追加されたことを確認するメッセージが表示され、リストが更新されます。アクティブリスト内のボタンが [消去] に変わります。

[調査] フォームからアセットを追加するには

1. アクティブリストに追加するアセットを検索します。
2. [調査] フォームでそのアセットを開きます。
3. アクションバーのドロップダウンフィールドの右に表示されている [マイアクティブリストへの追加] をクリックします。

アセットが正常に追加されたことを確認するメッセージが表示され、リストが更新されます。ボタンが [消去] に変わります。

[マイアクティブリストへの追加] ボタンをクリックする前に、少なくとも1つのアイテムを選択してください。

アクティブリストの表示

以下のいずれかの方法でアクティブリストを表示できます。

- ボタンバーの [マイワーク] をクリックします。アクティブリストは、このビューに表示される3つのリストの3番目になるため、必要に応じて画面をスクロールダウンします。[マイワーク] は、初回ログイン時に表示されるビューでもあります。
- アイコンバーの [マイアクティブリストの表示] アイコンをクリックします。このビューにはアクティブリストのみが表示されます。各行のアイテムにはチェックボックスがついています。このチェックボックスをオンにし

て、リストの下部にある [消去] をクリックすると、選択したアセットがリストから消去されます。

- ツリーの [Active List] タブを選択します。タブには、現在アクティブリスト上にあるすべてのアセットが表示されます。

アクティブリストビューはサイトごとに異なります。1つのサイトからアセットを追加し、その後サイトを切り替えてアクティブリストを表示した場合、それらのアセットが切り替えたサイトで共有されていないと、最初のサイトで追加したアセットは表示されません。

アクティブリストの使用

これまでに選択されたアセットがすべて含まれているアクティブリストは、さまざまな用途に使用されます。以下にその例を示します。

- 検索結果が保存されるメカニズムを利用して、個々のアセットを1つずつ調査できます。
- ツリーがオフの場合に、名前のないアソシエーションを確立するための候補リストを作成します。
- アセットの履歴リストと同じくアセットの情報源となり、作成または編集するアセットへのリンクが提供されます。

アクティブリストには、表示中のサイトで使用可能なサイトのみが表示されます。

アクティブリストからアセットを消去する

リストからアセットを消去するには

- アイコンバーの [マイアクティブリストの表示] アイコンをクリックします。

アクティブリストが作業領域に表示されます。

マイアクティブリスト

タイプ	名前	説明	追加日	消去しますか?
Page	Tech Stocks	Burlington Financial Tech Stocks	2003-01-02 08:42:30	<input type="checkbox"/>
Article	Verizon-A555-2001Mar9	Verizon Faces East Coast Strike If Contract Negotiations Falter	2003-01-02 08:41:51	<input type="checkbox"/>
Article	Talks-A618-2001Mar9	Talks Resuming in Verizon Strike	2003-01-02 08:41:51	<input checked="" type="checkbox"/>
Article	Verizon-A723-2001Mar9	Verizon to Buy Onepoint Communications	2003-01-02 08:41:51	<input checked="" type="checkbox"/>
Article	Verizon-A656-2001Mar9	Verizon Phone Lines Slashed as Strike Begins	2003-01-02 08:41:51	<input checked="" type="checkbox"/>

消去

- 消去するアセットのチェックボックスをオンにして選択し、[消去] をクリックします。

リストはすぐに更新され、消去したアセットが反映されます。

[ActiveList] タブをマウスで右クリックし、表示されたポップアップメニューから [消去] を選択して、アセットを消去することもできます。アセットは、アクティブリストから消去されると、リストに表示されなくなります。

消去するアイテムを選択するまで、[消去] をクリックしても何も実行されません。

標準インターフェイスからログアウトする

ログアウトするには

1. [ログアウト] をクリックします。
2. ブラウザを閉じます。

第 4 章

アセットの使用

アセットは Content Server の構成要素です。アセットは、作成、編集、調査、削除、コピー、ワークフローへのアサイメント、リビジョントラッキング機能によるトラッキング、検索、プレビュー、パブリッシュの承認など、さまざまなタスクを実行することのできるオブジェクトです。

「[第 1 章 概要](#)」で説明されているように、Content Server にはいくつかのコンテンツアセットとサイトデザインアセットが用意されています。これらのアセットタイプの定義については、[17 ページの「コンテンツ：アセットとアセットタイプ」](#)を参照してください。お使いのシステムは各組織のニーズに合わせてカスタマイズされているため、ここで定義されているタイプと異なるアセットタイプが含まれている可能性があります。

さまざまなタイプのアセットがありますが、使用方法はほとんど同じです。この章では、Burlington Financial サンプルサイトの例を用いながら、アセットの基本的な使用手順について説明します。

この章は、以下の節から構成されています。

- [許可について](#)
- [新しいアセットの作成](#)
- [アセットの検索](#)
- [アセットの編集](#)
- [eWebEditPro の使用](#)
- [アセット内へのリンクの埋め込み](#)
- [他のサイトとのアセットの共有](#)
- [コレクションアセット](#)
- [リコメンデーションアセットとコレクションアセット](#)
- [アセットと関係](#)
- [ページアセット](#)
- [アセットの削除](#)

許可について

サイトでワークフローを使用している場合、ワークフローの状態とユーザーのロールによっては、特定のアセットを使用できない場合があります。アセットを編集できるかどうかは、システムの管理者が設定する許可によって決まります。タスクを実行する許可がない場合は、Content Server の標準インターフェイスでアクセス権がないことを示すメッセージが表示されます。

許可は、ワークフローに割り当てられたアセットのみに適用されます。ワークフローの詳細については、「[第6章 ワークフロー](#)」を参照してください。

新しいアセットの作成

アセットは新規作成することもできますが、作成するアセットが既存のアセットと似ている場合は、既存のアセットをコピーして、そのコピーしたアセットの内容を変更することもできます。アセットをコピーすると、いくつかの手順を省略できます。この節では、両方の手順を説明します。

次の2つのインターフェイスを使用して、新しくアセットを作成することもできます。

- Content Server Desktop : Microsoft Word ドキュメントからアセットを作成できます。
- Content Server DocLink : Microsoft Word ドキュメントを含む、さまざまな Windows のファイルタイプからアセットを作成できます。

これらのインターフェイスでは、アセットが Content Server データベースに保存される方法が異なります。CS-Desktop で作成したアセットは、Content Server の標準インターフェイスの [新しいアセット] フォームに表示されるフィールドに変換されます。CS-DocLink で作成したアセットはそのままの書式で blob (binary large object) と呼ばれる単一オブジェクトとして保存されます。

作成可能なアセットについて

作成（およびコピー）可能なアセットの種類は、管理者がユーザーのロールに対してボタンの [新規] ボタンをどのように設定しているかによって決まります。管理インターフェイスでは、これを **スタートメニュー** と呼びます。[新規] ボタンのコンテンツをユーザーに合わせて設定することによって、作業を簡略化できます。

- 作業対象外のアセットが表示されないようにすること。
- 既に指定されている情報や調べなければわからない情報を提供しなくてもよいようにすること。
- 固定値が必要な場合は、これらの値を変更できないようにすること。
- 適切なデフォルト値があらかじめ選択されているようにすること。
- アセット定義に基づくフレックスアセットの場合、その定義があらかじめ選択されているようにすること。
- ワークフローが必要なアセットは、適切なワークフロープロセスにあらかじめ割り当てられているようにすること。

これらはすべて、ユーザーが新しくアセットインスタンスを簡単に作成できるように、管理者が[新規]ボタン ([スタートメニュー]) のパーソナライズ機能を使用して設定することができます。

アセットの新規作成

アセットを新規作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの[新規]をクリックして、作成可能なアセットタイプのリストを作業領域に表示します。
3. 新規作成するアセットのアセットタイプをクリックします。
4. [割り当てられたユーザーの選択]画面が右側に表示されない場合は、そのアセットがワークフローに関連付けられていないか、割り当てられたユーザーの選択が必要ないワークフローに関連付けられていることを意味します。その場合は、[ステップ 5](#)へ進んでください。この画面が表示されたら、続けてこのステップを実行します。
 - a. [割り当てられたユーザー] フィールドの[ユーザー] リストボックスに進み、このアセットを割り当てるユーザーを選択します。ここで選択されたユーザーはワークフロープロセスの次のステップを完了できます。



連続した複数のユーザーを選択するには、Ctrl-Shift を押しながら選択範囲の最初と最後にあたるユーザーをクリックしてください。連続していないユーザーを選択する場合は、Ctrl を押しながら個々のユーザーをクリックしてください。

(ワークフローについて詳しくは、「[第6章 ワークフロー](#)」を参照してください)

- b. [ユーザーの割り当て]をクリックします。

5. 作成しているアセットタイプはサブタイプに分類されている可能性があります。この場合は、表示される画面で新しいアセットのサブタイプを選択する必要があります。この画面が表示されない場合は、[ステップ6](#)に進んでください。この画面が表示されたら、次の操作を実行します。

- [定義]ドロップダウンリストから定義（サブタイプ）を1つ選択します。
- このアセットの名前を[名前]フィールドに入力します（命名規則は次のステップを参照）。
- [続行]をクリックします。

Article

名前:

*Content Definition: -- 定義の選択 --

6. 表示されたコンテンツ入力フォームのフィールドに必要な情報を入力します。アスタリスク(*)が付いているフィールドは必須フィールドです。このアセットのフォームに不明なフィールドがある場合は、設計チームまたは管理者に問い合わせてください。
 - 次の規則に従ってアセットの名前を付けてください。
 - 名前はアセットタイプごとに固有のものでなければなりません。
 - 名前には、1～64文字の英数字を使用できます。
 - 句読点、一重引用符 (‘), 二重引用符 (“), セミコロン (;), コロン (:), 疑問符 (?) は使用できません。
 - スペースを含めることはできますが (フレックス属性名を除く)、先頭をスペースにすることはできません。
 - アセットのペアレントアセットを選択しなくてはならない場合や、選択のオプションが与えられる場合があります。ペアレント選択の詳細については、[229 ページの「新しいアセットの作成」](#)を参照してください。
7. [保存]をクリックします。

Content Server インターフェイスに、アセットの要約が表示されます。重複する名前を入力したり、固有であるべき情報が重複している場合は、Content Server インターフェイスにエラーメッセージが表示されます。ブラウザの [戻る] ボタンをクリックしてフォームに戻り、該当するフィールドを訂正してください。
8. (オプション) アセットがワークフローに事前に割り当てられていない状態で、ワークフロー機能を使用するには、[119 ページの「アセットに対するワークフローオプションの設定」](#)の手順に従ってアセットをワークフローに割り当てます。
9. (オプション) パブリッシュ時にアセットがどのように表示されるかを確認するには、[プレビュー]アイコンをクリックします。アセットをプレビューするには、[テンプレート]フィールドでそのアセットにテンプレートが割り当てられている必要があります。

コピー機能を利用したアセットの新規作成

既存のアセットをコピーして、必要に応じて内容を修正する方法でも、新規のアセットを作成できます。他のユーザーがチェックアウトしているアセットでも、コピーを実行できます。

アセットをコピーするには

1. Content Server の標準インターフェイスでアセットを検索します (詳しくは、[72 ページの「アセットの検索」](#)を参照)。
2. アセットの [調査] アイコンをクリックします。

3. アセットの[調査]フォームで、[詳細]ドロップダウンリストから[New Aset Type を介したコピー]を選択します。

注

[New Aset Type を介したコピー]が選択肢に表示されないときは、ユーザーにアセットをコピーする許可がないことを示します。その場合は、ここで作業を中断します。許可について不明な点がある場合は、Content Server の管理者に問い合わせてください。

コピー元のアセットのフィールドと値が含まれたフォームが表示されます。

4. フィールドの値を編集して、新しくアセットを作成します。アスタリスク(*)が付いているフィールドは、必須フィールドです。このアセットのフォームに不明なフィールドがある場合は、設計チームまたは管理者に問い合わせてください。
5. [保存]をクリックします。

Content Server インターフェイスに、アセットの要約が表示されます。重複する名前を入力したり、固有であるべき情報が重複している場合は、Content Server インターフェイスにエラーメッセージが表示されます。ブラウザの[戻る]ボタンをクリックしてフォームに戻り、該当するフィールドを編集してください。
6. (オプション) アセットがワークフローに事前に割り当てられていない状態で、ワークフロー機能を使用するには、[119 ページの「アセットに対するワークフローオプションの設定」](#)の手順に従ってアセットをワークフローに割り当てます。
7. (オプション) パブリッシュ時にアセットがどのように表示されるかを確認するには、[プレビュー]アイコンをクリックします。アセットをプレビューするには、[テンプレート]フィールドでそのアセットにテンプレートが割り当てられている必要があります。

CS-Desktop を使用したアセットの新規作成

お使いのシステムでサポートされている場合は、CS-Desktop から新しくアセットを作成できます。作成するアセットは、Word ドキュメントとして作成されます。これらのドキュメントは、Microsoft Word でドキュメントのコンテンツをアセットフィールドにマッピングすることにより、Content Server データベースにアセットとして入力されます。このマッピングを行うには、ローカルドライブに CS-Desktop クライアントをインストールする必要があります。クライアントをインストールすると、CS-Desktop の使用方法を説明するオンラインヘルプファイルもインストールされます。クライアントのインストール後、Word からヘルプファイルにアクセスできるようになります。クライアント (およびヘルプファイル) をインストールするには、付属の自己解凍式実行ファイルをダブルクリックしてください。

CS-DocLink を使用したアセットの新規作成

お使いのシステムでサポートされている場合は、CS-DocLink から新しくアセットを作成できます。作成するアセットは、テキストファイル、フォーマット済みドキュメント、スプレッドシート、イメージファイルなどの一般的なバイナリファイルタイプとして作成されます。これらのファイルは、Windows エクスプローラで Content Server データベースの階層表示にファイルをドラッグすることにより、Content Server データベースにアセットとして入力されます。このドラッグアンドドロップ操作を実行するには、ローカルドライブに CS-DocLink クライアントをインストールする必要があります。クライアントをインストールすると、CS-DocLink の使用方法を説明するオンラインヘルプファイルもインストールされます。クライアントのインストール後、Windows エクスプローラからヘルプファイルにアクセスできるようになります。クライアント（およびヘルプファイル）をインストールするには、付属の自己解凍式実行ファイルをダブルクリックしてください。

アセットの検索

Content Server の検索ユーティリティを使用してアセットを検索したり、[マイワーク]ビューに関連付けられたさまざまなリストからアセットを選択することもできます。

検索の基本について

検索の一般的な特徴は以下のとおりです。

- 検索には、簡易検索と詳細検索の2種類があります。
- 簡易検索フォームには詳細検索フォームへのリンクがあり、詳細検索フォームには簡易検索フォームへのリンクがあります。
- どちらの検索（簡易、詳細）を利用しても、すべての条件を満たした結果が表示されます。
- 簡易検索フォームと詳細検索フォームには、サイト内に存在する指定されたアセットタイプのインスタンスの合計数が表示されます。
- 条件を指定せずに[検索]をクリックすると、選択したアセットタイプのインスタンスがすべて（最大 1000 件）取得され、1 ページにつき 20 件のインスタンスが表示されます。これは[最大表示数 *nm* ページあたりのアイテム数]ドロップダウンフィールドのデフォルト値です。検索結果が 1000 件を超えた場合は、検索条件をさらに絞ってください。
- テキスト文字列検索では、選択したフィールドの指定検索文字列を含むアセットのすべてのインスタンスが、検索結果リストに表示されます。
- 検索条件には、ワイルドカード文字としてパーセント記号 (%) を使用できます。
- 検索では、使用する検索エンジンと設定オプションに従って、大文字と小文字を区別できます。
- [77 ページの「検索のヒント」](#)も参照してください。

注

ここで説明する検索はアセットに基づいているため、検索される範囲は1種類のアセットタイプのみとなります。ワークフローレポートを実行すると、複数のアセットタイプにまたがる検索を実行できます。詳しくは、[141 ページの「ワークフローレポート」](#)を参照してください。

検索の実行

アセットの検索を実行するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの[検索]をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域に検索可能なアセットのリストを表示します。

3. ハイパーリンクが設定されているアセット名をクリックして、[検索] フォームを開きます。[詳細検索] フォームを開くには、アセット名の横の [詳細検索] をクリックします。

詳細検索フォームには、検索の追加条件が表示されます。検索フォームはアセットタイプによって異なります。特定のアセットタイプの検索フォームに関する質問は、管理者に問い合わせてください。

これは、アーティクルアセットタイプの [簡易検索] フォームです。

Articlesの検索

検索 対象

検索オプション:

最大 ページあたりのアイテム数

ソート条件:

[▶▶ 詳細検索](#)

合計Articles: 549

4. 検索条件を、次のように入力します。
 - a. [検索] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから検索パラメータを選択します。
 - b. 検索するテキストを入力します（このフィールドは空白のままにすることもできます）。
 - c. 1ページに表示する検索条件と一致したアセットの数を指定します（10～300まで選択できます）。
 - d. 結果をソートする値を選択します。

検索条件をまったく入力しないで検索すると、アセットのインスタンスがすべて（最大 1000 件）取得され、1ページにつき 20 件のインスタンスがデフォルトのソート順で表示されます。

5. [検索] をクリックします。

検索結果は、作業領域の検索フォームの下に表示されます。

アイテム21~40(合計55) ソート基準 "Name" ([この検索を保存](#)) ◀ 前の20 | 次へ 15 ▶

Filter : 見出しロカマが含まれます: 'stock' ([この検索を編集](#))

名前	見出し	ステータス	変更済み
Hong-A355-2001Mar9	Hong Kong Stocks Review: China Telecom Shares Drag Hsi Down 0.2%	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
Hong-A43-2001Mar9	Hong Kong Stocks Review: Index Ends Flat on Lack of Fresh Leads	受領済み	2001/03/13 <input type="checkbox"/>

検索結果の左上には、検索条件に一致したアセットの合計数に対する現在表示されているアセット数が表示されます。右上の [前の] および [次へ] のハイパーリンクをクリックすると、前後の検索結果を表示できます。

各検索結果ページの左下部分には、以下のように 1 ページに表示する件数を選択できる一連の数字が表示されています。

表示 [10](#) [20](#) [30](#) [50](#) [100](#) [200](#) [300](#) ページあたりのアイテム数

希望の数をクリックすると、検索が再実行され、1 ページに選択した数のアセットが表示されます。

検索条件の保存

検索条件を入力して [検索] をクリックするときに、他のユーザーが使用できるようにその検索条件を保存することもできます。検索を保存しておくことで、毎回同じ検索条件を入力する手間が省けるほか、1 回のクリックで希望の検索が実行できるようになります。

検索条件を保存するには

1. 検索を実行した後で、[この検索を保存] ハイパーリンクをクリックして、[検索の保存] フォームを開きます。

Save Search:

*名前:

プライベート
 以下のロールのユーザー:

検索条件の共有:
Approver
Author
Checker

現在のサイト: BurlingtonFinancial

他のサイトと共有:

使用可能	選択したアイテム
GE Lighting	

作成者: user_author

フィルタ文字列: フィルタ: すべて ([この検索を編集](#))

2. 以下の手順に従って、フォームに入力します。
 - a. 保存する検索の名前を入力します（赤いアスタリスクは必須フィールドであることを示します）。ここで指定した名前は、[検索] フォームの [保存済み検索] の下にある検索項目部分にハイパーリンクとして表示されます。
 - b. この検索を他のユーザーと共有するかどうかを指定します。共有する場合は、ラジオボタンをクリックして、共有するロールを選択します。複数のロールを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか（隣接しないロールを選択する場合）、Shift キーを押しながらクリックします（隣接したロールをまとめて選択する場合）。デフォルトでは、検索は共有されません（プライベート）。
 - c. この検索を、ユーザーの他のサイトにも表示させるかどうかを指定します。右矢印をクリックして、サイトを [使用可能] リストボックスから [選択したアイテム] リストボックスに移動します。

- d. 条件を確認または編集する場合は、[この検索を編集] ハイパーリンクをクリックします。その後もう一度検索を実行してから [この検索を保存] をクリックして、[検索の保存] フォームに戻ります。
3. [保存] をクリックします。

検索結果の保存

検索が正常に実行された場合、結果の一部またはすべてを参照用に保存しておく、同じ検索を再実行したり、ブラウザで前のページに戻ったりする必要がなくなります。

検索結果を保存するには

1. 検索を実行した後で、フォームの検索結果が表示されるまでスクロールします。

アイテム1~10(合計55) ソート基準 "Name" ([この検索を保存](#)) [次へ 10](#)

Filter : 見出しに stock が含まれます: 'stock' ([この検索を編集](#))

名前	見出し	ステータス	変更済み
Argentine-A418-2001Mar9	Argentine Stocks Up	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
Arkansas-A677-2001Mar9	Arkansas Woman Builds Fortune on Stock Market, Land Ventures	編集済み	2001/03/26 <input type="checkbox"/>
Australian-A225-2001Mar9	Australian Stocks Review: News, Nab Back Rise; Muted Rate Reaction	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
Australian-A598-2001Mar9	Australian Stocks Review: News Corp., Rio Gains Back Market Boost	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
Bank-A550-2001Mar9	Don't Bank 401(K) on Employer's Stock If Company Hits Bad Spot, Retirement Plan Can Tank	受領済み	2001/03/18 <input type="checkbox"/>
France-A324-2001Mar9	France Stocks Review: Cac Falls 2.68% As Nasdaq Resumes Slide	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
France-A494-2001Mar9	France Stocks Review: Cac Up 1.67% As Tech Shares Bounce Back	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
France-A645-2001Mar9	France Stocks Review: Up 0.89% Despite Mixed Day for Tech Shares	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
France-A720-2001Mar9	France Stocks Review: Cac Ends Up 0.58%, Trims Early Tech-Led Gain	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>
France-A742-2001Mar9	France Stocks Review: Market Nudges Higher; Techs Mixed	受領済み	2001/03/18 <input checked="" type="checkbox"/>

[マイアクティブリストへの追加](#)

2. 結果の最初のページで、一致したアイテムの右側にあるチェックボックスをオンにして、保存するアイテムを選択します。[マイアクティブリストへの追加] ボタンをクリックします。
追加したアイテムがアクティブリストに表示されます。
3. ブラウザの [戻る] ボタンをクリックして、アイテムを選択した検索結果ページに戻ります。
4. [次へ] をクリックすると、検索結果の次のページに進みます。
5. 次の手順を繰り返して、各ページから保存するアイテムをアクティブリストに追加していきます。
 - a. アイテムを選択します。
 - b. [マイアクティブリストへの追加] ボタンをクリックします。
 - c. ブラウザの [戻る] ボタンをクリックします。

d. 検索結果の次のページに進みます。

検索結果ページに戻った後にブラウザの [進む] ボタンをクリックすると、アクティブリストに戻ります。

保存済みの検索の実行

保存済みの検索を実行するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [検索] をクリックし、Content Server の標準インターフェイスの作業領域に検索可能なアセットを表示します。
3. [保存済み検索] までスクロールし、保存済みの検索リストから実行したい検索を探します。
検索名または目のアイコンをクリックして、検索を実行します。

保存済みの検索の編集

保存済みの検索を編集するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [検索] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域に検索可能なアセットを表示します。
3. [保存済み検索] までスクロールし、保存済みの検索のリストから編集する検索を見つけます。

保存済み検索

実行する保存済み検索を選択してください

名前	アセットタイプ	共有
  Headline Funds	Article	shared

鉛筆のアイコンをクリックして、編集する保存済みの検索を開きます。

特定の属性の検索

CS-Direct Advantage を使用しているユーザーに適切な許可がある場合は、対象となるフレックスアセットで詳細検索を実行すると、特定の属性および属性値を検索できます。たとえば、GE Lighting サンプルサイトがインストールされていると、プロダクトの特定の属性および属性値を検索できます。

特定の属性および属性値を検索するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [検索] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域に検索可能なアセットを表示します。
3. プロダクトアセットタイプの [詳細検索] をクリックします。

4. [Productの詳細検索] フォームで、[属性値の選択] をクリックして、[属性値の選択] フォームを開きます。

5. [使用可能] リストボックスのアセットを選択してから、矢印ボタンをクリックして [選択したアイテム] リストボックスに移動します。複数のアセットを選択するには、Ctrlキーを押しながらクリックするか（隣接しないアセットを選択する場合）、Shiftキーを押しながらクリックします（隣接したアセットをまとめて選択する場合）。

[検索] をクリックして、属性ベースの検索を実行します。[属性値の選択] をクリックして、選択した属性の特定の値に基づいた検索を実行します。

6. 値ベースの検索の場合、検索に使用する特定の属性値を入力して、[検索] をクリックします。

検索結果には、指定した値を含んだ属性を持つプロダクトアセットが表示されます。

検索のヒント

デフォルトでは、システム独自の SQL 検索メカニズムが使用されます。お使いのサイトが検索エンジンを使用できるように設定されている場合があります。システム管理者に、検索エンジンが有効になっているかどうかを確認してください。

デフォルトの検索メカニズム（SQLによる検索）を使用する際のヒント

デフォルトの SQL による検索メカニズムを使用する場合は、次の点に注意してください。

- 検索文字列ではフレーズを使用しないでください。フレーズは、スペース文字で区切られた一連の独立した単語として扱われ、すべての単語に一致する全レコードが取得されます。
- 検索文字列を引用符記号で囲まないでください。引用符記号も一文字として扱われるため、「John Doe」と入力すると、引用符で囲まれた John Doe のみが検索されます。
- コンマは文字として解釈されません（ベーシックアセットのみ）。たとえば、「logo, banner」を検索すると、logo という単語と banner という単語が検索されます。

Verity 検索エンジンを使用する際のヒント

Verity 検索エンジンではベーシックアセットとフレックスアセットの両方の検索がサポートされていますが、SQL とは異なる構文規則があります。詳細については、Verity のマニュアルを参照してください。

アセットの編集

アセットは、アセットタイプとシステム設定に応じて、さまざまな方法で編集できます。アセットは、次のインターフェイスを使用して編集します。

- Content Server の標準インターフェイス
- Content Server Desktop
- Content Server DocLink
- Internet Explorer ブラウザウィンドウ (InSite Editor を使用)

アセットを編集するには、適切な許可が必要です。

Content Server の標準インターフェイスでの編集

Content Server の標準インターフェイスでアセットを編集するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 編集するアセットを検索します。
3. 検索結果リストでは、各アセットの横にアイコンのリストがあります。編集するアセットの行の [編集] アイコン (鉛筆アイコン) をクリックします。
Content Server の標準インターフェイスの [編集] フォームにアセットが表示されます。
4. 変更を加えてから、[変更の保存] をクリックします。
システムによりアセットの [調査] フォームが更新されて、変更が確定されます。[キャンセル] をクリックすると、変更されていない状態のアセットが [調査] フォームで表示されます。
5. (オプション) パブリッシュ時にアセットがどのように表示されるかを確認するには、[プレビュー] アイコンをクリックします。

CS-Desktop での編集

Microsoft Word で作成されたアセットを編集するには、CS-Desktop の [開く] コマンドを使用します。Content Server データベースにアセットを保存するには、CS-Desktop の [保存] コマンドを使用します。これらのコマンドは、CS-Desktop ツールバーから使用できます。このツールバーは、CS-Desktop クライアントのインストール時に Word のインターフェイスに追加されます。

CS-Desktop で作成されたアセットを Content Server の標準インターフェイスを使用して編集すると、操作が許可されていないことを示すメッセージと、CS-Desktop クライアントソフトウェアのダウンロードサイトへのリンクが表示されます。

CS-Desktop の使用方法については、クライアントソフトウェアとともにインストールされているオンラインヘルプを参照してください。

CS-DocLink での編集

Windows のファイルタイプから作成されたアセットを編集するには、CS-DocLink の [開く] コマンドを使用して元のアプリケーションでアセットを開きます。

Content Server データベースにアセットを保存するには、ファイルをまずデスクトップに保存してから、Windows のエクスプローラの Content Server 階層にドラッグします。これらの機能は、CS-DocLink クライアントのインストール時に Windows のエクスプローラに Content Server の拡張機能を追加すると利用できるようになります。

CS-DocLink の使用方法については、クライアントソフトウェアとともにインストールされているオンラインヘルプを参照してください。

InSite Editor での編集

通常は Content Server の標準インターフェイスで作業はしないものの、不定期にテキストの編集やコンテンツの承認を行うビジネスユーザーなどの場合は、InSite Editor が便利です。この特別なツールを使用すると、サイトのコンテンツページで直接作業ができます。

InSite Editor を使用するには

- Internet Explorer 5.5 (Windows 版) 以上が必要です (その他のブラウザは現在サポートされていません)。
- 編集中的ページを表示するために使用するテンプレートは、適切にコード化されている必要があります。

ブラウザウィンドウに編集可能なページを表示すると、そのページで直接編集可能なフィールドの横に鉛筆アイコンが表示されます。鉛筆アイコンをクリックすると、目のアイコンに変化します。点線で囲まれたフィールド内のテキストを編集することができます。フィールドがリビジョントラッキングによって保護されている場合、鉛筆アイコンのかわりに、現在フィールドを編集できないことを示すロックアイコンが表示されます。

別の InSite Editor ウィンドウにある [保存] をクリックして、編集した内容を Content Server データベースに反映させます。InSite Editor ウィンドウでは、アセットの状態のチェック、ワークフローの割当てやアセットの検索を実行できます。InSite Editor の使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。

編集中のフィールドの境界を示す点線

目のアイコンをクリックすると編集用のレンダリングが表示されます。

[編集] ボタン: eWebEditPro のフィールドを編集する場合にクリックします

鉛筆アイコンをクリックすると、フィールドを編集できます。

InSite Editor のポップアップウィンドウ

ここをクリックすると、割当の表示と終了ができます。ここをクリックすると検索ができます。

編集中のアセットとフィールド

編集されたアセットに関する情報

ここをクリックすると編集内容を保存できます。

eWebEditPro の使用

Content Server は eWebEditPro (Ektron, Inc. 社の WYSIWYG HTML エディタ) をサポートしています。お使いのシステムがこの製品を使用するように設定されている場合、関連付けられたテキストフィールドの [新規] または [編集] フォームと共にこのエディタが表示されます。

このエディタを使用すると、太字、斜体、下線などのスタイルを設定できます。フォントサイズや色の変更、箇条書きリストの作成、ハイパーリンクテキストの挿入も可能です。テキストフィールドのコンテンツに加えた変更は、すぐにエディタウィンドウに表示されます。

また、eWebEditPro を使用して、InSite Editor でフィールドを編集することもできます。

注意

eWebEditPro ツールバーにイメージのアップロード機能が含まれている場合は、使用する前に管理者に確認してください。この方法でアップロードされたイメージはアセットではありません。このイメージをアップロードしたアセットを配信システムにパブリッシュしてもミラーパブリッシュされません。

アセット内へのリンクの埋め込み

アセットを作成および更新するときに、他のソースへの参照リンクを含まなければなりません。Content Server では、3種類の方法でリンクを挿入する（埋め込む）ことができます。

- 現在のサイト内にある別のアセットを参照するハイパーリンクを埋め込む
- 外部 URL へのハイパーリンクを埋め込む
- 現在のサイトから別のアセットのコンテンツを埋め込む

eWebEditPro HTML エディタでは、最初の2つの埋め込みリンクはサポートされていますが、3番目のものについてはサポートされていません。

これらの埋め込み機能がどの程度利用できるかについては、サイト設計者がカスタムアセットの設計で設定した内容によって決まります。Content Server に同梱されているベーシックアセットでは、アセット本文のテキストボックスにこれら3種類の埋め込みリンクを挿入することができます。次の節では、ベーシックアセットで埋め込みリンクを使用する方法について説明します。

内部リンクの埋め込み

内部リンクとは、同じサイト内で現在のアセットから別のアセットを起動するリンクです。

アセット本文のテキストボックスに内部リンクを挿入するには

1. 内部リンクを挿入するアセットの [編集] フォームを開きます。新しいアセットに内部リンクを埋め込むこともできます。
2. ツリーでリンク先となるアセットを検索して、選択します。定義では、選択できるアセットはプレビュー可能な（テンプレートが関連付けられている）アセットのみです。
3. アセット本文のテキストボックスから、ハイパーリンクを設定するアセット本文を選択します。または、アセット本文の任意の場所に新しいテキストを入力して、それを選択することもできます。
4. テキストボックスの右側の [リンクの追加] をクリックします。以下のポップアップウィンドウが表示されます。

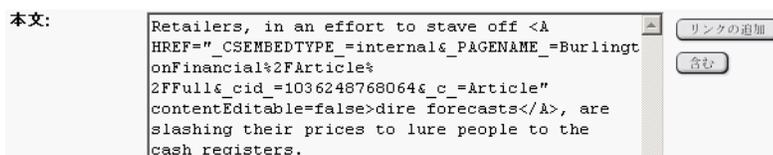
埋め込みリンクの追加

名前:	shopping
タイプ:	Article
選択 Template	Full
宛先	
名前:	sales
タイプ:	Article
フィールド:	本文
リンクテキスト:	dire forecasts

キャンセル Save変更の保存

5. (オプション) [選択 Template] ドロップダウンリストから、リンク先のアセットを表示するテンプレートを選択します。選択しない場合は、リンク先のアセットのデフォルトのテンプレートが使用されます。
6. (オプション) ハイパーリンクを設定するアセット本文のテキストを編集します。
7. [Save 変更の保存] をクリックして埋め込みリンクを保存します。

ポップアップウィンドウが閉じ、以下のように、アセット本文にコード化されたリンクが表示されます。



<A タグと タグ間の情報は、リンクが内部リンクであることを示し、リンク先のアセット、使用するテンプレート、ハイパーリンクを設定したテキストを指定します。

注

編集できるのはリンクテキストのみです。その他の部分の編集については、経験豊富なプログラマまたは設計者以外は行わないでください。

8. [Save 変更の保存] をクリックして、アセット本文を保存します。ここでキャンセルすると、リンク情報はアセット本文に表示されなくなります。

アセット本文を保存した後は、プレビュー機能を使用して、埋め込みリンクが正しく表示されているか確認してください。アセット本文には、埋め込んだアセットへのハイパーリンクが表示されるはずですが、リンクをクリックすると、選択したテンプレートでアセットが表示されます。

外部リンクの埋め込み

外部リンクは、別の Web サイトページを開くリンクです。外部リンクが挿入できるのは、現在の Content Server サイトに外部 Web サイトを参照するリンクアセットタイプのインスタンスが存在する場合のみです。

アセット本文のアセット本文のテキストボックスに外部リンクを挿入するには

1. 外部リンクを挿入するアセット本文の [編集] フォームを開きます。新規作成するアセット本文に外部リンクを埋め込むこともできます。
2. リンク先のサイトを指すリンクアセットを検索、選択します。通常は、リンクアセットタイプを検索して、必要なアセットタイプをアクティブリストに追加し、[Active List] タブからそのリンクアセットの参照先を選択します。

3. アーティクル本文のテキストボックスから、ハイパーリンクを設定するアーティクルテキストを選択します。アーティクル本文の任意の場所に新しいテキストを入力して、それを選択することもできます。
4. テキストボックスの右側の [リンクの追加] をクリックします。以下のポップアップウィンドウが表示されます。

埋め込みリンクの追加	
名前:	fatwire
タイプ:	Link
HREF:	http://www.fatwire.com
宛先	
名前:	India-A169-2001Mar9
タイプ:	Article
フィールド:	Body
リンクテキスト:	
<input type="text" value="Visit our web site for more information."/>	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="変更の保存"/>	

5. (オプション) ハイパーリンクを設定するテキストを編集します。
6. [Save 変更の保存] をクリックします。

ポップアップウィンドウが閉じ、以下のように、アーティクル本文にコード化されたリンクが表示されます。

本文:	<pre>Visit our web site for more information.</pre>	<input type="button" value="リンクの追加"/> <input type="button" value="含む"/>
-----	--	--

<A タグと タグの間の情報は、リンクが外部リンクであることを示し、URL とハイパーリンクを設定したテキストを含むアセットを指定します。

注

編集できるのはリンクテキストのみです。その他の部分の編集については、経験豊富なプログラマまたは設計者以外は行わないでください。

7. [Save 変更の保存] をクリックして、アーティクルアセットを保存します。ここでキャンセルすると、リンク情報はアーティクル本文に表示されなくなります。

アーティクルアセットを保存した後は、プレビュー機能を使用して、埋め込みリンクが正しく表示されていることを確認してください。アーティクルには、埋め込んだ URL へのハイパーリンクが表示されるはずですが、リンクをクリックすると、別のブラウザウィンドウが開かれ、指定した Web サイトが表示されます。埋め込み文字列から「TARGET="_blank"」を削除すると、現在のブラウザウィンドウに指定した Web サイトが表示されます。

アセットのコンテンツの埋め込み

別のアセットのコンテンツを（現在のサイトから）任意のアーティクルアセットに挿入する（埋め込む）ことができます。そのアセットのコンテンツは、一般にページレットと呼ばれる特別なテンプレートによって表示されます。

アーティクルアセットのアーティクル本文のテキストボックスにアセットのコンテンツを挿入するには

1. 別のアセットのコンテンツを挿入するアーティクルアセットの [編集] フォームを開きます。新規作成するアーティクルアセットにアセットのコンテンツを埋め込むこともできます。
2. ツリーで挿入するコンテンツを含むアセットを選択します。
3. アーティクル本文のテキストボックスで、アセットのコンテンツを挿入する場所に任意のテキストを入力し、選択します。ここで入力するテキストは何でもかまいません。入力して選択したテキストは、コンテンツで置き換えられます。
4. テキストボックスの右側の [含む] をクリックします。以下のポップアップウィンドウが表示されます。

含むアイテムの追加	
名前:	shopping
タイプ:	Article
選択 Template	FullText
To	
名前:	sales
タイプ:	Article
フィールド:	本文
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="Save 変更の保存"/>	

5. (オプション) [選択 Template] ドロップダウンリストで、アセットのコンテンツを表示するテンプレートを選択します。選択しない場合は、選択したアセットのデフォルトのテンプレートが使用されます。
6. [Save 変更の保存] をクリックします。

ポップアップウィンドウが閉じ、以下のように、アーティクル本文にコード化されたリンクが表示されます。

本文:	<pre> Retailers, in an effort to stave off dire forecasts, add hereare slashing their prices to lure people to the cash registers. </pre>	<input type="button" value="リンクの追加"/> <input type="button" value="含む"/>
-----	--	--

〈SPAN タグと〈/SPAN〉タグの間の情報は、リンクが挿入リンクであることを示し、挿入するアセット、使用するテンプレート、ハイパーリンクを設定したテキストを指定します。

注

編集できるのはリンクテキストのみです。その他の部分の編集については、経験豊富なプログラマまたは設計者以外には行わないでください。

7. [Save 変更の保存] をクリックして、アーティクルアセットを保存します。ここでキャンセルすると、リンク情報はアーティクル本文に表示されなくなります。

アーティクルアセットを保存した後は、プレビュー機能を使用して、埋め込みリンクが正しく表示されていることを確認してください。アーティクルの挿入箇所に挿入するアセットが、リンクテキストとして入力したダミーテキストの代わりに表示されます。挿入したコンテンツが、選択したテンプレートで表示されます。

埋め込みリンクとフレックスアセット

フレックスアセットに対しても、基本アセットと同じ3種類の埋め込みリンク機能を属性レベルで使用できます。フレックスアセットを作成または更新すると、埋め込みリンクをサポートするフレックス属性が、[リンクの追加] ボタンと [含む] ボタンを備えたフォームに表示されます。これらのボタンを使用して、アーティクルアセットのアーティクル本文のフィールドで説明されている手順に従って3種類のリンクタイプを埋め込みます。

他のサイトとのアセットの共有

1つのアセットを複数のサイトで使用する場合は、そのアセットを共有することによって、同じアセットを何度も作成して管理する手間を省くことができます。アセットを共有するには、適切な許可が必要です。

アセットを共有する際は、次の点に注意してください。

- アセットを共有できるのは、ユーザーがアクセス可能なサイトに対してのみです。アクセス可能なサイトが1つのみの場合は、アセットの共有機能は使用できません。
- ページアセットは共有できません。
- アセットは、コンテンツが同一の場合にのみ共有してください。つまり、共有するサイトで1つでもコンテンツを変更する必要がある場合は、アセットを共有しないでください。この場合は、変更が必要なサイトに対して新しくアセットを作成する必要があります。
- アセットにワークフローが割り当てられている場合は、ユーザーまたは他のユーザーがアセットの元のサイトで作業しているときのみ、ワークフローの状態を変更できます。

- アセットは、パブリッシュの準備ができていない状態、つまりアセットが承認された状態になってから共有することをお勧めします。
- アセットを共有する場合は、共有サイトにアセットがコピーされるわけではありません。したがって、共有アセットを削除すると、そのアセットを共有する他のサイトでも使用できなくなります。

アセットを共有するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 共有するアセットを検索します。
3. アセットの [調査] フォームで、アクションバーのドロップダウンリストから [**アセットタイプの共有**] を選択します。
4. [アセットタイプの共有] フォームで、このアセットを共有するサイトの名前を選択します。
5. [Save 変更の保存] をクリックします。

アセットの [調査] フォームが更新され、アセットにアクセス可能なサイトが一覧表示された確認メッセージが画面の上部に表示されます。

コレクションアセット

ページアセットのコンテンツは、さまざまなソース（イメージおよびテキストファイル、クエリーなど）から成り立っています。多くのページでは、重要なコンテンツはコレクションから取り出されています。コレクションでは、アセットのグループを定義します。

通常は、サイト設計者または管理者がコレクションを作成します。コレクションアセットを扱うユーザーの役割は、1つ以上のクエリー結果からアイテムを選択して、コレクションを作成することです。1つのコレクションで使用されるすべてのクエリーからは、同じタイプのアセットが返される必要があります。

コレクションを作成する前に

コレクションを作成するときは、関連付けられているページをレンダリングするテンプレートのエレメントに意味のある順序で、アセットをランク付けします。たとえば、Burlington Financial サンプルサイトでは、コレクションは重要度の順にランク付けされたアセットのリストです。これらのコレクションには、レンダリングされた（オンライン）ページに表示される順序でランク付けしたアセットのリストが含まれます。

コレクションを作成する前に、アセットを順序付ける方法とコレクションに含めるアセット数を決定する必要があります。たとえば、コレクションに対して 10 のアセットを選択しても、コレクションのテンプレートが 5 つのアセットしか表示できないようにコーディングされている場合、それらのアセットが表示されるページには、最初の 5 つのアセットしか表示されません。

コレクションの作成

コレクションを作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 作成するコレクションを検索します。
3. [調査] フォームで該当するコレクションを開きます。
4. アクションバーのドロップダウンリストから [作成] を選択します。右下部分にある [作成] ハイパーリンクをクリックしても同じです。

コレクションで1つ以上のクエリーが実行され、その結果がアセットのリストとして表示されます。

コレクションの作成:Analyst Home Stories

現在のArticles

ランク	消去	名前	説明
1	<input type="checkbox"/>	Aetna-A446-2001Mar9	Aetna Reports Second Quarter 2000 Earnings
2	<input type="checkbox"/>	Metlife-A698-2001Mar9	Metlife Q2 Earnings Climb 18%, Led by Retail Products
3	<input type="checkbox"/>	Wal-Mart-A706-2001Mar9	Wal-Mart Reports Record Sales And Income for the Second Quarter

Query 1: My Active List Articles

ランク	名前	見出し	変更済み
<input type="checkbox"/>	US-A111-2001Mar9	US Credit Review: Bonds Climb As Nasdaq Drops, Refunding Eyed	2001/03/18
<input type="checkbox"/>	US-A236-2001Mar9	US Credit Outlook: Treasury Refunding Announcement on Tap	2001/03/18
<input type="checkbox"/>	US-A627-2001Mar9	US Credit: under Modest Pressure Ahead of Refunding Supply	2001/03/18

Query 2: Main Stocks Query

5. [ランク] フィールドに適切な数値を入力して、アセットをランク付けします。最大3桁まで数字を入力できます。既に上位リストに含まれているアセットを消去する場合は、[ランク] フィールドの横の [消去] オプションを選択します。クエリーリストのランク番号を削除しても、すでにリストに含まれているアセットを消去することはできません。
6. [Save 変更の保存] をクリックします。

これで、コレクションが作成されたことになり、[調査] フォームに表示されます。

リコメンデーションアセットとコレクションアセット

コレクションアセットと同様、リコメンデーションアセットも、アセットのグループを定義するものです。コレクションアセットではすべてのメンバーが同じタイプでなければならないのに対し、リコメンデーションアセットには異なるタ

イプのアセットを含めることができます。リコメンデーションアセットは、コレクションアセットが使用される場所であればどこでも使用できます。

Engage をインストールすると、リコメンデーションアセットによってマーケティング担当者に最適な強力な機能が加わり、ビジターの履歴やプロフィールおよびその他の情報といった、現在の状況下での選択基準に基づいて動的に他のアセットをユーザーに推奨することができます。

リコメンデーションアセットの作成手順については、[192 ページの「リコメンデーションアセットの作成」](#)を参照してください。

アセットと関係

アセットには、名前付き関連と無名の関連を使用して親子の関係を設定することができます。

名前付き関連

名前付き関連は、特定のアセットタイプに限定された関連です。名前付き関連は、アセットフォームのフィールドとして表示されます。これらのフィールドは、管理者が設定するアセットの関連によって作成されます。

管理者は、アセットタイプとサブタイプの組み合わせに関連を設定して、名前付き関連をさらに制限することができます。サブタイプが存在する場合、フォームのフィールドには、アセットタイプとサブタイプに該当する名前付き関連のみが表示されます。サブタイプが存在しない場合は、そのアセットタイプのすべての名前付き関連が表示されます。サブタイプはサイト固有にすることができるので、サイトに固有のアセットの関連を作成できます。

Burlington Financial サンプルサイトの名前付き関連の例としては、アーティクルアセットとイメージファイルアセット間の Spot ImageFile、Main ImageFile、Teaser ImageFile の関連が挙げられます。たとえば、[アーティクル] フォームの [Main ImageFile] フィールドでイメージファイルアセットを選択すると、選択したイメージファイルアセットは、アーティクルアセットの子になります（このイメージファイルアセットを、他のアーティクルの子に設定することもできます）。

無名関係

コレクションは、アセット間の無名関連の一例です。コレクションのアイテムは、コレクションの子アセットですが、その関連に名前はなりません。また、ページアセットで名前付き関連を使用するほかに、他のソースからページコンテンツを選択する場合も、無名関連といえます。ツリーから他のアセットをコンテンツとして選択、または、ツリー表示がオフになっている場合は、[ページ] フォームの [候補] リストから選択します。候補リストには、アセット履歴とアクティブリストの内容が含まれています。

Burlington Financial サンプルサイトの無名関連の例としては、About ページに配置される About Burlington Financial アーティクル、Contact Us ページに配置される Contact Us アーティクルが挙げられます。

他のアイテムを選択するだけでは、それらが開いているページに表示されるとは限りません。アセットのテンプレート要素が、関連付けられたアセットを認識し、書式化するようにコーディングされている必要があります。そうでない場合は、配信サイトには表示されません。

アセットの関連付け

アセットを関連付けるには（Burlington Financial を例に使用）

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ImageFile アセットに対して検索を実行します。
3. 検索結果リストで、関連付けるアセットの右側にあるチェックボックスをオンにして、[マイアクティブリストへの追加] をクリックします。

4. [New Article] フォームを開いて、[関連] 領域までスクロールします。
5. ツリー内の [Active List] タブをクリックします。
6. フォーム上の関連付けられた ImageFile タイプに適切なイメージをタブから選択します。
7. [選択したアイテムの追加] をクリックします。
8. 必要に応じて手順 6 と 7 を繰り返して、他の ImageFile タイプを選択します。
9. フォームの他のフィールドに入力してアセット定義を完了し、[保存] をクリックします。

新しいアセットの [調査] フォームが更新され、アセットの詳細が表示されます。

ツリー表示がオフになっている場合は、ImageFile タイプフィールドの右側にある矢印をクリックすると、[Active List] および [History] タブの内容が別のウィンドウに一覧表示されます。選択項目をクリックして、フォームのフィールドに追加します。

ページアセット

通常は、サイト設計者または管理者がページを作成します。ページアセットを扱うユーザーのロールは、ページアセットのコンテンツを更新または改訂し、パブリッシュできるように承認することです。

ページアセットがパブリッシュの承認を受けられるようにするには、次のタスクを完了する必要があります。

- ページアセットに含まれているコレクションを調べて、その中のアセットをランク付けして整理します (コレクションの作成)。
- ページに含まれるアセットを編集します (見出しまたは要約の変更など)。
- 古いアセットを更新されたアセットに置き換えます。
- ページアセットをプレビューして、正しく表示されることを確認します。

ページの編集についても、他のアセットと同じ方法で行います。ツリーから使用するアセットを選択します。ツリー表示がオフになっている場合は、[Active List] および [History] タブの内容を含む [候補] リストから選択します。

- ページアセットの作成および配置方法については、『*Content Server Developer's Guide*』を参照してください。
- アセットの編集方法については、79 ページの「アセットの編集」を参照してください。
- コレクションについては、87 ページの「コレクションアセット」を参照してください。
- パブリッシュの承認については、「第5章 パブリッシュ」を参照してください。

アセットの削除

削除機能を使用しても、アセットが実際にデータベースから削除されるわけではなく、アセットの状態が「無効」に変更されるだけです。また、依存関係がない場合は、そのアセットに以前パブリッシュされたことがある場所に対するパブリッシュの承認が自動的に与えられます。

制約

アセットを削除する場合は、次の制約が適用されます。

- アセットを削除できるのは、適切な許可がある場合のみです。
- ワークフロー機能を使用している場合、アセットを削除する許可があっても、他のユーザーに割り当てられているアセットは削除できません。
- すでに配置されているページは削除できません。ページを削除するには、ページの配置を解除する必要があります。
- 他のアセットと関連付けられている場合、そのアセットは削除できません。コレクションに含まれているアーティクルも削除できないアセットの一例です。そのアーティクルを削除するには、コレクションからアーティクルを削除する必要があります（このような場合は、Content Server の標準インターフェイスにアセットの関連に関する情報が表示されます）。
- SiteEntryアセットがによって参照されているCSElementアセットは削除できません。
- 他のフレックスファミリーアセットによって使用されているフレックス定義またはフレックスペアレント定義は削除できません。また、フレックスペアレント、フレックス属性、およびフレックス属性エディタを削除する前に、既存の依存関係をよく調べる必要があります。そのフレックス属性を削除すると、フレックス属性に格納されている既存のデータが失われることを示す警告が表示されます。

アセットの削除

アセットを削除するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 削除するアセットを検索します。
3. アセットの行またはアセットの [調査] フォームのアクションバーにある [削除] アイコンをクリックします。
4. Content Server の標準インターフェイスに確認メッセージが表示されます。アセットが他のアセットやページから参照されているコレクションに関連付けられている場合は、これらのアセットへのリンクを示すリストが表示されますので、これらの関連を解除してから、再度削除を試みてください。
5. [削除] をクリックします。
6. データベースのアセットのステータスが「無効」に変わります。標準の検索では、「無効」としてマークされたアセットは検索されません。

第 5 章

パブリッシュ

Content Server を使用する最終的な目的は、コンテンツを Web サイトにパブリッシュして、オンラインサイトのビジターがコンテンツを読んだり、コンテンツと情報をやりとりしたりできるようにすることです。パブリッシュすると、アセットは管理システムから配信システムに移動されます。

この章では、パブリッシュプロセスの概要とパブリッシュするアセットを承認する手順について説明します。この章は、以下の節から構成されています。

- [パブリッシュ方法](#)
- [パブリッシュの承認](#)
- [パブリッシュコンソール](#)
- [パブリッシュタスク](#)

パブリッシュ方法

CS を使用すると、動的コンテンツ、静的コンテンツ、またはその両方の組み合わせを配信システムに載せることができます。それぞれのコンテンツには、デフォルトのパブリッシュ方法（配信タイプ）が用意されています。コンテンツをファイルに変換して、Content Server 以外のシステムに載せることもできます。コンテンツの変換にも、デフォルトのパブリッシュ方法があります。

- **サーバーへのミラー**：これは、管理システムの Content Server データベースのテーブルから、配信システムの Content Server データベースのテーブルにアセットをコピーする方法です。ミラーされた後は、ビジターの要求に応じて、Web サーバーからページが動的に生成されるようになります。これを、動的パブリッシュ先と呼びます。
- **ディスクへのエクスポート**：これは、設計チームが提供するテンプレートに従って、すべてのアセットを静的 HTML ファイルにレンダリングする方法です。エクスポートされた後は、これらのファイルを配信システムの Web サーバーにアップロードできます。これを、静的パブリッシュ先と呼びます。
- **XML へのエクスポート**：これは、アセットを個々の XML ファイルに変換して、ディレクトリに格納する方法です。格納された後は、XML ファイルに対応し

た外部コンテンツ配信システムにこれらのアセットファイルをパブリッシュできます。これを、外部パブリッシュ先と呼びます。

管理者は、配信タイプとパブリッシュ先を設定し、それぞれのパブリッシュ先にアクセスできるサイトを宣言します。パブリッシュ先の設定方法、エクスポートするHTMLファイルの名前の付け方などについては、『*Content Server Administrator's Guide*』を参照してください。

パブリッシュの承認

アセットをパブリッシュするためには、そのアセットのパブリッシュを承認する必要があります。アセットには依存関係（ベーシックアセットには名前付き関連と無名の関連があり、フレックスアセットには定義とペアレント定義）があります。承認を求めることによって、従属アセット（親または子）の準備ができていないアセットがパブリッシュされるのを防ぐことができます。これにより、配信システムで壊れたリンクが表示されるのを防ぐことができます。

アセットの依存関係

アセットの承認状態はその依存関係によって決定されます。これには、特定のアセットアイテムに関連付けられているすべてのアセットアイテムの承認状態、およびこれらの関連アイテムの依存関係が含まれます。

アセットの依存関係は、アセット間に何らかの相関関係がある場合に存在します。たとえば、任意のページアセットとコレクションアセットの間に何らかの相関関係があるとします。そのコレクションアセットは3つのアーティクルアセットと相関関係があり、そのアーティクルアセットの2つはImageFileアセットと相関関係があるとします。このツリー階層にはこれらすべてのアセット間における一連の親子関係を形成します。パブリッシュするには、これらすべてのアセットを承認する必要があります。

依存関係のタイプ

CSが認識し、実行するパブリッシュの依存関係のタイプは2種類あります。

- **存在**：このタイプの依存関係では、アセットの従属アセットが、バージョンに関係なく、パブリッシュ先に存在していればよいこととなります。たとえば、親アセットとその子アセットが承認されパブリッシュされていると仮定します。子アセットを再度編集し、まだ承認されていない状態で、親アセットを再度編集したとします。ここで、この親アセットが承認されると、子アセットが再び承認を受けていなくても、子アセットは既にパブリッシュ先に存在しているので、親アセットをパブリッシュすることができます。HTMLページと別のページへのHREFリンクとの関係も、この存在の依存関係の一例といえます。この場合は、リンク先のページが存在していればそのHTMLページをパブリッシュできます。
- **一致**：このタイプの依存関係では、パブリッシュ先の親アセットとその子アセットのバージョンが一致している必要があります。たとえば、親アセットとその子アセットが承認されパブリッシュされていると仮定します。子アセットを再度編集し、まだ承認されていない状態で、親アセットを再度編集したとします。ここで、この親アセットを承認しようとする、子アセットがまだ承認されていないため、親アセットは承認待ち状態になります。子アセットを承認すると、両者のバージョンが一致するので、親アセットもパブ

リッシュ可能な状態になります。一連の説明文とそれに伴う図の関係は、一方が変更されるとそれに合わせて他方も変更する必要があるという点で、一致タイプの依存関係の一例といえます。

依存関係：動的パブリッシュ

ミラーサーバーへパブリッシュするアセットを承認すると、アセットの依存関係や各従属アセットに関連付けられている依存関係のタイプが決定されます。そのアセットをパブリッシュするためには、すべての従属アセットが承認されているか、または以前にパブリッシュされている必要があります。どちらにも当てはまらない場合は、通常、従属アセットが承認されるまで、アセットのパブリッシュは承認待ち状態となります。

アセットが承認されると、承認の依存関係が記録されます。その後にアセットを変更すると、アセットは承認済みとみなされなくなるため、パブリッシュするためには再度承認する必要があります。

ベーシックアセットでは、サーバーにミラーパブリッシュする場合、デフォルトの依存関係タイプは**存在**となります。管理者が特定の名前付き関連に対してデフォルトの依存関係タイプを上書きした場合は、この限りではありません。フレックスアセットの場合、フレックスファミリーのメンバー間には明確に定義された一致と存在の依存関係があります。これらの依存関係は、開発チームが管理システムを設計する際に考慮されます。ベーシックアセットおよびフレックスアセットの依存関係の詳細については、『*Content Server Developer's Guide*』を参照してください。

依存関係：外部パブリッシュ

アセットをXMLファイルへパブリッシュする際の承認ロジックは、サーバーへのミラーパブリッシュと同等です。アセットをパブリッシュするには、すべての従属アセットが承認されているか、または以前にパブリッシュされている必要があります。どちらにも該当しない場合、アセットのパブリッシュは従属アセットの承認待ち状態となります。アセットが承認され、パブリッシュの準備がととのうと、アセットがXMLファイルに書き込まれます。承認された従属アセットも別のXMLファイルに書き込まれます。以前にパブリッシュされている従属アセットは、コンテンツに変更がない限りXMLファイルには書き込まれません。

依存関係：静的パブリッシュ

静的パブリッシュの場合、テンプレートアセットを使用してアセット間の依存関係が決定されます。テンプレートがレンダリングされることによって表示およびリンクされるアセットは、すべて依存関係があるとみなされます。ただし、リンク先のアセットが参照しているアセットは、依存関係があるとはみなされません。デフォルトでは、表示されるアセットには**一致**の依存関係、リンク先のアセットには**存在**の依存関係があります。

最終的に、テンプレート設計者が「ディスクへのエクスポート」の依存関係タイプを決定します。

デフォルト承認テンプレート

アセットをパブリッシュするときには、状況に応じて異なるテンプレートを使用した方がよい場合があります。ただし、アセットを承認するときは、依存関係の特定に使用されるテンプレートに最も包括的なものを選択してください。ここで

いう包括的なテンプレートとは、テンプレートの中でも代表的な依存関係が一番多く含まれているものを指します。このテンプレートは、配信システム上で実際にアセットを表示するテンプレートとは異なる場合があります。デフォルト承認テンプレートが用意されているのはこのためです。

管理者は、各パブリッシュ先のそれぞれのアセットタイプに対するデフォルト承認テンプレートを設定できます。アセットのサブタイプを使用すると、1つのアセットタイプをさらに細かく分類できます。このようにサブタイプを利用して、管理者は特定のサブタイプに複数のデフォルト承認テンプレートを割り当てることができます。アセットタイプに使用可能なサブタイプのリストがある場合は、アセットの [新規] および [編集] フォームのドロップダウンリストに表示されます（ベーシックアセットのみ）。

デフォルト承認テンプレートが設定されていない場合は、アセットの [新規] または [編集] フォームで定義されている表示テンプレートを使用して依存関係が決定されます。

エクスポート開始ポイント

静的パブリッシュ先の場合、承認済みのアセットをパブリッシュする前に、エクスポート開始ポイントを定義する必要があります。開始ポイントを指定せずにパブリッシュしようとする、パブリッシュコンソールで静的パブリッシュ先を選択した後に次のメッセージが表示されます。

パブリッシュ先: MyExportTarget

宛先: MyExportTarget(Export to Diskを使用)
 引数:

このエクスポート先に定義されたパブリッシュ開始ポイントはありません

実際に開始ポイントが、割り当てられたテンプレートを使用して、開始ポイントに指定されたアセットとそのリンク先のすべてのアセットを「パブリッシュせよ」と指示します。開始ポイントは1つでも複数でも指定できます。最低でも各ルートノード（トップレベルのページ）をエクスポート開始ポイントとして指定したいと考えるでしょう。同時にルートノードは、配信システムにパブリッシュするアセットのサブセットをエクスポートするための手段として使用することもできます。詳しくは、104 ページの「エクスポート開始ポイントの指定」を参照してください。

パブリッシュ保護メカニズム

Content Server では、承認およびパブリッシュプロセスの整合性を維持するため、以下のようなルールを設定しています。

- 承認およびパブリッシュタスクには適切な権限が必要です。
- すべての承認およびパブリッシュの処理は、パブリッシュ先単位で実行されます。
- Content Server の標準インターフェイスでは、[調査] フォームまたは [ステータス] フォームから個々のアセットを承認するか、またはアセットのリストのチェックボックスをオンにする方法で、アセットを承認します。アセットの承認はワークフローで自動化することもできます。管理者は、すべてまたは特定のアセットを一括承認することができます。

- パブリッシュの実行中は、パブリッシュ処理が完了するまで、そのパブリッシュ先に対して承認されたアセットを編集することはできません。ただし、管理者がこれとは異なるシステム設定を行っている場合は、この限りではありません。
- パブリッシュの実行中は、パブリッシュ処理が完了するまで、そのパブリッシュ先に対してすでに承認されているアセットを開いて編集しても、編集内容を保存することはできません。
- パブリッシュは増分方式です。つまり、同じバージョンのアイテムがそのパブリッシュ先にすでにパブリッシュされている場合、そのアイテムはパブリッシュされません。ただし、管理者はこの制約を無効にして、前のパブリッシュ履歴に関係なく任意のパブリッシュ先に対してすべてのアセットのパブリッシュを実行することができます。
- パブリッシュ先にパブリッシュするアセットを個別に選択することはできません。パブリッシュを開始すると、まだ一度もパブリッシュ先にパブリッシュされていないアセットのうち、承認済みでパブリッシュの準備ができたアセットすべてがパブリッシュされます。任意のアセットを次のパブリッシュイベントでパブリッシュされないようにするには、そのアセットを承認しないでください。

パブリッシュコンソール

パブリッシュコンソールを使用すると、アクセス可能なサイトに設定されたパブリッシュ先のパブリッシュ処理を表示、管理できます。パブリッシュコンソールでおこなえる操作は、以下のとおりです。

- 承認済みでパブリッシュの準備ができたアセットがある、パブリッシュ先へのパブリッシュ処理を開始します。
- パブリッシュ先へのパブリッシュが承認待ち状態になっているアセットを検索して解決します。
- 現在実行中のパブリッシュイベントを確認します。
- パブリッシュイベントのスケジュールを表示します。
- すでに実行されたパブリッシュイベントの監査記録を表示します。

ボタンの [パブリッシュ] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にパブリッシュコンソールを開きます。次の節では、パブリッシュコンソールを使用してさまざまなパブリッシュ操作をおこなう方法について説明します。

注

パブリッシュコンソールにアクセスするには、適切な ACL が必要です。

パブリッシュタスク

ここでは、Hello Asset World サンプルアセットを使用しながら、Content Server の標準インターフェイスでアセットを承認する方法とパブリッシュする方法について説明します。

パブリッシュするアセットの承認

パブリッシュするアセットを承認するには、適切な権限が必要です。アセットを承認する作業は、自動化することもできます。たとえば、Burlington Financial サンプルサイトに含まれているサンプルワークフロープロセスの Normal Article Process には、ワークフローで処理されたアセットを提供されている静的および動的パブリッシュ先に対して自動的に承認する最終段階のアクションがあります。詳しくは、[115 ページの「サンプルワークフロー」](#)を参照してください。

表示可能なアセットについては、プレビューで確認した上で、承認してください。

パブリッシュするアセットを承認するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. パブリッシュを承認するアセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームにアセットを開き、ドロップダウンリストから [パブリッシュ先の承認] を選択します。パブリッシュ承認フォームが表示されます。

Page: HelloPage

プレビュー 調査 編集 削除 詳細... マイアクティビティへの追加

名前: HelloPage
 説明: A page asset for HelloAssetWorld
 ステータス: 作成済み
 ID: 1028054041898
 変更済み: 2002/08/02 11:34:17、更新者Coco

パブリッシュ先の承認:

Static(Export to Diskを使用)
 Dynamic(Mirror to Serverを使用)
 MyExportTarget(Export to Diskを使用)
 MyMirrorTarget(Mirror to Serverを使用)

キャンセル 承認

4. 承認するアセットのパブリッシュ先を選択します。一般的なパブリッシュ先として、ディスクにエクスポートパブリッシュする方法には静的パブリッシュ先が、サーバーにミラーパブリッシュする方法には動的パブリッシュ先が用意されています。フォームには、現在のサイトに対して設定されている他のパブリッシュ先も表示されます。アセットは、個々のパブリッシュ先に対して承認する必要があります。
 [承認] をクリックします。

通常、承認済みのアセットがパブリッシュできない原因となっているアセットがリストに表示されます。

 このアセットは、従属アセットが参照されるまでパブリッシュできません。

HelloPageをパブリッシュするには、以下のアセットをパブリッシュ先MyExportTargetに対して承認する必要があります。:

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	承認
Collection	HelloCollectionHello	A collection of articles in the HelloAssetWorld site	編集済み	2002/08/02	<input type="checkbox"/>
HelloImage	Space Junk	Space Junk	編集済み	2002/08/07	<input type="checkbox"/>

すべて選択

キャンセル 承認

5. アセットは承認されていますが、従属アセットの承認が必要なためパブリッシュできません。[すべて選択] をクリックして、承認が必要なアセットの横にあるチェックボックスをすべてオンにして、[承認] をクリックします。CSによって、これらの他のアセット間の依存関係が確認され、同様の結果が表示されます。すべての依存関係が解決されるまで、関連アセットの承認を続けます。

[ステータス] フォームからアセットを承認することもできます。手順については、99 ページの「承認状態の確認」を参照してください。

承認状態の確認

アセットの承認状態を確認するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 確認するアセットを検索して選択します。

3. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。[パブリッシュ先] 領域までスクロールします。次のような画面が表示されます。

パブリッシュ先:

[これをMyExportTargetでプレビュー](#)

承認状態: 承認待ち、このアセットは、従属アセットが参照されるまでパブリッシュできません。

MyExportTarget: [パブリッシュができない原因となっているアセットの表示](#)

Template: HelloPageTemplate

ファイル/パス: [パス/ファイル名と開始ポイントを指定する](#)

開始ポイント: エクスポート開始ポイントではありません。

承認従属: [7従属アセット](#)

[これをMyMirrorTargetでプレビュー](#)

MyMirrorTarget: 承認状態: 承認済み、MyMirrorTargetへのパブリッシュが承認済みで準備ができています。

承認従属: [1従属アセット](#)

フォームには、現在のサイトの管理者が定義した各パブリッシュ先に対するアセットの承認状態が表示されます。

これをパブリッシュ先でプレビュー：このハイパーリンクをクリックすると、プレビューウィンドウにアセットが表示されます。

- 静的パブリッシュ先の場合、デフォルト承認テンプレート（[テンプレート] で指定）によってアセットの依存関係が確認されます。詳しくは、95 ページの「[デフォルト承認テンプレート](#)」を参照してください。
- 動的パブリッシュ先および XML パブリッシュ先へのエクスポートの場合、アセットはそのまま表示されます。

承認状態：承認サイクルにおけるアセットの現在の状態を説明します。何らかの操作が必要な場合は、[このアセットを承認] など、適切なハイパーリンクが表示されます。詳しくは、101 ページの「[承認状態](#)」を参照してください。

ファイル/パス：開始ポイント：（静的パブリッシュ先のみ）エクスポート開始ポイントを定義するフォームへのリンクが表示されます。エクスポート開始ポイントは、依存関係の確認を開始する最上位ページ（たとえば Home など）となります。オプションで、アセットの作成時に指定したファイル名やパス名を上書きすることもできます。詳しくは、104 ページの「[エクスポート開始ポイントの指定](#)」を参照してください。

従属アセットの承認：現在のアセットと依存関係にあるアセットのリストへのリンクが表示されます。これらの従属アセットの状態は、次のサンプルリストのスナップショットに示されているように、「承認済み」、「承認が必要」、他の従属アセットの「承認待ち」の 3 種類があります。

7従属アセット

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	承認状態	依存タイプ	
	HelloArticle	spacejunk	story about space debris	編集済み	承認待ち	一致
	Collection	HelloCollectionHello	A collection of articles in the HelloAssetWorld site	作成済み	承認が必要	一致
	Template	HelloPageTemplate	The template that displays the HelloPage asset	編集済み	承認済み	一致

リストにあるアセットの [承認が必要] リンクをクリックすると、CS によってアセットが承認され、そのアセットの依存関係が確認されます。この

アセットの承認状態は、[承認済み] または [承認待ち] のどちらかになります。

リストにあるアセットの [承認待ち] リンクをクリックすると、承認待ちアセットをパブリッシュする前に承認が必要なアセットのリストが表示されます。[すべて選択] をクリックして、承認が必要なアセットの横にあるチェックボックスをすべてオンにして、[承認] をクリックします。

これら2つのイベントの操作は、98ページの「パブリッシュするアセットの承認」で説明されている手順4および5と類似しています。

承認状態

以下の表では、各パブリッシュ先に対する [ステータス] フォームに表示される可能性のある承認状態とその意味、必要な操作（該当する場合）を示しています。

状態	意味
承認済み。パブリッシュ先へのパブリッシュが承認済みで準備ができています。	(情報) このアセットは、内容が変更されたり、一致の依存関係にある従属アセットの内容が変更されない限り、次のパブリッシュイベント時にこのパブリッシュ先にパブリッシュされます。
承認もパブリッシュも完了しています。アセットのバージョンはパブリッシュ先のバージョンと同じです。	(情報) 一致の依存関係にあるアセットがすでにこのパブリッシュ先にパブリッシュされています。
現在チェックアウトされています。パブリッシュ先にパブリッシュされません。	(操作が必要な場合あり) アセットは、リビジョントラッキングでチェックアウトされています。承認されていますが、リビジョントラッキング機能が無効になるまではパブリッシュできません。 <ul style="list-style-type: none"> [チェックイン]：アセットを再承認してください。 [チェックアウトを元に戻す]：アセットは承認されているためパブリッシュ可能です。 [ロールバック]：アセットを再承認してください。
パブリッシュ先にエクスポートされるページでリンクとして承認されています。	(情報) このアセットは、エクスポートされるページからリンクされる場合に限り、静的パブリッシュ用に承認されています。
アセットはパブリッシュ先へのパブリッシュの承認後、変更されています。	(操作が必要) アセットを再承認してください。[このアセットを承認] リンクをクリックして、承認プロセスを開始します。

状態	意味
承認済みですが、パブリッシュ先にパブリッシュするための承認は、すでに存在しない従属アセットのバージョンに基づいています。	(操作が必要) このアセットのバージョンが従属アセットのバージョンと一致するように、アセットを再承認してください。[このアセットを承認] リンクをクリックして、承認プロセスを開始します。
承認待ち。承認済みですが、従属アセットのパブリッシュ先へのパブリッシュがまだ承認されていません。	(操作が必要) 従属アセットが承認されるまで、アセットは承認待ちになります。[パブリッシュができない原因となっているアセットの表示] リンクをクリックして、従属アセットを表示し承認します。
承認が必要。パブリッシュ先へのパブリッシュが承認されていません。	(操作が必要) アセットを承認してください。[承認] リンクをクリックして、承認プロセスを開始します。
このアセットは、参照元のアセットが承認されるまでパブリッシュできません。	(操作が必要) このアセットをパブリッシュする前に、参照元アセットを承認してください。承認待ち状態の関連アセットも一覧表示されて、承認が必要となる場合があります。[パブリッシュできない原因となっているアセットの表示] リンクをクリックして、参照元アセットと関連アセットを表示し、承認します。

[パブリッシュできない原因となっているアセットの表示] リンクをクリックすると、次のようなフォームが表示されます。

HelloCollectionHelloをパブリッシュするには、以下のアセットをパブリッシュ先MyExportTargetに対して承認する必要があります。

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	承認
 Page	HelloPage	A page asset for HelloAssetWorld	編集済み	2002/11/04	<input type="checkbox"/>

次に関連する承認待ちアセット: HelloCollectionHello

以下の承認待ちアセットはHelloCollectionHelloの関連アセットで、このアセットをパブリッシュできない原因となっている可能性があります。これらのアセットは、HelloCollectionHelloが変更されたためにパブリッシュの承認待ち状態になっている可能性があります。

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	承認
 Page	HelloPage	A page asset for HelloAssetWorld	編集済み	2002/11/04	<input type="checkbox"/>

[すべて選択](#)

[キャンセル](#) [承認](#)

Hello Asset Worldは単純なサイトですが、複雑なサイトの場合は通常、アセットのリストがさらに長くなります。フォームには、パブリッシュする前に承認が必要なアセットだけでなく、そのアセットに関連する承認待ちアセットも表示されます。[すべて選択] をクリックして、両方のリストのアセットを選択します。[承認] をクリックして、競合している問題や原因となりうるものをすべて解決します。

承認の競合の解決

アセットは承認されていても、従属アセットまたは参照アセットが承認されていないために、パブリッシュが承認待ち状態になっている場合、承認の競合が発生します。98 ページの「パブリッシュするアセットの承認」99 ページの「承認状態の確認」では、個々のアセットに対する承認の競合を解決する方法について説明します。

複数のアセットが持つ承認の競合をグローバルに解決するには、次の手順に従って、パブリッシュコンソールで特定のパブリッシュ先に対するのパブリッシュの状態を調べます。

パブリッシュ先に対する競合を解決するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [パブリッシュ] をクリックして、パブリッシュコンソールを開きます。

注

[パブリッシュ] タブが表示されない場合は、この操作を行う許可がない可能性があります。

3. ドロップダウンリストからパブリッシュ先を選択し、[パブリッシュ先の選択] をクリックします。
4. 選択したパブリッシュ先に対する承認待ちアセットがある場合は、そのアセットへのハイパーリンクをクリックします。承認待ちアセットのリストが表示されます。

2アセットがパブリッシュの承認待ちです

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	承認
Collection	HelloCollectionHello	A collection of articles in the HelloAssetWorld site	編集済み	2002/12/27	承認待ち
Page	HelloPage	A page asset for HelloAssetWorld	編集済み	2002/12/27	承認待ち

5. [承認] 列の [承認待ち] ハイパーリンクをクリックして、承認フォームを開きます。

HelloCollectionHelloをパブリッシュするには、以下のアセットをパブリッシュ先MyExportTargetに対して承認する必要があります。:

アセットタイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	承認
Template	HelloCollectionTemplate	This template displays the HelloCollectionHello collection.	編集済み	2002/12/27	<input type="checkbox"/>

すべて選択

キャンセル 承認

6. [すべて選択] をクリックして、承認が必要なアセットの横にあるチェックボックスをすべてオンにして、[承認] をクリックします。

7. パブリッシュ先に対する承認待ちアセットのリストに戻り、手順5と6を繰り返して承認の競合をすべて解決します。これで、承認済みのアセットを一括してそのパブリッシュ先にパブリッシュできます。

エクスポート開始ポイントの指定

ディスクにエクスポートする場合は、パブリッシュを開始するポイントを定義して、システムにパブリッシュを開始する場所を知らせる必要があります。つまり、トップレベルのアセットを指定して、該当するアセットとそのリンク先のすべてのアセットをパブリッシュします。

アセットを開始ポイントとして割り当てるとき、アセットに使用するテンプレートを指定する必要があります。異なるパブリッシュ条件に応じて、複数のテンプレートを指定できます。

アセットをエクスポート開始ポイントとして指定するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. エクスポート開始ポイントにするアセットを検索して選択します。
3. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
4. [パブリッシュ先] 領域にある静的パブリッシュ先を探して、[パス / ファイル名と開始ポイントを指定する] リンクをクリックします。アセットフォームには、次の Hello Asset World サンプルサイトの例に示されているようなフィールドが表示されます。

宛先:	MyExportTarget						
パス:	<input type="text" value="Hello"/>						
ファイル名:	<input type="text" value="World"/>						
このアセットがエクスポート開始ポイントですか? <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ							
使用するテンプレート:	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Template</th> <th>指定パスの強制使用</th> <th>指定ファイル名の強制使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> HelloPageTemplate</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	Template	指定パスの強制使用	指定ファイル名の強制使用	<input checked="" type="checkbox"/> HelloPageTemplate	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Template	指定パスの強制使用	指定ファイル名の強制使用					
<input checked="" type="checkbox"/> HelloPageTemplate	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					

5. 以下の手順に従って、フォームに入力します。
 - a. [パス] : (オプション) アセットフォームで指定したパス (ある場合) を上書きするためのディレクトリパスを指定します。管理者が指定した命名規則に従ってください。この値は、アセットの開始ポイント宣言とは別に指定できます。
パスは、`installation-dir/export` ディレクトリに追加されます。この例では、パスは `installation-dir/export/Hello` となります。
 - b. [ファイル名] : (オプション) アセットフォームで指定したファイル名 (ある場合) を上書きするためのファイル名を指定します。管理者が指定した命名規則に従ってください。この値は、アセットの開始ポイント宣言とは別に指定できます。
デフォルトのファイル名は、`site-assettype-template_assetid.html` となります。この文字列の中の `assetid` の部分に、ここで指定したファイル名が入ります。この例では、ファイル名は `site-assettype-template_World.html` となります。CS の命名規則では、必ず固有の名前

が使われるようになっていきます。このデフォルトでつけられた名前を上書きする場合は、指定するファイル名を必ず固有のものにしてください。まとめると、ここで指定されるパスとファイル名はパブリッシュ先に固有のもので、これらのフィールドが空白であっても、アセットにパスとファイル名が指定されている場合は、それらの値が使用されます。そうでない場合は、デフォルトの命名規則を使用してパスとファイル名が決定されます。詳細については、『*Content Server Administrator's Guide*』を参照してください。

- c. 開始ポイントに使用するテンプレートをクリックします。テンプレートをクリックすると、エクスポート開始ポイントの設定ラジオボタンで自動的に [はい] が選択されます。複数のテンプレートを選択して、複数の開始ポイントを定義することができます。たとえば、テキストのみの開始ポイントとグラフィックを多用した開始ポイントを指定する場合は、適切なテンプレートを選択します。
 - d. 指定したパスを強制するかどうかを指定します。上の例では、パスのみを強制する場合、パスとファイル名は `Hello/site-assettype-template_World.html` となります。
 - e. 指定したファイル名を強制するかどうかを指定します。ファイル名を強制する場合、`site-assettype-template` 部分は切り捨てられ、名前はファイル名のみになります。上の例では、パスと名前は `Hello/World.html` となります。
- 複数の開始ポイントを定義する場合、そのうちの1つのポイントに対してのみファイル名を強制できます。
6. [保存] をクリックします。[ステータス] フォームが更新されて、指定した情報が適用されます。

承認済みアセットのパブリッシュ

アセットを承認すると、パブリッシュ先に分けてまとめられます。アセットをパブリッシュすると、パブリッシュの配信タイプに応じて、サーバーにミラーリングされるか、ディスクにエクスポートされます。

パブリッシュはパブリッシュコンソールから直ちに実行する場合と、管理者が設定するスケジュールイベントとして実行される場合があります。どちらの場合も、パブリッシュはバックグラウンドプロセスとして実行されるため、Content Server の標準インターフェイスでの作業を続行できます。パブリッシュを実行できるユーザーは、サイトのポリシーと実際の運用形態によって決定されます。

承認済みのアセットをパブリッシュするには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [パブリッシュ] をクリックして、パブリッシュコンソールを開きます。

- ドロップダウンリストからパブリッシュ先を選択し、[パブリッシュ先の選択] をクリックします。配信タイプに基づいた [パブリッシュ] フォームが表示されます。

ディスクにエクスポートする場合

パブリッシュ先: MyExportTarget

宛先: MyExportTarget(Export to Diskを使用)
 引数:

[1 reference with its associated references is ready for publish.](#)
[これらの開始ポイントを使用して計算されたリファレンス。](#)

キャンセル パブリッシュ

ディスクにエクスポートする配信タイプは参照ベースです。つまり、パブリッシュされるHTMLファイルに承認済みのアセットへの参照が含まれていることとなります。選択したパブリッシュ先に対してパブリッシュの準備ができたアセット参照がない場合、フォームには [パブリッシュ] ボタンは表示されません。また、開始ポイントへのリンクも表示されます。静的パブリッシュ先にパブリッシュする場合は、開始ポイントが必要となります (96 ページの「エクスポート開始ポイント」を参照)。

サーバーにミラーする場合

パブリッシュ先: Destination 2 (dynamic)

宛先: Destination 2 (dynamic)(Mirror to Server を使用)
 パブリッシュ先アドレス: http://[targetserver]/servlet/
 引数: REMOTEUSER=ContentServer&REMOTEPASS=*****
[1つのアセットをパブリッシュする準備ができました。](#)

キャンセル パブリッシュ ターゲットでサイトを作成

選択したパブリッシュ先に対してパブリッシュの準備ができたアセットがない場合、フォームには [パブリッシュ] ボタンは表示されません。

- 承認済みのアセットのリストを表示するには、ハイパーリンクをクリックします。

パブリッシュ先: MyMirrorTarget

宛先: MyMirrorTarget(Mirror to Serverを使用)
 引数:

パブリッシュされる6アセット:

タイプ	名前	説明	ステータス	変更済み	
	Query	HelloQuery	Query for HelloArticles	編集済み	2002/08/02
	HelloArticle	roswell	story about Roswell, New Mexico	編集済み	2002/08/02
	HelloImage	Tractor Soup	Tractor Soup	編集済み	2002/08/07
	HelloImage	Space Junk	Space Junk	編集済み	2002/08/07
	HelloImage	Survey	A picture of a survey	編集済み	2002/08/07
	HelloImage	Alien Image	A picture of an alien	編集済み	2002/08/07

戻る パブリッシュ

[戻る] をクリックすると、前の画面に戻ります。

- 承認済みのアセットを、選択したパブリッシュ先にパブリッシュするには、[パブリッシュ] をクリックします。確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックして続行します。

パブリッシュタスクが開始されたことを確認するメッセージ、または選択したパブリッシュ先へのパブリッシュが実行中のためタスクを開始できないことを示すメッセージが表示されます。ハイパーリンクをクリックして、パブリッシュコンソールに戻ります。

注

パブリッシュ先にパブリッシュするアセットを個別に選択することはできません。承認済みのアセットは、すべてまとめてパブリッシュされます。

現在のパブリッシュ処理の表示

現在のパブリッシュ処理を調べるには

- ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
- ボタバーの [パブリッシュ] をクリックして、パブリッシュコンソールを開きます。
- 次に示す [パブリッシュセッションの実行中] までスクロールします。

パブリッシュセッションの実行

宛先	パブリッシュ開始時刻	ステータス	パブリッシュしたユーザー
 MyMirrorTarget	2002/12/27 15:54:25	Running	Bobo

実行中のセッションについては、以下の点にも留意してください。

- このリストには、パブリッシュコンソールから、またはスケジュール設定されたイベントとしてトリガーされた実行中のパブリッシュセッションが（パブリッシュ先別）に表示されます。最後に開始されたセッションから順に一覧表示されます。
- 表示される状態は実行中またはエラーのいずれかとなります。エラーのハイパーリンクをクリックすると、その問題と考えられる原因が表示されます。
- 実行中のアクティビティを確認できる調査アイコンがあります。セッションの状態がエラーの場合は、ごみ箱アイコンが表示され、エラー原因のトラブルシューティング後にそのセッションを削除することができます。これらのアイコンは、現在のサイトに設定されているパブリッシュ先に対してのみ表示されます。その他のパブリッシュ先では、パブリッシュセッションの状態が実行中かエラーであるかは表示できますが、セッションの内容を調べたり、エラーが発生しているセッションを削除することはできません。

スケジュール設定されたパブリッシュアクティビティの表示

スケジュール設定されたパブリッシュアクティビティを確認するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [パブリッシュ] をクリックして、パブリッシュコンソールを開きます。
3. 次に示す [スケジュール設定されているパブリッシュタスク] までスクロールします。

スケジュール設定されているパブリッシュタスク

宛先	パブリッシュ日時	スケジュールを設定したユーザー
MyMirrorTarget	8,12,16:0:0 1,3,5/*/*	Bobo
MyExportTarget	0:0:0 */*/1	Bobo

スケジュール設定されたパブリッシュについては、以下の点にも留意してください。

- 管理者はパブリッシュを、パブリッシュ先ごとに時間指定されたイベントとして設定します。

- 時間フォーマットは、hh:mm:ss W/DD/MM です。

hh (時間) = 0 ~ 23

mm (分) = 0, 15, 30 または 45

ss (秒) = 0

W (曜日) = 0 (日) ~ 6 (土)

DD (日) = 1 ~ 31

MM (月) = 1 ~ 12

上の例では、MyExportTarget に対するパブリッシュは、毎日午前 0 時にスケジュール設定されています。MyMirrorTarget に対しては、毎週月、水、金曜日の午前 8 時、正午、午後 4 時にパブリッシュがスケジュール設定されています。

あらゆるサイトのすべてのパブリッシュ先に対してスケジュール情報が用意されています。

パブリッシュ履歴の表示

パブリッシュ履歴を確認するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [パブリッシュ] をクリックして、パブリッシュコンソールを開きます。
3. 次に示す [パブリッシュ履歴] までスクロールします。

パブリッシュ履歴

宛先	パブリッシュ終了時刻	ステータス	パブリッシュしたユーザー
  MyMirrorTarget	2002/12/30 8:00:14	失敗	Bobo
  MyMirrorTarget	2002/12/27 16:00:20	失敗	Bobo
  MyExportTarget	2002/12/27 15:59:57	完了	Bobo

パブリッシュ履歴については、以下の点にも留意してください。

- このリストには、完了したパブリッシュセッションが最大 20 件表示されます。最後に完了したセッションから順に一覧表示されます。
- 表示される状態は、完了（成功）または失敗（セッション実行時にエラーが発生してトラップ）のいずれかです。
- 以下に示されているように、確認できる調査アイコンがあります。セッションレコードを削除するためのごみ箱アイコンもあります。セッションレコードは、削除する前にアーカイブすることができます。これらのアイコンは、現在のサイトに設定されているパブリッシュ先に対してのみ表示されます。その他のパブリッシュ先では、セッションが完了したかどうかは表示できませんが、セッションの結果を調べたり、セッションレコードを削除することはできません。

パブリッシュセッション: 1040967749125

宛先: MyExportTarget(Export to Diskを使用)

引数:

パブリッシュしたユーザー: Bobo

パブリッシュ日: 2002/12/27 15:59:57

エクスポートされた参照:

アセット名 タイプ Template 他の引数

 [HelloPage](#) Page HelloAssetWorld/Page/HelloPageTemplate

Successful completion

[パブリッシュコンソールに移動](#)

目のアイコンをクリックすると、パブリッシュ済みのアセットをプレビューできます。アセット名のリンクをクリックすると、[調査] フォームにパブリッシュ済みのアセットが表示されます。

第 6 章

ワークフロー

多くの場合、Web サイトは複数の人が作成に関わっています。コンテンツの構成、コンテンツの編集および確認作業、コンテンツの配置、ページを更新する時期の決定は、それぞれの担当者から担当者へと移行していきます。このように、コンテンツが一定のパターンで人から人へと移行するプロセスをワークフローと呼びます。

この章では、ワークフローの概念についての簡単な概要とワークフローに関連する特定のタスクを実行する手順について説明します。この章は、以下の節から構成されています。

- [概要](#)
- [サンプルワークフロー](#)
- [ワークフロータスク](#)
- [ワークフローグループ](#)
- [ワークフローレポート](#)

概要

ここでは、ワークフローの基本概念と用語について説明します。

ワークフローとアセット

アセットはワークフローに割り当てることができます（必ずしも割り当てる必要はありません）。ワークフロープロセスは、特定のアセットまたは特定のタイプのアセットすべてに適用できます。アセットをグループ化して、同じワークフローを同時に通過させるようにすることもできます。

アセットを自動的にワークフローに割り当てるか、手動で割り当てるかは、サイトの設定内容に応じて異なります。Content Server では、ワークフローシステムを利用して、ユーザーに対するアセットのアサイメントを管理、トラッキングしたり、許可を通してユーザーが処理できる作業内容を指定することができます。ワークフロー管理者は、アセットタイプごとに必要な数のワークフロープロセスを定義できます。

ステップと状態

ワークフロープロセスで、一連のステップが定義されます。それぞれのステップで、アセットが開始状態から完了状態へと移行します。ワークフロー管理者は、ワークフロープロセスの作成時に、各ステップを定義して適切な開始状態と完了状態を割り当てます。ステップにはそれぞれ名前が付きます。たとえば、「Send for Review」もステップの1つです。アセットは、複数のステップを経由して、ある状態から別の状態に移行することもあります。たとえば、承認準備が完了したアセットは、事実的な誤り（Reject for Error）やスタイル上の問題（Reject for Style）が原因で拒否される場合があります。

アセットはロール別にユーザーに割り当てられます。アセットがプロセスを通過するときに、各ステップでは、アセットが1つ以上のロールに属するユーザーに割り当てられます。各ステップには、アセットを解放（ステップを完了）して、ワークフロー内を移動させることができる許可を持つロールが少なくとも1つあります。ロールに属するユーザーは、次に進むステップを選択することができます。たとえば、承認担当者の場合、承認を要求するアセットを拒否することも承認することもできます。Content Server の標準インターフェイスにログインすると、自分に割り当てられているすべてのアセットが表示されます。アセットの処理が完了したら、そのアセットに対する処理が完了したことを示します。ワークフロープロセスの状態が変化して、次のアサイメントが決定されます。

ステップには条件を設定することもできます。つまり、条件が満たされるまでは、特定のユーザーまたはすべてのユーザーがステップを処理できなくなります。

ロール、ユーザー、参加者

ワークフロープロセスでは、機能を実行するための許可はロールに対して与えられます（ユーザーに対してではない）。許可が使用できるのは、アセットにワークフローが割り当てられている場合のみです。許可は、ユーザーのロールだけで

なく、アセットの状態やアセットがユーザーに割り当てられているかどうかによっても異なります。

注

ワークフローでは、許可と機能権限は同義語として使用できます。この章で説明する「許可」は、「アクセスの許可」のことではありません。

特に指定しない限り、アセットは任意のロールに属するすべてのユーザーに割り当てられます。アセットは、該当するロールを持つすべてのユーザーのアサイメントリストに表示されますが、参加者を選択すると、特定のアセットを処理することができるユーザーを限定できます。参加者は、アセットにワークフローが割り当てられるときに設定されます。また、アセットの処理中に参加者を追加することもできます。

参加者を設定する場合は、各ロールに対して1人以上のユーザーを選択します。選択された参加者のアサイメントリストにのみアセットが表示されますので、その参加者がアサイメントを完了しない限り、ワークフロープロセスのアセットの状態は変更されません。

ワークフローのアサイメント

一般的なワークフローの設計では、ワークフローが割り当てられると、電子メールで通知されます。Content Server の標準インターフェイスにログインすると、[マイワーク] に自分のアサイメントが表示されます。アイコンバーの [マイアサイメントの表示] をクリックすると、オンラインセッション中にいつでも最新情報に更新されたリストを表示できます。

アサイメント期間

各ワークフローの状態には、アサイメントの完了推定時間が設定されています。アサイメントの各担当者は、次のアサイメントのデフォルトの推定時間を上書きすることもできます。ただし、ワークフロー管理者がこの機能を無効にしている場合は、変更できません。完了推定時間は、アサイメントリストの [期限] 列に表示されます。完了推定時間に関連させて時間設定したイベントのようにトリガーされる、電子メール通知によるアサイメントアクションを関連付けることもできます。以下に例を示します。

- アサイメント期限日の1日前に、ユーザーに催促通知が届きます。
- ユーザーとワークフローの開始者の元に、アサイメント期限日当日に警告が届きます。
- 期限日の翌日に、開始者にアサイメントが完了されていないことを知らせる通知が届きます。

アサイメントの投票

ワークフローに参加しているユーザーには承認権があり、アサイメントを完了することによって承認を記録します。承認する方法は、ワークフロープロセスで割り当てられたロールによって異なります。たとえば、承認者の場合、アセットを承認または拒否することでワークフローのアサイメントを完了します。

何らかの理由でアサイメントを完了できない場合は、承認作業をキャンセルできます。アサイメントはそのまま残りますが、アセットはワークフローの先に進むことができます。その承認がこのロールおよびステップの最後の（または唯一の）承認である場合は、承認作業をキャンセルすることはできません。アサイメントはまだ残っているため、キャンセルを取り消して承認することができます。つまり、アセットがまだ次の状態に移行していなければ、アサイメントを完了できます。

アサイメントの委任

アサイメントを処理する別の方法として、同じロールの別のユーザーにアサイメントを委任する方法があります。ただし、委任先のユーザーに、自分と同じロールで委任しようとしているアセットがすでに割り当てられている場合は委任できません。

アサイメントを委任できるかどうかは、ワークフローの許可によって制御されます。管理者は常にアサイメントを委任できます。

アサイメントの委任には、電子メールによる通知をトリガーする委任アクションを関連付けることができます。以下に例を示します。

- 新しいアサイメントの受領者に通知する。
- ワークフロー管理者にアサイメントの委任を通知する。

同意とデッドロック

アセットは、参加者の承認、つまりアサイメントの完了に基づいてある状態から別の状態に移行します。ワークフロー管理者は、ワークフロープロセスを定義するときに、特定のステップの特定のロールに属するすべての参加者が承認する必要があるかどうかを決定します。すべての参加者が承認する必要がない場合（デフォルト）は、アサイメントを最初に終了するユーザーがアセットの通過を指示します。フローが決定されると、そのロールに属する他のすべての参加者に対するアサイメントが取り消されます。

すべての参加者が承認する必要がある場合は、各参加者の完了済みアサイメントは、すべての参加者が承認するまでキューに入れられ、すべての参加者が承認したときに次の状態に移行します。

アセットが次に移行するステップの選択があり、各ステップですべての参加者の承認が必要な場合は、デッドロックが発生する可能性があります。デッドロックは、すべての参加者が承認する必要があり、どのステップを選択するかについての承認結果が一致しない場合に発生します。通常ワークフロープロセスには、すべての参加者に対して電子メールによる通知を生成し、承認集計を示して、いずれかの結果が過半数を超えるようにすべての参加者に再承認を促すデッドロックアクションが含まれています。

ワークフローグループでは、管理者は[ステップをグループ単位で同期]の設定をオンまたはオフに切り替えることによって、アセットをステップ単位で一括して強制的に移行する時期を選択できます。設定をオンにすると、すべてのアセットが次の状態に同時に移行します。したがって、グループ内の各アセットは、すべてのアセットが承認されるまで、承認された順にキューに入れられます。

通常のワークフローと同様、ワークフローグループ内でもデッドロックすることがあります。たとえば、異なる状態につながる異なるステップがすべて承認しなければならないが、合意に達しないとき、これらの異なるステップが同期化され

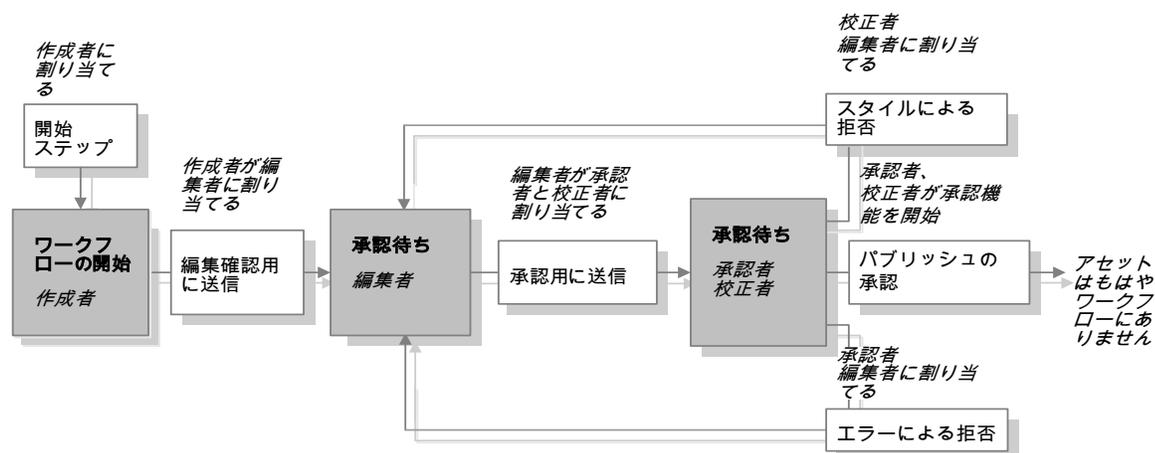
ている場合には、グループデッドロックが発生する可能性があります。管理者は、このような事態を回避するように、慎重に計画する必要があります。

サンプルワークフロー

Burlington Financial サンプルサイトのサンプルワークフロープロセスである Normal Article Process では、アセットの作成からパブリッシュの承認までをフロー形式で説明しています。

このサンプルワークフロープロセスでは、4つのいずれかのロールを持つユーザーが、新しくアセットを作成して、そのアセットを Normal Article Process ワークフローに割り当てます。アセットを割り当てると、ワークフローが開始して、アセットが作成者から編集者、さらに校正者から承認者へと移行します。校正者と承認者は、アセットを承認または拒否することができます。校正者と承認者のいずれかがアセットを拒否すると、アセットは編集者に戻されます。アセットをパブリッシュするには、校正者と承認者の両方が承認に同意する必要があります。

サンプルワークフローは3段階の状態と6つのステップを移行するだけのシンプルなフローですが、ワークフロープロセスの仕組みを理解するには十分です。各ロールには参加者が1人ずつ割り当てられ、ユーザー名はそれぞれのロールを表しています（たとえば、user_author は作成者ロールの参加者）。実際には、各ロールに複数の参加者が割り当てられるような複雑なプロセスが構成される可能性があります。



サンプルワークフローのステップと状態

次の表に、Normal Article Process のステップと状態を示します。

現在の状態	ステップ	説明	次に移行する状態
なし	StartStep (開始ステップ)	4つのいずれかのロール（作成者、編集者、校正者、承認者）を持つユーザーがアートを Normal Article Process ワークフローに割り当てます。	Workflow Initiated (ワークフローの開始)へ
Workflow Initiated (ワークフローの開始)	Send for Review (確認用に送信)	作成者ロールのユーザーに、電子メールによるアサインメント通知が届きます。作成者は、アートを作成または改訂して、アサインメントを完了します。	Ready for Review (レビュー準備完了)へ
Ready for Review (レビュー準備完了)	Send for Approval (承認用に送信)	編集者ロールのユーザーに、電子メールによるアサインメント通知が届きます。 編集者は、アートの改訂を加えて、アサインメントを完了します。	Ready for Approval (承認準備完了)へ

現在の状態	ステップ	説明	次に移行する状態
Ready for Approval (承認準備完了)	Reject for Error (エラーによる拒否)	承認者ロールのユーザーに、電子メールによるアサイメント通知が届きます。 承認者は、事実上誤りがあるため、記事を拒否して、アサイメントを完了します。記事の拒否によって編集者への通知がトリガーされます。編集者は記事を訂正し、承認を受けるために再送信する必要があります。	Ready for Review (レビュー準備完了)へ
	Reject for Style (スタイルによる拒否)	校正者ロールのユーザーに、電子メールによるアサイメント通知が届きます。 校正者は、スタイルの問題があるため、記事を拒否して、アサイメントを完了します。記事の拒否によって編集者への通知がトリガーされます。編集者は記事を訂正し、承認を受けるために再送信する必要があります。	Ready for Review (確認準備完了)へ
	Approve for Publishing (パブリッシュの承認)	承認者と校正者の両方が、記事を承認して、それぞれのアサイメントを完了します。 記事の状態が更新され、選択されたパブリッシュ先に対するパブリッシュが承認されます。記事はワークフローから削除されます。	なし

サンプルワークフローのシナリオ

ここでは、サンプルワークフローの Normal Article Process を使用して、一般的な記事のフローについて説明します。

1. ユーザーが記事アセットを作成してワークフローに割り当てる

適切な許可を持つユーザーが記事アセットを作成し、そのアセットをワークフローに割り当てると、プロセスが開始します。

2. 作成者が記事を作成して確認用に送信する

作成者の Ada に、電子メールによるアサイメント通知が届きます。記事の状態が、ワークフローの最初の状態である「Workflow Initiated (ワークフロー開始)」になります。Ada は、記事の作成、記事アセットの保存を行った後、[マイアサイメントの完了] 機能を使用して記事を確認用に送信します。

ワークフロープロセスのアーティクルの状態が「Ready for Review (確認準備完了)」になります。アーティクルは編集者の Edie に割り当てられ、編集者に新しいアサイメントに関する電子メールの通知が届きます。

3. 編集者がアーティクルを編集して承認用に送信する

編集者の Edie はログインして、自分のアサイメントリストからアーティクルを選択します。Edie はアーティクルを読んで、句読点を数箇所修正します。編集作業が終了したら、加えた変更を保存してから、[マイアサイメントの終了] 機能を使用してアーティクルを承認用に送信します。

ワークフロープロセスのアーティクルの状態が「Ready for Approval (承認準備完了)」になります。アーティクルは承認者の Alan と校正者の Charlie に割り当てられ、この2人に新しいアサイメントに関する電子メールの通知が届きます。

4. 校正者と承認者がアーティクルを承認する

- 承認者がアーティクルを承認する

承認者の Alan はすでにログインしていたため、電子メール受信後、[マイアサイメントの表示] 機能を使用して自分のアサイメントリストを表示します。Alan は、新しく割り当てられたアーティクルを選択して内容を調べます。問題がないようなので、[マイアサイメントの終了] 機能を使用します。Alan はアーティクルを承認することも拒否することもできるため、ワークフロープロセスでは両方のオプションが表示されます。ただし、Alan がアーティクルを承認しても、校正者の Charlie が承認するまで、アーティクルの状態は変わりません。

- 校正者がアーティクルを承認する

校正者の Charlie は、アーティクルを調べて承認します。

Charlie または Alan のどちらかがアーティクルを拒否した場合、アーティクルは編集者の Edie に戻されます。ここでは、Charlie と Alan が両方とも承認したため、アーティクルは自動的にパブリッシュを承認され、ワークフローから削除されます。

注

Normal Article Process ワークフローでは、承認者または校正者のどちらかがアーティクルを拒否すると、他のユーザーへのアサイメントが取り消され、アーティクルは編集者に戻されます。実際に設定されているワークフローでも、このような不一致が原因でデッドロックが発生する可能性があります。デッドロックは、アセットを前の状態に戻したり、次の状態に移行する前に解決しておく必要があります。

ワークフロータスク

ここでは、Content Server の標準インターフェイスで実行される一般的なワークフローに関連したタスクについて説明します。

アセットの状態の表示

この章の後半で説明されている手順の多くは、アセットを [ステータス] フォームで開いて、アセットの状態を表示するように指示されます。アセットの状態を表示する方法はここで触れますので、各手順では説明を省略しています。

- 下の図に示されているように、アサイメント項目にある [ワークフロー状態] 列のハイパーリンクをクリックして、アサイメントリストからアセットの状態を表示する方法。

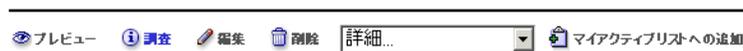
マイアサイメント

タイプ	名前	説明	ワークフローの状態	期限	プロセス期限
Article	deadlock	Deadlock Crisis Looms	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003	-

- 下の図に示されているように、アセット項目にある [ステータス] 列のハイパーリンクをクリックして、アセットリストからアセットの状態を表示する方法。

名前	見出し	ステータス	変更済み
    deadlock	Deadlock Crisis Looms	作成済み	2002/12/30 <input type="checkbox"/>

- アクションバーのドロップダウンリストにある [ステータス] を選択して、[調査] フォームからアセットの状態を表示する方法。



- フォームの本文にある [ステータス] のハイパーリンクをクリックして、[調査] フォームまたは [編集] フォームからアセットの状態を表示する方法。

ステータス: [作成済み](#)

- ツリー内のアセットを選択してマウスを右クリックすると表示されるポップアップメニューから、[ステータス] を選択してアセットの状態を表示する方法。

アセットに対するワークフローオプションの設定

適切な許可があり、アセットタイプに対して定義されたワークフロープロセスが存在する場合は、作成するアセットまたは既存のアセットにワークフローを割り当てることができます。

ワークフローをアセットに割り当てるには

- Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索または作成します。
- [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
- [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [ワークフローの選択] を選択します。以下のような [ワークフローの選択] フォームが表示されます。

Article のワークフローの選択: About Burlington Financial

Article 名前:	About Burlington Financial
説明:	About Burlington Financial
*ワークフロープロセス:	--ワークフロープロセスの選択--
依頼内容:	<div style="border: 1px solid gray; height: 80px;"></div>

4. [ワークフローの選択] フォームで、[ワークフロープロセスの選択] ドロップダウンリストからワークフローを選択します。ワークフローを選択すると、フォームにワークフローオプションが表示されます。

Article のワークフローの選択: About Burlington Financial

Article 名前:	About Burlington Financial
説明:	About Burlington Financial
*ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process <input type="button" value="参加者の設定..."/>
依頼内容:	至急お願いします。
<input checked="" type="radio"/> デフォルトを使用 <input type="radio"/> 期限 <input type="text"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="v"/> (e.g. 14:00 Mar 17 2002)	

5. オプション「参加者の設定 ...」をクリックして参加者の設定フォームを開き、各ロールから少なくとも 1 人のユーザーを選択します。参加者を設定しない場合は、アセットがワークフロープロセスを移行するに従って、各ロールのすべてのユーザーがアサイメントを受け取ることになります。
6. (オプション) [依頼内容] テキストボックスに指示を入力します。これらの指示は、アサイメントを受け取るユーザー用です。
7. (オプション) 指定の書式を使用して、次のアサイメントの完了期限となる [アサイメント期限] の日付を設定します。特定の日付を入力しない場合、アサイメントの期限は次の状態で設定された時間までとなります。この時間は、[期限] をクリックするとデフォルトで表示されます。

この機能は、ワークフロー管理者が有効にしている場合のみ表示され、ユーザーにワークフロープロセスの管理者ロールが割り当てられている場合または適切な許可が与えられている場合のみ使用できます。詳しくは、[123 ページの「アサイメント期限を設定する」](#)を参照してください。

8. (オプション) 指定の書式を使用して、割り当てられたアセットのワークフロープロセス完了期限となる【プロセス期限】の日付を設定します。

この機能は、ワークフロー管理者が有効にしている場合のみ表示され、ユーザーにワークフロープロセスの管理者ロールが割り当てられている場合または適切な権限が与えられている場合のみ使用できます。詳しくは、[121 ページの「プロセス期限の設定」](#)を参照してください。

9. フォームの入力が完了したら、【ワークフローの選択】 ボタンをクリックします。

この時点で、アセットに対するワークフローが開始されます。通常、次のステップに関連付けられたロールの参加者に電子メールによるアサイメント通知が届きます。フォームの上部に、以下のような情報が表示され、このアクティビティを確認するための【ステータス】 フォームが再表示されます。

```
This step action element will send an email
割り当てたユーザー名: admin
オブジェクト: Asset: Article "deadlock"
依頼内容: Fast track this one.
割り当てられた名前: user_author
割り当てられたロール: Author
電子メールアドレス: なし
```

 このArticleのワークフロー定義は次のように設定されています: BF: Normal Article Process

ワークフロー期限の設定

ワークフローでは、以下の2種類の期限設定を設けることができます。

- **プロセス期限**: アセットが1つのワークフロープロセスを通過するために割り当てられた全体的な時間。デフォルトのプロセス期限はありません。
- **アサイメント期限**: アセットがワークフローを進行する際に、1つ1つのアサイメントを完了するために割り当てられた時間。デフォルトのアサイメント期限は、ワークフロー管理者がワークフローの状態を作成するときに設定します。

各期限には相互の関係はありませんので、1つ1つのアサイメント期限の合計とプロセス期限が一致しないこともあります。これらの期限はあくまで情報として提供されるもので、期限を超過してもペナルティが与えられたり、エラーメッセージが発行されたりすることはありません。

プロセス期限の設定

プロセス期限を設定する前に、ワークフロー管理者は以下の設定をする必要があります。

- このワークフロープロセスに対してプロセス期限を設定できるようにする。
- 自分にワークフロープロセスの管理者ロールを割り当てるか、適切な権限を与える。

両方の条件が満たされていない場合、このオプションは使用できません。

プロセス期限を設定するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索または作成します。
2. 【ステータス】 フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。

3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [プロセス期限の設定] を選択します。[プロセス期限の設定] フォームが表示されます。

Process期限の設定

ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process
アセットタイプ:	Article
アセット名:	deadlock
現在のProcess期限:	設定されていません
Process期限の設定:	<input type="radio"/> なし
	<input checked="" type="radio"/> 期限 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	(e.g. 14:00 Mar 17 2002)

4. 指定の書式で日付を入力します。プロセス期限を設定する場合は、ワークフロープロセスにおけるアセットの位置や、残りのステップの累積時間を考慮する必要があります。デフォルトのプロセス期限はありません。
5. [保存] をクリックして、操作を完了します。[ステータス] フォームが再表示されます。

プロセス期限の設定は、以下のタスクを実行するとき使用するフォームからも指定できます（ただし、前述の2つの条件が満たされている場合のみ）。

- ワークフロー内にアセットを配置する
- ワークフローグループを作成する
- ワークフローグループを編集する
- ワークフローグループにアセットを追加する

アサイメント期限を設定する

アサイメント期限を設定する前に、ワークフロー管理者は以下の設定をする必要があります。

- このワークフローの状態に対してアサイメント期限を設定できるようにする。
- 自分にワークフロープロセスの管理者ロールを割り当てるか、適切な権限を与える。

両方の条件が満たされていない場合、このオプションは使用できません。

アサイメント期限を設定するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索または作成します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックし、ドロップダウンリストから [アサイメント期限の設定] を選択します。[アサイメント期限の設定] フォームが表示されます。

Assignment期限の設定

ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process
アセットタイプ:	Article
アセット名:	deadlock
状態:	BF: Workflow Initiated
現在の Assignment 期限:	2003-12-30 11:4:00
Assignment 期限の設定:	<input type="radio"/> デフォルトを使用
	<input checked="" type="radio"/> 期限 <input type="text" value="9.00"/> <input type="text" value="10月"/> <input type="text" value="28"/> <input type="text" value="2003"/>
	(e.g. 14:00 Mar 17 2002)

4. 指定の書式で日付を入力します。デフォルトのアサイメント期限は、ワークフローの状態定義から設定されます。Normal Article Process の場合、各状態の期間は現在の日付と時刻から 1 年となっています。
5. [保存] をクリックして、操作を完了します。[ステータス] フォームが再表示されます。

アサイメント期限の設定は、以下のタスクを実行するとき使用するフォームからも指定できます（ただし、前述の2つの条件が満たされている場合のみ）。

- ワークフロー内にアセットを配置する

- アサイメントを終了する
- ワークフローグループにアセットを追加する

アサイメントリストの更新

サイトへの初回ログイン時は、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にデフォルトで表示される [マイワーク] に自分のアサイメントが一覧表示されます。

ログイン中にこのアサイメントリストを更新するには、次のいずれかを実行します。

- ボタンバーの [マイワーク] をクリックして、初回ログイン時の表示を更新する方法。
- アイコンバーの [マイアサイメントの表示] アイコンをクリックして、自分に割り当てられたワークフローアサイメントのみを表示する方法（以下参照）。

マイアサイメント

タイプ	名前	説明	ワークフローの状態	期限	プロセス期限
Article	deadlock	Deadlock Crisis Looms	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003	-
Article	weather	Storm Paralyzes Northeast	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003	-
Article	heroes	Thousands Line Parade Route	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003	-
Article	union	Strike Feared As Talks End	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003	-

待機中の完了アサイメント
何も見つかりませんでした。

各アサイメントにそれぞれ [期限] が設定されています。[期限] 列の各値はアサイメントの状態を示す色および記号で表示されます。

色 / 記号	アサイメントの状態
黒	指定された期限
赤	24 時間以内に期限
赤の太字プラス (+) 記号	期限から超過した時間

最後の2つのイベント（期限が迫っているイベントと期限を超過したイベント）では、ワークフロープロセスで時間指定されたイベントが設定されている場合、ワークフローの他の参加者に電子メールが送信されます。プロセス期限が表示されていない場合は、期限が設定されていません。

[待機中の完了アサイメント] の下に表示されるアセットは、承認済みでキューに入れられ、ロールのすべての参加者による承認を待機しているアセットが表示されます。

アサイメントの完了

アサイメントに対する作業が完了したら、アセットがワークフロープロセスの次の状態に移行できるように、作業が完了したことをシステムに通知する必要があります。次の手順に従って、アサイメントを完了してください。

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。

2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [マイアサイメントの終了] を選択します。 [マイアサイメントの終了] フォームが、次に進む可能性のあるステップと状態とともに表示されます。

Article名前:	deadlock
説明:	Deadlock Crisis Looms
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process - BF:Ready for Approval
割り当てられたユーザーロール:	Approver
*ステップ→状態を選択:	<input checked="" type="radio"/> BF:Reject for Error -> BF:Ready for Review <input type="radio"/> BF:Approve -> (NULL状態)
実行者コメント:	I found some factual errors that need to be addressed.
依頼内容:	Please research, correct and resubmit.

- a. アセットの次のステップと状態を選択します。
- b. (オプション) [実行者コメント] フィールドには、アセットに対して実行した作業の短い説明を入力します。
- c. (オプション) [実行者コメント] フィールドには、次の担当者に対する簡潔な提案を入力します。
- d. (オプション) 次のアサイメントに割り当てられた時間を上書きするには、[アサイメント期限] 領域を使用して指定の書式で日付を入力します。特定の日付を入力しない場合、アサイメントの期限は次の状態で設定された時間までとなります。この時間は、[期限] をクリックするとデフォルトで表示されます。

この機能は、ワークフロー管理者が有効にしている場合のみ表示され、ユーザーにワークフロープロセスの管理者ロールが割り当てられている場合または適切な権限が与えられている場合のみ使用できます。詳しくは、[123 ページの「アサイメント期限を設定する」](#)を参照してください。

4. [マイアサイメントの終了] をクリックします。

[状態] フォームが更新され、変更が反映されます。実行されたアクションは、[ワークフロー履歴] の概要に表示されます。実行予定のアクションは、[ワークフロー状態] の概要に表示されます。

アサイメントを完了した後の処理は、そのステップに対するワークフロープロセスの定義によって異なります。5つの処理が考えられます。

- ワークフローの状態が変化しても、アサイメントをそのまま保持します。これにより、移行前の状態のアセットに対して引き続き作業ができます。アサ

イメントをそのまま保持して場合の利点について不明な場合は、管理者に問い合わせてください。

- ワークフローの状態が変化しても、アセットは誰にも割り当てられません。アセットに対して次に実行される処理は、機能権限によって管理されます。これは、管理者がワークフロー内にアセットを確保するためのメカニズムです。
- アセットは、ワークフロープロセス定義（管理者が設定したもの）に従って、選択されたロールを持つすべてのユーザーに割り当てられます。
- アセットは、ワークフロープロセス定義に従って、選択されたロールを持つ参加者に割り当てられます。これが、アセットがワークフローを移動する際の一般的なメカニズムとなります。
- 自分がアサイメントを割り当てるユーザー（ワークフロープロセスの次のステップを完了する担当者）を選択します。この方法には、アサイメントを割り当てるユーザーをリアルタイムで決定できるという柔軟性があります。この場合、[マイアサイメントの終了] をクリックすると、以下のようなフォームが表示されます。

ワークフロープロセス:	HelloArticleProcess				
割り当てられたユーザー:	<table border="1"><thead><tr><th>ロール</th><th>ユーザー</th></tr></thead><tbody><tr><td>*HelloAuthor:</td><td>Joe Moe admin</td></tr></tbody></table>	ロール	ユーザー	*HelloAuthor:	Joe Moe admin
ロール	ユーザー				
*HelloAuthor:	Joe Moe admin				

アサイメントを割り当てる各ロールのユーザーを選択して、[ユーザーの割り当て] をクリックします。アサイメント完了の結果を示すフォームが再表示されます。

アサイメントの委任

アサイメントリストを確認しているときに、完了できない特定のアサイメントが出てくる場合があります。たとえば、予定している休暇と期限日が重なっている場合などもこの例に当てはまります。このような場合は、同じロールを持つ別のユーザーにアサイメントを委任することができます。ただし、すでにこのユーザーにこのロールでアセットが割り当てられていないことが条件です。委任するユーザーは、参加者リストに含まれている必要はありません。また、別のロールでアセットが割り当てられていてもかまいません。

アサイメントを委任するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。

3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [アサイメントの委任] を選択します。

[アサイメントの委任] フォームが表示されます。

Articleのアサイメントの委任: deadlock

Article名前:	deadlock
説明:	Deadlock Crisis Looms
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process - BF:Ready for Approval
割り当てられたユーザーロール:	Checker
*委任先:	<input type="text" value="AardwolfUser"/> <input type="text" value="admin"/> <input type="text" value="editor"/> <input type="text" value="user_french"/>
実行者コメント:	<input type="text" value="I'll be on vacation. Can you pick this one up?"/>

4. アサイメントを委任するユーザーを選択します。必要に応じて、アクションに関するコメントを入力します。
5. [委任] をクリックします。

委任の確認メッセージが [ステータス] フォームの上部に表示され、フォームの [ワークフロー状態] と [ワークフロー履歴] の表示が入力に応じて更新されます。この操作を行うと、新しい参加者に電子メールを送信する設定がトリガーされます (そのようにサイトが設定されている場合のみ)。

投票権の棄権キャンセル

割り当てられたアサイメントの中に、処理できないものが入ってくることがあります。現在抱えているワークロードが多すぎたり、ロールに適任ではなかったりする場合などもこの例に当てはまります。このような場合には、承認作業をキャンセルする、つまり参加を放棄することができます。

アサイメントに対する承認作業をキャンセルする手順

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [承認作業の辞退] を選択します。

[承認作業の辞退] フォームが表示されます。

Article: deadlockの承認作業の辞退

Article名:	deadlock								
説明:	Deadlock Crisis Looms								
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process - BF:Ready for Approval								
現在の割り当て先:	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ロール</th> <th>ユーザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Checker</td> <td>user_checker</td> </tr> <tr> <td>Approver</td> <td>user_approver</td> </tr> <tr> <td>Checker</td> <td>user_verifier</td> </tr> </tbody> </table>	ロール	ユーザー	Checker	user_checker	Approver	user_approver	Checker	user_verifier
ロール	ユーザー								
Checker	user_checker								
Approver	user_approver								
Checker	user_verifier								
割り当てられたユーザーロール:	Checker								
実行者コメント:	I'm going to defer to the expert on this one.								

4. アクションに関する簡単な説明を入力して、[承認作業の辞退] をクリックします。

キャンセルの確認メッセージが [ステータス] フォームの上部に表示され、フォームの [ワークフロー状態] と [ワークフロー履歴] の表示が入力に応じて更新されます。キャンセルしても、アサイメントはアサイメントリストから削除されません。

5. このロールの唯一の参加者（または、最後の参加者）である場合は、承認をキャンセルできず、次のメッセージが表示されます。

 承認作業を辞退できません。他に割り当てられているユーザーはいません。

他の方法で、このアサイメントを処理する必要があります。

承認のデッドロックの解決

アセットが次の状態に移行するステップの選択があり、各ステップですべての参加者の承認が必要な場合は、デッドロックが発生する可能性があります。デッドロックは、各ステップで承認結果が一致しない場合に発生します。

デッドロックを解決するには、一部の参加者が承認を変更して、全員の承認結果を一致させる必要があります。承認結果の不一致がデッドロックの原因になっていることを電子メールで通知された場合は、再度承認してデッドロックを解消する必要があります。

アサイメントを再度承認するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。

3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [マイアサイメントの終了] を選択します。以下のフォームが表示されます。このフォームを使用して承認を変更し、デッドロックを解決できます。

マイアサイメント (Article: deadlock) の終了

Article名前:	deadlock
説明:	Deadlock Crisis Looms
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process - BF:Ready for Approval
割り当てられたユーザーロール:	Approver
*ステップ→状態を選択:	<input checked="" type="radio"/> BF:Reject for Error -> BF:Ready for Review <input type="radio"/> BF:Approve -> (NULL状態)
実行者コメント:	<input type="text" value="After conferring with my colleague, I'm changing my vote."/>
依頼内容:	<input type="text" value="Let's clear up these grey areas."/>

キャンセル **マイアサイメントの終了**

4. 必要に応じてフォームに入力し、[マイアサイメントの終了] をクリックしてデッドロックを解決します。

ヒント

承認をキャンセルに変更してデッドロックを解決できる場合があります。これで、アセットは次の状態に移行できます（[128 ページの「投票権の棄権キャンセル」](#)を参照してください）。

多くの場合、デッドロックを解決するには、参加者が相互に情報交換したり、話し合う必要があります。

すべてのメンバーが全項目に同意しなければならない場合を除いて、グループデッドロックも同じ方法で解決します。ワークフロー管理者が [ステップをグループ単位で同期] 機能を適切に使用している場合、グループデッドロックは発生しません。

ワークフローからのアセットの削除

アセットをワークフローから削除するには、適切な許可が必要です。

アセットをワークフローから削除するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [ワークフローからの削除] を選択します。以下のフォームが表示されます。

Article: deadlockのワークフローからの消去

Article名前:	deadlock				
説明:	Deadlock Crisis Looms				
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process - BF:Ready for Review				
現在の割り当て先:	<table border="1"> <tr> <th>ロール</th> <th>ユーザー</th> </tr> <tr> <td>Editor</td> <td>user_editor</td> </tr> </table>	ロール	ユーザー	Editor	user_editor
ロール	ユーザー				
Editor	user_editor				

4. [ワークフローからの削除] をクリックします。

削除の確認メッセージが [ステータス] フォームの上部に表示され、フォームの [ワークフロー履歴] の表示が入力に応じて更新されます (タスクの状態は取り消されます)。

アセットの参加者リストの確認

アセットの参加者リストを調べるには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [参加者の表示] を選択します。

[参加者の表示] フォームが表示されます。

参加者の表示 Article: deadlock

ステップ	認可ユーザー	通知ユーザー
BF:Send for Edit Review	user_author	user_editor
BF:StartStep	user_approver, user_checker, user_author, user_editor, user_verifier	user_author
BF:Approve	user_approver, user_checker, user_verifier	No Users.
BF:Reject for Style	user_checker, user_verifier	user_editor
BF:Reject for Error	user_approver	user_editor
BF:Send for Approval	user_editor	user_approver, user_checker, user_verifier

フォームには、ワークフロープロセスの各ステップに対して許可を持つユーザー (アセットを解放、ステップを完了できるユーザー) と、通知を受けるユーザー (次にアセットが割り当てられるユーザー) が一覧表示されます。

ワークフロー参加者の設定

ワークフロー内の既存のアセットに対して参加者を設定できます。たとえば、ワークフローの参加者を確認しているときに、特定のロールを持つ参加者として含まれるべきユーザーが一覧表示されていないことが判明した場合などにこの設定を使用します。

ワークフローの参加者を設定するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [参加者の設定] を選択します。
4. 参加者としてリストに入れるユーザーを選択し、[参加者の設定] をクリックします。

アセットの参加者リストが更新され、変更が反映されます。

注

参加者リストは入力に応じて更新されますが、追加されたユーザーは、ロールに割り当てられたステップにまだ到達していない場合のみ、アサイメントを取得します。

アセットのワークフロー進行状態の確認

アセットのワークフロー進行状態を調べるには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開き、アセットの現在の状態とワークフローの履歴を表示します。

ワークフロー状態:

割り当てられたユーザー	割り当てたユーザー	割り当て日時	依頼内容	選択されたステップ	タスクの状態
user_checker(Checker)	user_editor	2002-12-30 11:49:03	Pay close attenti...	▲ BF:Reject for Style	queued
user_approver(Approver)	user_editor	2002-12-30 11:49:03	Pay close attenti...	▲ BF:Reject for Error	abstain
xceladmin(Checker)	user_verifier	2002-12-30 11:49:03	Pay close attenti...	▲ BF:Approve	queued

ワークフロー履歴:

割り当てられたユーザー	割り当て日時	解決したユーザー	解決日時	実行者コメント	タスクの状態
user_approver(Approver)	2002-12-30 11:25:17	user_checker	2002-12-30 11:38:37	I think this is r...	cancelled
user_editor(Editor)	2002-12-30 11:19:50	user_editor	2002-12-30 11:25:17	I did a quick cop...	completed
user_author(Author)	2002-12-30 11:04:19	user_author	2002-12-30 11:19:49	It s a little rou...	completed

【ワークフローの状態】に、ワークフロープロセス内におけるアセットの現在位置が示されます。【ワークフロー履歴】の各行は、個々のアサイメントを示します。項目は、最後に完了した状態の変更がリストの一番上に表示されています。

以下の表は、[ステータス] フォームの [ワークフロー状態] および [ワークフロー履歴] に表示される項目について説明したものです。

列	定義
[割り当て先]	アセットが割り当てられた担当者のユーザー名。ユーザー名に続いてかっこ内にユーザーのロールが表示されます。
[割り当てたユーザー]	アセットの作業を完了した担当者のユーザー名。アセットがワークフローの初期状態にある場合、ここにはワークフロープロセスをアセットに割り当てた担当者のユーザー名が表示されます。
[割り当て日時]	アセットがユーザーに割り当てられた日時。
[依頼内容]	アセットを割り当てたユーザーからの指示（このユーザーがフォームに指示を入力した場合に表示されますが、入力していない場合は[コメントなし]と表示）。この画面に全文が表示されていない場合は、クリックすると表示されます。
	この警告アイコンは、ワークフローの状態がデッドロック状態にあることを表し、デッドロックの原因を特定します。
[選択されたステップ]	[マイアサイメントの終了] フォームに次に進むステップに複数の選択がある場合に、アサイメントを終了したユーザーによって選択されたステップ。
[実行者コメント]	このユーザーがアセットに対して行った作業に関する情報（フォームに情報が入力された場合に表示され、入力がない場合は[コメントなし]と表示）。この画面に全文が表示されていないときは、クリックすると表示されます。
[解決したユーザー]	アセットを次の状態に移行するアクションを実行したユーザー名。
[解決日時]	アセットを次の状態に移行するアクションが実行された日時。

列	定義
[タスクの状態]	<p>アサイメントの状態。表示される可能性のある値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Abstain：割り当てられたユーザーが承認をキャンセルした状態。 • Active：アセットが現在ユーザーに割り当てられている状態。 • Cancelled：最初の承認によってアセットが次の状態に移行したため、他のユーザーへのアサイメントが取り消された状態。 • Completed：担当者がステップを完了した状態。 • Delegated：同じロールの別のユーザーにアサイメントが委任されている状態。 • Queued：アセットにはステップに対する複数の担当者が存在し、次のステップに移行する前にすべてのユーザーが承認するのを待機している承認しないユーザーがいる状態（アセットがデッドロック状態の場合）。

ワークフローグループ

ワークフローグループを使用すると、一連の定義されたアセットを組織的に管理できます。これにより、ワークフローグループのアセットと一緒にワークフロープロセスを完了できるようになり、パブリッシュの段階に進むことができます。

ここでは、ワークフローグループを作成および管理する方法について説明します。

ワークフローグループの作成

ワークフローグループを作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーのワークフローをクリックして、Content Server 標準インターフェイスの作業領域にワークフロー管理コンソールを表示します。
3. [ワークフローグループを作成] ハイパーリンクをクリックし、[ワークフローグループ] フォームを開きます。赤いアスタリスクは必須フィールドを示します。参加者を設定する前に、これらのフィールドを追加する必要があります。以下の表の説明に従って、フォームに入力してください。

フィールド	定義
グループ名	グループの名前を入力します。
説明	グループの目的または機能に関する簡単な説明を入力します。
ワークフロープロセス	グループ化するアセットに適切なワークフロープロセスを選択します。

フィールド	定義
参加者の設定	<p>グループに対して選択したワークフロープロセスに基づいて参加者を設定するには、このボタンをクリックします。[グループの参加者の設定] フォームが表示されますので、定義された各ロールに対して、1人のユーザーを選択してください。選択が完了したら、[参加者の設定] をクリックして [ワークフローグループへの追加] フォームに戻ります。</p>
プロセス期限	<p>(オプション) 指定の書式を使用して、アセットグループのワークフロープロセス完了期限となる日付を設定します。</p> <p>この機能は、ワークフロー管理者が有効にしている場合のみ表示され、ユーザーにワークフロープロセスの管理者ロールが割り当てられている場合または適切な権限が与えられている場合のみ使用できます。詳しくは、121 ページの「プロセス期限の設定」を参照してください。</p>
アセットの追加 / 削除	<p>グループに対してアセットの追加および削除ができるユーザーを指定します。任意のユーザー、または選択したロールのすべてのユーザーを指定できます。複数のロールを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか (隣接しないロールを選択する場合)、Shift キーを押しながらクリックします (隣接したロールをまとめて選択する場合)。</p>
グループの編集 / 削除	<p>作成したグループを編集したり、グループ全体を削除できるユーザーを指定します。任意のユーザー、または選択したロールのすべてのユーザーを指定できます。複数のロールを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか (隣接しないロールを選択する場合)、Shift キーを押しながらクリックします (隣接したロールをまとめて選択する場合)。</p>
グループデッドロック時のアクション	<p>デッドロック発生時に、グループのメンバーに電子メールによる通知を送信するかどうかを指定します。</p>

4. フォームへの入力が完了したら、[保存] をクリックします。新しいワークフローグループ定義の概要が表示されます。

ワークフローグループ: ApproveAll

④ 調査 編集 削除

名前:	ApproveAll										
説明:	Approve all articles										
ID:	1040967749401										
ワークフロープロセス:	BF: Normal Article Process										
参加者:	<table><thead><tr><th>ロール</th><th>ユーザー</th></tr></thead><tbody><tr><td>Checker:</td><td>user_checker</td></tr><tr><td>Editor:</td><td>user_editor</td></tr><tr><td>Author:</td><td>user_author</td></tr><tr><td>Approver:</td><td>user_approver</td></tr></tbody></table>	ロール	ユーザー	Checker:	user_checker	Editor:	user_editor	Author:	user_author	Approver:	user_approver
	ロール	ユーザー									
	Checker:	user_checker									
	Editor:	user_editor									
Author:	user_author										
Approver:	user_approver										
プロセス期限:	-										
ロール: アセットの追加/消去:	Editor, Author										
ロール: グループの編集/削除:	Designer, GeneralAdmin										
グループデッドロック時のアクション:	SendDeadlockEmail										
グループコンテンツ:	This workflow group is empty.										

グループは、ワークフロー管理コンソールの [ワークフローグループ] の下にも表示されます。

ワークフローグループへの複数アセットの追加

アセットをワークフローグループに追加するには、以下の基準を満たしている必要があります。

- グループ定義で指定されているように、ワークフローグループにアセットを追加するには、適切な許可が必要です。
- グループに対して選択したワークフロープロセスの開始ステップを実行するには、適切な許可が必要です。
- アセットは、グループに割り当てられたワークフロープロセスに適切なものであることが条件です。
- すでにワークフロー内にあるアセットは追加できません。

複数のアセットを既存のワークフローグループに追加するには

1. ワークフローグループに追加するアセットをアクティブリストに追加します。
2. 画面の上部の [ワークフロー] タブをクリックします。ワークフローグループのリストが表示されます。
3. アセットを追加する先のグループの [アイテム] ハイパーリンクをクリックします。 [ワークフローグループ] ページが開きます。
4. [アクティブリスト] タブをクリックして、ワークフローグループに追加するアセットを選択 (ハイライト表示) します。
5. [ワークフローグループ] ページの [グループに追加] ボタンをクリックします。アセットがワークフローグループに追加されたことを確認するページが表示されます。追加できないアセットの横に、グループに追加できない理由を説明したエラーメッセージが表示されます。

ツリーがオフになっているときのワークフローグループへのアセットの追加

グループ定義で指定されているように、アセットの追加には適切な許可が必要です。また、アセットは、グループに割り当てられたワークフロープロセスに適切なものであることが条件です。すでにワークフロー内にあるアセットは追加できません。

アセットをワークフローグループに追加するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [ワークフローグループへの追加] を選択します。

[ワークフローグループへの追加] フォームが表示されます。

ワークフローグループへの Article: voter の追加

Article名:	voter
説明:	Voter Fraud Alleged
*グループへの追加:	Approve BF: Normal Article Process, ワークフローグループが空です
依頼内容:	This needs to go with the rest of the election articles.

- 複数のワークフローグループが存在する場合は、[グループへの追加] 領域を使用して、アセットを追加するグループを選択します。
- (オプション) [依頼内容] テキストボックスに、適切な指示またはコメントを入力します。
- (オプション) 次のアサイメントに割り当てられた時間を上書きするには、[アサイメント期限] 領域を使用して指定の書式で日付を入力します。[期限] をクリックして、割り当てられたデフォルトの時間を表示します。

この機能は、ワークフロー管理者が有効にしている場合のみ表示され、ユーザーにワークフロープロセスの管理者ロールが割り当てられている場合または適切な権限が与えられている場合のみ使用できます。詳しくは、[123 ページの「アサイメント期限を設定する」](#)を参照してください。

- [グループへの追加] をクリックします。

グループへの追加を確認するメッセージが [ステータス] フォームの上部に表示され、[ワークフローグループ] フィールドが [ワークフローコマンド] ドロップダウンフィールドの下に、ワークフローグループへのリンクとともに追加されます。リンクをクリックして、グループのコンテンツを表示します。

ワークフローグループ: ApproveAll

名前: ApproveAll
 説明: Approve all articles
 ID: 1040967749401

グループコンテンツ:

タイプ	名前	割り当てられたユーザー	ワークフローの状態	選択されたステップ	タスクの状態
Article	voter	user_author(Author)	BF:Workflow Initiated	-	active

ワークフローグループからのアセットの削除

グループ定義で指定されているように、アセットの削除には適切な許可が必要です。

アセットをワークフローグループから削除するには

1. Content Server の標準インターフェイスで、アセットを検索して選択します。
2. [ステータス] フォームでアセットを開いて、アセットの状態を表示します。
3. [ワークフローコマンド] フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから [ワークフローグループからの削除] を選択します。
[ワークフローグループからの削除] フォームが表示されます。
4. [グループからの削除] をクリックします。

グループからのアセットの削除を確認するメッセージが [ステータス] フォームの上部に表示され、フォームのワークフローの詳細が更新されます。このアセットはワークフローグループからは削除されますが、グループの一部として割り当てられていたワークフロープロセスには残されます。ただし、アセットをワークフローから削除すると、アセットが割り当てられていたワークフローグループからも削除されます。

ワークフローグループの編集または削除

グループ定義で指定されているように、ワークフローグループの編集または削除には、適切な許可が必要です。グループは空の状態でなければ削除できません。

ワークフローグループを編集または削除するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [ワークフロー] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にワークフロー管理コンソールを表示します。
3. 作業するワークフローグループを検索し、実行するアクションに対応するアイコンをクリックします（適切な許可がない場合やグループにワークフロー内のアセットが含まれている場合、アイコンは淡色表示され、使用できません）。

ワークフローグループ

名前	説明	ワークフロープロセス	個のアイテムを表示
  ApproveAll	Approve all articles	BF: Normal Article Process	1
  Approve	Approve individual assets	BF: Normal Article Process	0

- a. 鉛筆のアイコンを選択すると、グループの追加に使用されるフォームと同じフォームが開き、グループ定義に基づいてあらかじめ選択されたフィールドが表示されます。必要に応じて編集します。現在の選択に追

加して選択する場合は、Ctrlキーを使用します。完了したら、[保存] をクリックして操作を完了します。

- b. ごみ箱アイコンは、ユーザーが削除の実行が確認されると、グループを削除します。グループは空の状態であれば削除できません。

注

参加者を新しいメンバーとして追加する場合、すでにグループ内にあるアセットのアサイメントは割り当てられません。新しいメンバーには、追加された後に新しく追加されるアセットのアサイメントのみが割り当てられます。

ワークフローレポート

ワークフローレポートを使用すると、ワークフローのアセットやユーザーのアサインメントの進捗状況をトラッキングすることができます。ワークフローレポートは、現在のワークフローの状態を判断できる便利なメカニズムです。また、ワークフローレポートを使用すると、複数のアセットタイプにまたがる検索を実行できます。

ここでは、ワークフローレポートを作成および管理する方法について説明します。

ワークフローレポートの作成

ワークフローレポートを作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [ワークフロー] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にワークフロー管理コンソールを表示します。
3. [ワークフローレポートの作成] ハイパーリンクをクリックして、[ワークフローレポートの作成] フォームを開きます。以下の表の説明に従って、フォームに入力してください。

フィールド	定義
アセットタイプ	すべてのアセットタイプまたは特定のアセットタイプについてレポートするかどうかを選択します。複数のアセットを選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickするか（隣接しないアセットを選択する場合）、Shift キーを押しながらかlickします（隣接したアセットをまとめて選択する場合）。
ワークフローの状態	ワークフローのすべての状態または特定の状態のいずれについて報告するかを選択します。複数の状態を選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickするか（隣接しない状態を選択する場合）、Shift キーを押しながらかlickします（隣接した状態をまとめて選択する場合）。ワークフローの状態はワークフロープロセスによって異なります。
割り当てられたユーザー	次のいずれについて報告するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 任意のユーザー • 特定のユーザー • 特定のロールを持つすべてのユーザー 複数のユーザーを選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickするか（隣接しないユーザーを選択する場合）、Shift キーを押しながらかlickします（隣接したユーザーをまとめて選択する場合）。

フィールド	定義
期限	次のいずれの期限日を持つアサイメントについて報告するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 任意の期限日 20分～3日の範囲で選択した時間内にやってくる期限日 20分～3日の範囲で選択した時間だけ超過している期限日
レポートオプション	レポートに表示する項目数を2～300の範囲で指定します。 レポートのソート条件を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 割り当てられたユーザー アセットの状態（ワークフローの状態） アサイメントが作成された日（割り当てられた日）

4. フォームの入力が完了したら、[レポート] をクリックします。[ワークフローレポートの結果] フォームが表示されます。

ワークフローレポートの結果

▶ [新しいワークフローレポートを作成](#)

Report : only assets of type ['Article'] : only assets in state ['BF:Workflow Initiated'] : assigned to ['user_author']
[\(このワークフローレポートを編集\)](#)
[\(このワークフローレポートを保存\)](#)

タイプ	名前	説明	割り当てられたユーザー	ワークフローの状態	期限
Article	heroes	Thousands Line Parade Route	user_author(Author)	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003
Article	union	Strike Feared As Talks End	user_author(Author)	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003
Article	voter	Voter Fraud Alleged	user_author(Author)	BF:Workflow Initiated	Dec 30 2003

このフォームには、検索されたレポート項目のほかに、指定したフィルタ条件も表示されます（指定されている場合）。[このワークフローレポートを編集] ハイパーリンクから [ワークフローレポート] フォームに戻ると、これらの条件を編集できます。

ワークフローレポート条件の保存

レポートを作成するための条件を入力して [レポート] をクリックするときに、レポート条件を保存してその条件を他のユーザーが使用できるようにするオプションを選択できます。レポートを保存しておくことで、実行のたびに条件を再入力する手間が省け、1回のクリックでレポートを実行できます。

レポート条件を保存するには

1. [ワークフローレポートの結果] フォームから [このワークフローレポートを保存] ハイパーリンクをクリックし、[ワークフローレポートの保存] フォームを開きます。

Save Workflow Report:

*名前:

この検索を共有

ロールのユーザーと共有:

作成者: admin

フィルタ文字列: [\(この検索を編集\)](#)

2. 次のように、フォームに入力します。
 - a. レポートの名前を入力します（必須フィールド）。ここで指定した名前は、ワークフロー管理コンソールの「ワークフローレポート」の下にあるレポート項目のハイパーリンクとして表示されます。
 - b. このレポートを他のユーザーと共有する場合は、チェックボックスをオンにして、共有するロールを選択します。複数のロールを選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickするか（隣接しないロールを選択する場合）、Shift キーを押しながらかlickします（隣接したロールをまとめて選択する場合）。
 - c. 条件を確認または編集する場合は、「この検索を編集」をクリックします。レポートを編集すると再度レポートを実行する必要がありますので、結果フォームの「このワークフローレポートを保存」を再度クリックして、保存フォームに戻ります。
3. 「保存」をクリックします。

ワークフローレポートの実行

ワークフローレポートを実行するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの「ワークフロー」をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にワークフロー管理コンソールを表示します。
3. 保存済みレポートのリストから、実行するレポートを検索します。

保存済みワークフローレポート

保存済みワークフローレポートを選択してください

名前	共有
  Imminent Articles	shared

レポート名または目のアイコンをクリックして、レポートを実行します。結果を保存する場合は、作業領域を印刷できます。

保存済みワークフローレポートの編集または削除

ワークフローレポートを編集または削除するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [ワークフロー] をクリックして、Content Server の標準インターフェイスの作業領域にワークフロー管理コンソールを表示します。
3. 保存済みレポートのリストから編集または削除するレポートを選択し、実行するアクションに対応するアイコンをクリックします。
 - レポートを編集するには、鉛筆のアイコンをクリックします。レポートを作成するときと同じフォームが開き、元の基準に基づいてあらかじめ選択されたフィールドが表示されます。必要に応じて編集します。現在の選択に追加して選択する場合は、Ctrl キーを使用します。完了したら、[レポート] をクリックして、もう一度レポートを実行します。次に [このワークフローレポートを保存] をクリックして保存フォームに戻り、[保存] をクリックします。
 - レポートを削除するには、ごみ箱アイコンをクリックし、[このアイテムを削除] をクリックして削除を実行します。

第 7 章

リビジョントラッキング

Content Server のリビジョントラッキング機能は、アセットに加えられた変更をトラッキングしたり、管理するのに便利です。リビジョントラッキングを使用すると、以下のようにアセットを管理できます。

- 1つのアセットを編集または削除できるユーザーを一度に1ユーザーのみに制限する。
- アセットの以前のバージョンとその作成者をトラッキングする。
- アセットを以前のバージョンに復元する（ロールバック機能）。

この章では、リビジョントラッキングの概要とアセットをトラッキングする手順について説明します。この章は、以下の節から構成されています。

- [概要](#)
- [アセットのチェックアウト](#)
- [チェックアウトを元に戻す](#)
- [アセットのチェックイン](#)
- [バージョン履歴の確認](#)
- [以前のバージョンへの復元（ロールバック）](#)
- [ロックされたアセットを解除するには](#)

リビジョントラッキングは設定可能な機能のため、ユーザーサイトに対して有効にする必要があります。リビジョントラッキングの使用に関して問題や疑問が生じた場合は、管理者に問い合わせてください。

概要

リビジョントラッキングを使用すると、アセットをチェックアウト、つまりロックすることができます。アセットをチェックアウトすると、他のユーザーはそのアセットを変更できなくなります。アセットに対する作業が完了したら、アセットを再びチェックインして、他のユーザーがそのアセットを使用できるようにします。

任意のアセットに対してリビジョントラッキングを使用しても、他のユーザーは通常どおりアセットの詳細を表示したり、検索機能やクエリー、コレクションを使用してアセットを検索できます。

アセットへのアクセスは、アセットのチェックアウトおよびチェックインによって管理します。アセットへのアクセスを管理するコマンドは、3種類あります。

- [チェックアウト]コマンド: アセットをチェックアウトできるのは、一度に1ユーザーのみです。チェックアウトされているアセットを他のユーザーがチェックアウトしようとしたり、変更しようとする、そのアセットが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

ワークフローで割り当てられたアセットをチェックアウトすると、そのアセットをチェックインするまで、アサイメントを完了したことになります。

チェックアウトされたアセットは、チェックインされるまで、パブリッシュの承認ができません。

- [チェックイン]コマンド: チェックアウトされているアセットをチェックインします。チェックインされると、他のユーザーがそのアセットを使用できるようになります。そのアセットがワークフローで割り当てられている場合は、チェックインすることでアサイメントを完了することができます。

チェックアウトされているアセットをチェックインすると、チェックインによるレコードが作成され、最後に保存されたアセットのバージョンのコピーが保存されます (保持されるバージョン数は組織によって異なります)。

また、チェックインしてアーカイブバージョンを保存し、そのままチェックアウトして作業を継続するオプションもあります。このオプションは、新しいバージョンを保存できますが、そのアセットを自分専用として使用できるようにしておくことができます。

- [チェックアウトを元に戻す]コマンド: アセットをチェックアウトした後、そのアセットに加えた作業を保存したくない場合に、このコマンドでチェックアウトをキャンセル (元に戻すこと) します。この場合は、単にアセットのロックが解除されるだけで、新しいバージョンは保存されません。

ロールバックとリビジョン履歴

チェックアウトされているアセットをチェックインすると、そのアセットは以前のバージョンのリストに追加されます。必要に応じて古いバージョンにアセットを復元したり、アセットのリビジョン履歴を確認できます。

- ロールバックとは、前のバージョンにアセットを復元することです。チェックアウトされた状態のアセットであれば、希望する古いバージョンまでロールバックさせることができます。ロールバック機能では、アセットのコンテンツは復元されますが、状態 (作成済み、編集済み、受信済みなど) は以前のバージョンの状態にリセットされることはありません。また、ワークフローの状態にも影響を与えることはありません。アセットがワークフローの

一部になっている場合は、適切な権限のあるユーザーであれば、以前のバージョンに復元することができます。

- [リビジョン履歴]コマンド：アセットのリビジョン履歴を表示、確認するためのコマンドで、どのユーザーでも使用できます。リビジョン履歴では、どのユーザーがアセットをチェックアウトしているかも表示されます。

自動チェックアウトとチェックイン

チェックアウトされていないアセットに対して編集、削除、ロールバック、ワークフローの設定を実行しようとする、そのアセットはシステムによって自動的にチェックアウトされます。また、編集済みのアセットを保存すると、そのアセットは自動的にチェックインされ、バージョンが保存されます（手動でアセットのチェックアウト、編集、保存を行うと、手動でアセットをチェックインするまでバージョンは保存されません）。必要に応じて、手動による操作と自動リビジョントラッキング機能を使い分けると便利です。

自動チェックアウト機能に適した作業について

自動チェックアウト機能は適切な場合にのみ使用するようになっています。たとえば、アセットに単純な変更を1つ加えるだけであれば、自動チェックアウトを使用することができます。ただし、広範囲にわたるリビジョンを行う場合は、なるべく自動チェックアウトを使用しないでください。アセットが自動的にチェックアウトされると、ユーザーが[保存]をクリックするたびに、アセットの正式なアーカイブバージョンがシステムに保存されるようになっています。そのため、1つの変更を加えるたびに保存して、調査する方法で複数の変更を加えると、保存のたびにアセットのバージョンがチェックインされ、保存するように設定されているバージョン数によっては、保持しておきたい古いバージョンが自動的にチェックインされるバージョンで上書きされる可能性があります。

自動チェックアウトおよびチェックインを使用するコマンド

次の表は、アセットを自動的にチェックアウトまたはチェックインするCSコマンドを示したものです。

コマンド	リビジョン管理に対する影響
新規	新しくアセットを作成する[新規]フォームを開くと、アセットがチェックアウトされて、SYSTEMバージョンが保存されます。このバージョンにはコンテンツがありません。アセットの保存時には、もう1つの(2つ目の)バージョンが保存されます。
編集	アセットがチェックアウトされ、他のユーザーはこのバージョンを編集できなくなります。
保存	アセットをチェックインします(ただし、自動的にチェックアウトされたアセットの場合のみ)。

コマンド	リビジョン管理に対する影響
コピー	アセットの新しいコピーをチェックアウトします。コピー操作中は、コピー元のアセットはチェックアウトされません。新しいコピーは、上述の「新規」に説明されている新しくアセットを作成する場合と同様に動作します。ただし、コピーバージョンの方が含まれるデータが多くなります。コピーされたアイテムは、[編集] フォームに表示されます。保存すると、アセットの2番目のバージョンが作成されます。
削除	アセットをチェックアウトします。ユーザーが削除を承認すると、アセットがチェックインされます。
作成	コレクションアセットをチェックアウトします。操作が完了すると、アセットがチェックインされます。
配置	ページアセットをチェックアウトします。操作が完了すると、アセットがチェックインされます。
ロールバック	[ロールバック]をクリックすると、アセットがチェックアウトされ、すぐにチェックインされます。

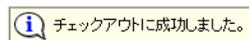
アセットのチェックアウト

アセットをチェックアウトするには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. チェックアウトするアセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームでアセットを開き、アクションバーの下にある [チェックアウト] をクリックします。



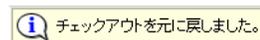
アセットが別のユーザーによってすでにチェックアウトされている場合は、その旨を示すメッセージが Content Server の標準インターフェイスに表示されます。チェックアウトに成功すると、Content Server の標準インターフェイスに「チェックアウトに成功しました。」というメッセージが表示され、チェックアウトの状態が次のように更新されます。



チェックアウトを元に戻す

チェックアウトを元に戻すには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. アセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームでアセットを開き、アクションバーの下にある [チェックアウトを元に戻す] をクリックします。



Content Server の標準インターフェイスに、「チェックアウトを元に戻しました。」というメッセージが表示されます。このチェックアウトは記録されずに、アセットがデータベースに戻されます。

アセットのチェックイン

アセットをチェックインするには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. チェックインするアセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームでアセットを開き、アクションバーの下にある [チェックイン] をクリックします。

Content Server の標準インターフェイスにチェックインフォームが表示されます。

The screenshot shows a web form titled "チェックイン Article: weather". It contains the following fields and information:

- 名前: weather
- 説明: Storm Paralyzes Northeast
- ステータス: 作成済み
- バージョン2 - user_editorによってロック済み
- ID: 1040967749175
- タイプ: Article
- 変更済み: 2002/12/30 8:46:43、更新者 admin

Below the form fields, there is a text area for comments with the text "I changed the closing paragraph." and a checkbox labeled "チェックアウトの保持". At the bottom of the form, there are two buttons: "キャンセル" and "チェックイン".

4. (オプション) [コメント] テキストボックスには、チェックインしているバージョンに関連するコメントまたは指示を入力します。バージョン履歴を表示すると、入力したコメントがアセットのタイトルと共に表示されます。
5. [チェックアウトの保持] (オプション)。アセットをバックアップした後も、アセットに対する作業を続行する必要がある場合に、このオプションを選択します。
6. [チェックイン] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

バージョン履歴の確認

アセットのバージョン履歴を確認するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 履歴を調べるアセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームでアセットを開き、アクションバーの下にある [バージョンの表示] をクリックします。

Content Server の標準インターフェイスに、選択したアセットのリビジョン履歴レポートが表示されます。

リビジョン履歴レポート

	バージョン	日時	ユーザー	コメント
	3	2002-12-30 03:59:55	user_editor	I changed the closing paragraph.
	2	2002-12-30 03:57:49	user_author	Version Created by New.
	1	2002-12-30 03:54:21	SYSTEM	

左側の列にある該当するアイコンをクリックして、一覧表示されているバージョンを表示します。[調査] ビューが別ウィンドウで表示されます。

以前のバージョンへの復元（ロールバック）

アセットをロールバックするには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ロールバックするアセットを検索して選択します。
3. [調査] フォームでアセットを開き、アクションバーの下にある [ロールバック] をクリックします。

Content Server の標準インターフェイスに、アセットのバージョンのリストが表示されます。

ロールバック	バージョン	日時	ユーザー	コメント
	4	2002-12-30 04:01:43	user_editor	I added some more factual data.
	3	2002-12-30 03:59:55	user_editor	I changed the closing paragraph.
	2	2002-12-30 03:57:49	user_author	Version Created by New.
	1	2002-12-30 03:54:21	SYSTEM	

ロールバック先のバージョンを選択してから、[ロールバック] をクリックします。

キャンセル

ロールバック

4. 復元させるバージョンの横にある [ロールバック] 列のオプションをオンにします。
5. [ロールバック] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。アセットをロールバックすると、別のバージョンが作成されます。

ロックされたアセットを解除するには

リビジョントラッキングが有効になっていると、自動チェックアウト機能も有効になっているため、Content Server の標準インターフェイスでの作業中に誤ってアセットをチェックアウトしてしまう可能性があります。その場合は、アセットがロックされ、その他のユーザーがそのアセットを使用できなくなります。アセットを誤ってチェックアウトしたことで、他のユーザーの作業を妨害しないように、チェックアウトされたアセットを確認して、必要のないアセットをチェックインします。

ロックされたアセットのロックを解除するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. アイコンバーにある [マイチェックアウトの表示] アイコンをクリックします。
現在自分がチェックアウトしているすべてのアセットが表示されます。
3. チェックアウトされるべきでないアセットを選択して、チェックインします。この手順については、[150 ページの「アセットのチェックイン」](#)を参照してください。

第 3 部

Engage の使用

この部では、Content Server のオプション製品である Engage を使用して、サイトのビジターを対象にマーケティングキャンペーンを実施するマーケティング担当者のタスクと責任について説明します。

この部は、以下の章から構成されています。

- [第 8 章 「Engage の概要」](#)
- [第 9 章 「ビジターのグループ化（セグメント化）」](#)
- [第 10 章 「リコメンデーションの作成および設定」](#)
- [第 11 章 「プロモーションの作成」](#)

第 8 章

Engage の概要

Content Server では、フレックスアセットモデルを使用して、販売用の製品およびコンテンツを提供するオンラインカタログを作成できます。市場を特定の顧客グループを定義するセグメントに分割して、それぞれのセグメントに対してパーソナライズした販売促進メッセージやマーケティングメッセージを提供する場合に、ソリューションとなるのが Engage です。

Engage ソフトウェアは、Content Server にマーチャンダイジング機能を追加して、e コマースサイトのプログラミングに使用する XML および JSP オブジェクトメソッドを拡張します。また、このソフトウェアを使用すると、サイトのビジターと顧客に関する情報収集、その情報の評価、評価した情報を使用して各ビジターに表示する製品の配置やプロモーション商品のパーソナライズ化を行うオンラインサイトを設計できます。

注

CS-Engage をインストールする前に、CS-Direct と CS-Direct Advantage をインストールしてください。

この章は、以下の節から構成されています。

- [マーチャンダイジングアセットについて](#)
- [セグメントによるビジターの分類](#)
- [セグメントに属するビジターへのリコメンデーションの作成](#)
- [購買パターンに基づくプロモーション](#)

マーチャンダイジングアセットについて

Engage では、マーチャンダイジングアセットを使用して、以下の処理を実行します。

- ビジター属性、履歴属性、履歴定義アセットを使用して、ビジターデータを収集する。
- 収集したビジターデータを使用して、ビジターセグメントを定義する（セグメントアセット）。
- ビジターが属するセグメントに基づいて製品とコンテンツを推奨する（リコメンデーションアセット）。
- すべてのセグメントまたは特定のセグメントに適用されるプロモーションを実行する（プロモーションアセット）。

ビジターデータとリコメンデーションアセットを作成および管理するのは開発者と管理者ですが、セグメントアセットとプロモーションアセットを作成および管理するのはマーケティング担当者です。他の Content Server アプリケーションと同様に、管理サイトでアセットを作成および操作します。作業が完了したら、アセットを承認して、これらのアセットを配信サイトにパブリッシュします。

マーケティング担当者と開発者は、効果的な販売サイトを構築するために広範囲にわたって協力する必要があります。Engage に関連する開発タスクについては、『Content Server Developer's Guide』で詳しく説明されています。

セグメントによるビジターの分類

セグメントとは、収集したビジターデータに基づいてビジターをグループに分類するアセットのことです。セグメントを作成するには、フィルタ基準として使用するビジターデータの種類を決定し、ビジターがそのセグメントの適格者となるかどうかを判別する値を設定します。

マーケティング担当者は、Engage の [セグメントのフィルタ] フォームを使用して、開発者が作成したビジター属性、履歴属性、および履歴定義に基づいてビジターをグループに分類します。

セグメントは、Engage を使用したパーソナライズ機能における重要な要素です。ビジターがサイトに訪れたときに提供する情報を使用して、ビジターがセグメントのメンバーとして適格者となるかどうかを判別されます。リコメンデーションまたはプロモーション情報を載せたページが表示される場合、Engage は、ビジターが属するセグメントを判断し、そのセグメントに指定された製品のリコメンデーションまたはプロモーションのメッセージを表示します。

セグメントの詳細については、[第 9 章 「ビジターのグループ化（セグメント化）」](#)を参照してください。

セグメントに属するビジターへのリコメンデーションの作成

リコメンデーションアセットを作成して、リコメンデーションを設定するには、作成したセグメントに対するアセットの重要性に基づいてレーティングします。

リコメンデーションは、サイトページ上で特集を組んだり、推奨品として紹介する製品またはコンテンツを決定するアセットです。これらのアセットは、ビジターが属するセグメントに基づいたルールとなります。また、プロダクトアセットまたはコンテンツアセット間の関係に基づく場合もあります。

リコメンデーションにはテンプレートがあります。リコメンデーションは、サイトページにテンプレートがレンダリングされるときに、そのテンプレートに対するアセットのリストを返します。推奨されたアセットのリストに含まれるアイテムは、ビジターが属するセグメントに基づいて、ビジターに対する重要度が高い順にレーティングされます。

リコメンデーションの詳細については、[第 10 章 「リコメンデーションの作成および設定」](#) を参照してください。

購買パターンに基づくプロモーション

プロモーションは、ビジターが購入しようとしている製品とビジターが属するセグメントに基づいて、ビジターに提供する特別な価値（割引）を定義するアセットです。この価値は、以下のような方法で提供されます。

- プロモーション対象製品の購入価格を割引する。
- ショッピングカートの合計額を割引する。
- 送料を割引する。
- 複数の割引（送料の割引+購入価格またはショッピングカート合計額の割引）を組み合わせる。

プロモーションでは、リコメンデーションと同じテンプレートが使用されます。マーケティング担当者は、プロモーションによって無効となるリコメンデーションを決定します。Engage では、そのリコメンデーションのテンプレートを使用して、サイトページにプロモーションをレンダリングします。

セグメントの詳細については、[第 11 章 「プロモーションの作成」](#) を参照してください。

第 9 章

ビジターのグループ化（セグメント化）

セグメントとは、収集したビジターデータに基づいてビジターをグループに分類するアセットのことです。セグメントを作成するには、フィルタ基準として使用するビジターデータの種類を決定し、ビジターがそのセグメントの適格者となるかどうかを判別する値を設定します。

この章では、セグメントの概要とセグメントを作成する手順について説明します。この章は、以下の節から構成されています。

- [セグメントについて](#)
- [セグメントフォームについて](#)
- [セグメントの作成](#)
- [サンプルセグメントアセット](#)
- [セグメントのパブリッシュ](#)
- [パブリッシュ完了後](#)

セグメントについて

セグメントは、リコメンデーションやプロモーションの作成に使用します。セグメントによって、リコメンデーションやプロモーションのプロダクトの中からビジターに適しているものが選択され、プロダクトビジターに表示されます。

セグメントは、Engage を使用したパーソナライズ機能とマーチャンドライジング機能の重要な要素です。サイトページが基準にするビジターセグメントの作成は、特定のビジターセグメントに対してどのマーチャンドライジングメッセージを関連付ければよいかを把握しているマーケティング担当者が行います。

セグメントを作成する場合は、セグメントのメンバーを選ぶフィルタ基準を指定します。このフィルタ基準に一致したビジターのみがメンバーになることができます。これは、データベースまたはサイトの管理者がデータベースクエリーを作成するときにパラメータを設定して、このパラメータに一致したデータベースレコードのみがクエリー結果に含まれるのと同じ概念ですすることに匹敵します。

セグメントとビジターデータアセット

セグメントを作成するには、ビジターデータアセットをフィルタ基準として使用します。ビジターデータアセットには、ビジター属性、履歴属性、履歴定義の3種類があります。

- **ビジター属性**には、1つの特性のみに限定された情報が含まれます。ビジター属性には、「*経験年数*」、「*職種*」、「*子供の数*」などの名前を付けることができます。

ビジターがデータを変更すると、新しいデータが以前のデータを上書きされます。たとえば、ビジターが職種を「*肉屋*」から「*パン屋*」に変更した場合は、ビジターが以前肉屋であったという記録が消去されます。

- **履歴属性**とは、1種類の履歴レコードを作成するためにグループ化される情報の個々の種類です。
- この履歴レコードが**履歴定義**となります。たとえば、「*購入*」と呼ばれる履歴定義を「*SKU番号*」、「*アイテム名*」、「*数量*」、「*価格*」からなる履歴属性で構成することができます。

Engage では、履歴定義として記録されたデータは1単位の情報として処理されます。データの各インスタンスにはタイムスタンプが割り当てられて保存されるため、履歴定義の数または合計に基づいてセグメントを作成できます。

開発者は、マーケティングチームと設計チームが収集、分析する情報の種類に基づいて、ビジターデータアセットを作成します。マーケティング担当者は、これらのアセットを使用してビジターを分類するセグメントを作成し、開発者はビジター情報を収集して保存できるようにサイトページをプログラムします。

セグメントの作成 概要

セグメントの作成には、5つの基本的な手順があります。

1. **計画する**：開発者およびマーケティング担当者など各部門の担当者を含む設計チームは、サイトのビジターから収集するデータを決定します。
2. **ビジターデータアセットを作成する**：開発者は、Engage のフォームを使用して、必要なビジター属性、履歴属性、および履歴定義を作成、定義します。

3. **セグメントを作成する**：マーケティング担当者は、Engage の [セグメント] フォームを使用して、ビジター属性、履歴属性、および履歴定義に基づいてビジターを分類します。
4. **ビジターデータを収集する**：開発者は、ビジターデータを収集して保存できるように、適切なサイトページをプログラムします。たとえば、セグメントの適格者となるかどうかの判別基準となる情報をビジターに入力させるオンライン登録フォームの作成もこの例に当てはまります。サイトを閲覧しているビジターによって提供された情報は、Content Server データベースに保存されます。
5. **ビジターをセグメント化する**：これで、サイトを閲覧しているビジターによって提供される情報を使用して、ビジターがセグメントのメンバーとして適格者となるかどうか判別されます。プロモーションメッセージとリコメンデーションのプロダクトは、ビジターが属するセグメントに基づいてパーソナライズ化されます。

セグメントフォームについて

セグメントの作成には、[セグメントのフィルタ基準] フォームと [セグメント定義] フォームの2種類のフォームを使用します。ここでは、これらのフォームについて説明します。

[セグメントのフィルタ基準] フォーム

[セグメントのフィルタ基準] フォームには、セグメントの作成に使用可能なビジターデータアセットが表示されます。このフォームで、セグメントを定義する基準を選択します。

カテゴリ

[セグメントのフィルタ条件] フォーム上では、ビジターデータアセットはフォームの上部の横方向に表示されているカテゴリに分類されています（下図参照）。

セグメントのフィルタ基準:

[Buyer Contact](#) ▶ [User](#) ▶ [Demographics](#) ▶ [Buyer history](#) ▶ [History](#) ▶ [ショッピングカート](#)

カテゴリをクリックすると、フォームにそのカテゴリのビジター属性または履歴定義が表示されます。

ビジターデータアセットはそれぞれ内容が広く異なるため、開発者はそれらをカテゴリ別に割り当てることで整理します（各カテゴリはビジターデータアセット定義時に作成）。上の図には、ビジター Demographics というカテゴリ

が表示されていますが、これは開発者がビジターの個人情報に関連するビジター属性用に作成したものです。

注

お使いのシステムで実際に表示されるビジターデータアセットのカテゴリは、インストールオプションや開発者が定義した内容によって異なります。カテゴリやビジターデータアセットに関する情報については、開発者に問い合わせてください。

[ショッピングカート]フォーム

「ショッピングカート」は、[セグメントのフィルタ]フォーム上でカテゴリとともに表示されます。ショッピングカートは、属性のカテゴリというよりは特殊なデフォルト機能としてみえます。

セグメントのフィルタ基準:

[Buyer Contact](#)
[User](#)
[Demographics](#)
[Buyer history](#)
[History](#)
[Shopping Cart](#)

Shopping Cart

含む カート内のアイテムの合計額 **が次と等しい** \$ - \$

含む カート内のアイテムの合計数量 **が次と等しい** -

特定の製品に制限:

制限がありません

ツリーで特定のアイテムに制限します(ツリーの該当タブでアイテムを選択してから[追加]をクリックします)。:

プロダクトまたはプロダクトカテゴリが選択されていません。

[ショッピングカート]フォームを使用すると、以下に挙げるような条件に基づいて、セグメントを作成できます。

- ショッピングカートに入っているすべてのプロダクトの合計値
- ショッピングカートに特定のプロダクトが含まれているかどうか
- ショッピングカートに特定の数のプロダクトが含まれているかどうか
- ショッピングカートに特定の数の特定のプロダクトが含まれているかどうか

ビジターの現在のショッピングカートの状態に基づいてプロモーションを導入する場合は、このフォームを使用してセグメントを作成し、作成したセグメントをプロモーションで使用します。

[ショッピングカート]フォームを使用すると、いつでもセグメントを定義できます。したがって、サイト開発者がビジター属性または履歴定義を作成する前でも、ショッピングカート情報で定義されたセグメントを作成できます。

[セグメント定義]フォーム

セグメントの作成時には、セグメントに追加する各条件（基準）が以下のようなフォームで表示されます。

このセグメントには次が含まれます::
すべてのビジター

▼

ビジターの制限

include: Viewer preference Suspense	include: Viewer preference Romance	Buyer Contact
編集 削除	編集 削除	別の基準を追加

▼

ビジターの制限

Buyer Contact
制限の追加

▼

このセグメントは:
Classic Movie Fan

基準を行（表の横方向）に追加すると、より包括的なセグメントを作成できます。前の例では、ビジターサスペンス（suspense）またはロマンス（romance）のいずれか一方、またはその両方の種類の映画に関心があるビジターが、このセグメントに含まれることになります。

このように、表に対して横方向に基準を追加すると、任意のビジターセグメントに対してビジターが適格者となるかどうかを判断する要素が追加されていきます。

基準を列（表の下方向）に追加すると、より限定されたセグメントを作成できます。次の例では、ビジター両方の基準に一致するビジターのみが、このセグメントに属することになります。

このセグメントには次が含まれます::
すべてのビジター

▼

ビジターの制限

include: Viewer preference Slapstick	Buyer Contact
編集 削除	別の基準を追加

▼

ビジターの制限

include: Suitable ages 18 - 30	Buyer Contact
編集 削除	別の基準を追加

▼

ビジターの制限

Buyer Contact
制限の追加

▼

このセグメントは:
Classic Movie Fan

ビジターがどたばた喜劇映画（slapstick）に関心のある18～30歳の人であれば、適格となりセグメントに属することができます。このように、フォームの列に対して下方向に制限を追加することで、セグメントに制限を追加します。

要約すると、表の横方向に基準を追加するとセグメントの基準範囲が広くなり、表の下方方向に基準を追加するとセグメントの基準範囲が狭くなります。

セグメントの作成

セグメントを作成する前に、以下のタスクが完了されていることを確認してください。

- マーケティング、設計、および開発チームが集まって、ビジターから収集するデータの種類を決定していること。
- 開発者が、各部門の担当者を含むチームが必要であると判断したビジター属性、履歴属性、履歴定義を作成していること。
- マーケティング担当者が、作成されたビジターデータアセットのリストまたは概要を入手していて、ビジターデータアセットの意味と分類方法を理解していること。

手順 1：セグメントの名前付けおよび定義

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [新規] をクリックして、作成可能なアセットタイプのリストを作業領域に表示します。
3. リストから [NewSegment] を選択します (リストに [NewSegment] が表示されない場合は、セグメントを新規作成するための適切な許可がありません)。

[新規 Segment] フォームが表示されます。

The screenshot shows a web form titled "新規 Segment". It contains two text input fields: one labeled "*名前:" and another labeled "説明:". Below the input fields, there are three buttons: "キャンセル", "保存", and "続行".

4. [名前] フィールドに、固有でわかりやすいセグメント名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を入力できます。先頭には必ず文字を指定してください。
5. [説明] フィールドに、セグメントの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
6. [続行] をクリックします。

[セグメントのフィルタ基準] フォームが表示されます。セグメントの作成に使用可能なビジター属性と履歴定義のカテゴリは、フォームの上部の横方向に表示されます。

セグメントのフィルタ基準: Classic Movie Fan

Buyer Contact User Demographics Buyer history History ショッピングカート

Demographics

含む Viewer preference が次と等しい Suspense

Demographics基準:

- Viewer preference
- Gender preference
- Suitable ages

が次と等しい
 が次と等しくない
 が次と等しい(大文字と小文字を区別しない)
 が次と等しくない(大文字と小文字を区別しない)

この基準をキャンセル この基準を追加

大文字と小文字を区別しないように特に選択しない限り、テキスト文字列のフィルタリングでは大文字と小文字が区別されます。

- 以下のいずれかを実行します。
 - ビジター属性に基づいてセグメントを作成する場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義に基づいてセグメントを作成する場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - ショッピングカートに基づいてセグメントを作成するには、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成

- [セグメントのフィルタ基準] フォームで、ビジター属性を一覧表示するカテゴリの名前をクリックします。

Engage に、カテゴリ内の属性のリストが表示されます。

- セグメントの定義に使用する属性の名前をクリックします。
- フォームに、その属性に対して有効な制限フィールドが表示されます。
- フォームを使用して、ビジターをセグメントに含む、またはセグメントから除外する属性の値を設定します。

たとえば、属性が「年齢」で、18～30歳の人をセグメントに含む場合は、以下のように値を設定します。

Demographics

含む Suitable ages が次の範囲内 18 - 30

この範囲の年齢の人を除外する場合は、以下のように値を設定します。

Demographics

除外 Suitable ages が次の範囲内 18 - 30

18歳の人のみを含めるには、以下のように値を設定します。

Demographics

含む ▾ Suitable ages が次と等しい ▾ 18 -

5. [この基準を追加]をクリックします。

基準がセグメントに追加されます。

*名前: Classic Movie Fan

説明: Classic Movie Fan

フィルタ基準: このセグメントには次が含まれます::
すべてのビジター

▼

ビジターの制限

include: Suitable ages 18 - 30 Buyer Contact ▾
別の基準を追加

編集 削除

▼

ビジターの制限

Buyer Contact ▾
制限の追加

▼

6. 以下のいずれかを実行します。

- このセグメントの作成を終了する場合は、[保存]をクリックします。
- さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。

7. 以下のいずれかを実行します。

- ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
- セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。

8. 以下のいずれかを実行します。

- ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[ステップ 2](#)に戻ります。
- 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
- [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成

1. [セグメントのフィルタ基準]フォームで、[History]のカテゴリをクリックします。

履歴定義用の[セグメントのフィルタ条件]フォームが表示されます。このフォームにカテゴリの最初の履歴定義が表示されます。以下に例を示します。

セグメントのフィルタ基準:

▶ Buyer Contact ▶ User ▶ Demographics **Buyer history** ▶ History ▶ ショッピングカート

Buyer history - Purchase summary

含む 合計
 含む 数
 含む 最先記録日
 at : time zone
 含む 最終記録日
 at : time zone

特定の期間に制限:

全体
 最後の 週
 特定の期間:
 範囲:
 at : time zone
 and
 at : time zone

履歴属性

制限がありません
 選択された属性の値
 属性の選択

Purchase summary属性:

- [Product list](#)
- * [Store ID](#)
- [Number of items](#)
- [Amount of sales](#)

Buyer historyの追加基準:

- Purchase summary

このフォームには、アイテムの制限またはフィルタリングに使用する一般領域が3つあります。

- フォームの上部のオプション領域
- フォームの左側の期間制限領域
- フォームの右側の履歴属性制限領域。このセクションには、履歴定義を定義する履歴属性が一覧表示されます。

ヒント

フォームに表示されているものとは異なる履歴定義を使用するには、フォームの下部の[追加基準]のリストから選択してください。

2. 1つのアイテムを制限およびフィルタリングできる[セグメントのフィルタ条件]フォームの3つの領域を活用すると、以下の1つ以上のオプションを使用して、簡単なまたは複雑な基準を作成できます。

オプション 1：合計に基づくフィルタリング

合計費用、合計価格、合計アイテム数などの合計に基づいてセグメントを定義できます。

たとえば、サイト開発者が、サイトビジターの購入履歴を記録するための購入履歴という名前の履歴定義を作成したと仮定します。この定義の履歴属性の1つがアイテム数とすると、マーケット担当者はこの履歴定義を使用して、サイトビジターが購入したアイテムの合計数に基づいてセグメントを作成できます。

合計に基づいてセグメントを定義するには

1. [合計] オプションを選択して、ビジターをセグメントに含む、またはセグメントから除外する値を設定します。

たとえば、履歴定義の購入履歴に 10 アイテム以上購入したビジターのみを含めるように設定することができます。

含む 除外 合計 が次の値以上

2. [特定の期間に制限] から、合計の計算に使用する期間を指定します。

たとえば、過去 6 か月間に指定された数のアイテムを購入したビジターに限定するには、履歴定義の購入履歴に対する期間オプションの値を以下のように設定します。

最後の 月

特定の日（休日など）に指定された数のアイテムほどを購入したビジターに限定するには、以下のように値を設定します。

特定の期間:

範囲:
at : time zone
and
at : time zone

3. (オプション) 履歴属性を追加してさらに基準を絞り込む場合は、[オプション 5：履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義](#)に進んでください。
4. [この基準を追加] をクリックします。

基準がセグメントに追加されます。

このセグメントには次が含まれます::

すべてのビジター



ビジターの制限

含む (Purchase history)
合計 Number of items ≥ 10
最終 6 months

編集

削除

Buyer Contact



別の基準を追加



ビジターの制限

Buyer Contact



制限の追加



5. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存]をクリックします。
 - さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。
7. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

オプション 2：数量に基づくフィルタリング

任意のビジターに対してこの履歴定義が記録された合計回数に基づいてセグメントを定義することができます。

たとえば、マーケティング担当者は [オプション 1：合計に基づくフィルタリング](#) で説明されている履歴定義の購入履歴を使用して、任意のビジターに対して購入履歴が記録された回数に基づいてセグメントを定義することができます。この基準では、購入したプロダクトの種類や支払った金額ではなく、ビジターが購入した回数が考慮されます。

回数に基づいてセグメントを定義するには

1. フォームの上部にある [数] オプションを選択して、ビジターをセグメントに含む、またはセグメントから除外する値を設定します。

たとえば、5 回以上何かを購入したビジターのみを含めるように、履歴定義の購入履歴を設定できます。

④ 数

2. [特定の期間に制限] から、回数を計上する期間を指定します。

たとえば、過去 6 か月間に購入したビジターに限定するには、履歴定義の [購入履歴] に対する期間オプションの値を以下のように設定します。

④ 最後の 月

特定の日（休日など）に何かを購入したビジターに限定するには、以下のよう

特定の期間:

範囲: 10月 1 2002
 at 12 : 00 AM time zone -05:00
 and 10月 1 2002
 at 11 : 59 PM time zone -05:00

3. (オプション) 履歴属性を追加してさらに基準を絞り込む場合は、[オプション5：履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義](#)に進んでください。
4. [この基準を追加]をクリックします。
基準がセグメントに追加されます。

このセグメントには次が含まれます::
 すべてのビジター

ビジターの制限

含む (BF Visit Counter)
 数 >= 5
 最終 6 months

Buyer Contact

別の基準を追加

編集 削除

ビジターの制限

Buyer Contact

制限の追加

5. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存]をクリックします。
 - さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。
7. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

オプション 3：履歴定義の最初の記録に基づくフィルタリング

ビジターに対して履歴レコードが最初に記録された日付に基づいてセグメントを定義することができます。

たとえば、マーケット担当者は [オプション 1：合計に基づくフィルタリング](#) で説明されている履歴定義の購入履歴を使用して、ビジターが初めて何かを購入した日、つまり、そのビジターに対して購入履歴が最初に記録された日付に基づいてセグメントを定義することができます。

履歴定義が最初に記録された日付に基づいてセグメントを定義するには

1. フォームの上部にある [最先記録日] オプションを選択して、ビジターをセグメントに含む、またはセグメントから除外する値を設定します。

たとえば、2005 年 1 月 1 日以前に何かを購入したビジターのみを含めるように、履歴定義の購入履歴をビジター設定できます。

含む
 除外
 最先記録日 が次の値以下

 3月 1 2006 日時 12 : 00 AM タイムゾーン +09:00

2. [特定の期間に制限] から、この条件に使用する期間を指定します。

たとえば、特定の日（この例では 2005 年 1 月 1 日）から過去 2 年間に何かを購入したビジターに限定するには、購入履歴の期間値を以下のように設定します。

最後の 2 年

3. (オプション) 履歴属性を追加してさらに基準を絞り込む場合は、[オプション 5：履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義](#) に進んでください。
4. [この基準を追加] をクリックします。

基準がセグメントに追加されます。

このセグメントには次が含まれます::

すべてのビジター

ビジターの制限

含む (BF Visit Counter) Buyer Contact

初日 <= 2006/03/01

最終 2 years

別の基準を追加

編集 削除

ビジターの制限

Buyer Contact

制限の追加

5. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存] をクリックします。
 - さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。
6. 以下のいずれかを実行します。

- ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。
7. 以下のいずれかを実行します。
- ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

オプション 4：履歴定義の最後の記録に基づくフィルタリング

ビジターに対して履歴定義が最後に記録された日付（現在に最も近い日付）に基づいてセグメントを定義することができます。

たとえば、マーケット担当者は [オプション 1：合計に基づくフィルタリング](#) で説明されている履歴定義の購入履歴を使用して、ビジターが最後に何かを購入した日、つまり、そのビジターに対して購入履歴が最後に記録された日付に基づいてセグメントを定義することができます。

履歴定義が最後に記録された日付に基づいてセグメントを定義するには

1. フォームの上部にある [最終記録日] オプションを選択して、ビジターをセグメントに含む、またはセグメントから除外する値を設定します。

たとえば、2005 年 1 月 1 日以降に何かを購入したビジターに限定するには、購入履歴の値を以下のように設定します。

含む ▼ 最終記録日 ▼ が次の値より大きい ▼
2月 ▼ 1 2006 日時 12 ▼ : 00 AM ▼ タイムゾーン +09:00 ▼

2. [特定の期間に制限] から、この条件に使用する期間を指定します（下の例では [全体]）。
3. (オプション) 履歴属性を追加してさらに基準を絞り込む場合は、[オプション 5：履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義](#) に進んでください。
4. [この基準を追加] をクリックします。

基準がセグメントに追加されます。以下に例を示します。

このセグメントには次が含まれます::

すべてのビジター

▼

ビジターの制限

含む (BF Visit Counter) Buyer Contact ▼

最終日 > 2006/02/01 別の基準を追加

編集 削除

▼

ビジターの制限

Buyer Contact ▼

制限の追加

▼

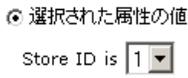
5. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存]をクリックします。
 - さらに、セグメントに追加するには、この手順を続行します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。
7. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

オプション 5：履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義

履歴属性を追加すると、特定の属性を考慮することにより、回数、合計、最先記録日または最終記録日にさらに制限を加えた複雑な基準を作成することができます。

履歴属性を追加してセグメントを詳細に定義するには

1. フォーム上部にある4つのオプション（[数]、[合計]、[最先記録日]、[最終記録日]）のうちのいずれかを選択して設定します。各手順の詳細については、次のいずれかを参照してください。
 - [オプション 1：合計に基づくフィルタリング](#)

- オプション 2：数量に基づくフィルタリング
 - オプション 3：履歴定義の最初の記録に基づくフィルタリング
 - オプション 4：履歴定義の最後の記録に基づくフィルタリング
2. [履歴属性](フォームの右側)から、[選択した属性の値]オプションを選択します。
 3. この履歴定義に対する属性リストから、フィルタとして使用する履歴属性をクリックします。
フォームに、その属性に対して有効な制限フィールドが表示されます。
 4. 制限フィールドを使用して、基準をさらに制限する属性値を設定します。以下に例を示します。


④ 選択された属性の値
Store ID is
 5. [特定の期間に制限]から、この条件に使用する期間を指定します。
 6. [この基準を追加]をクリックします。
基準がセグメントに追加されます。
 7. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存]をクリックします。
 - さらに、セグメントに追加するには、この手順を続行します。
 8. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。
 9. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
 - [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

オプション 6：プロダクトを追加してセグメントを詳細に定義

このセグメントを定義するために使用する履歴定義にプロダクトリスト履歴属性がある場合は、プロダクトを追加すると、特定のプロダクトを考慮することにより、回数、合計、最先記録日または最終記録日にさらに制限を加えた複雑な基準を作成することができます。

プロダクトをセグメント定義に追加するには

1. フォーム上部にある4つのオプション（[数]、[合計]、[最先記録日]、[最終記録日]）のうちのいずれかを選択して設定します。この手順の詳細については、次のいずれかを参照してください。

- オプション 1：合計に基づくフィルタリング
- オプション 2：数量に基づくフィルタリング
- オプション 3：履歴定義の最初の記録に基づくフィルタリング
- オプション 4：履歴定義の最後の記録に基づくフィルタリング

2. [履歴属性]（フォームの右側）から、[選択した属性の値] オプションを選択します。

3. 属性リストから、[Product List] を選択します。

フォームに[選択]ボタンが表示されます。

4. ツリーで、[Product] タブを選択します。

5. 選択するプロダクトをクリックします。複数のプロダクトを選択するには、Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択範囲をクリックします。

6. [選択] をクリックします。

選択したプロダクトのペアレントアセットとプロダクトが一覧表示されます。以下に例を示します。



ツリーがオフになっている場合は、[選択] ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択できます。

7. [特定の期間] から、この基準に使用する期間を指定します。

8. [この基準を追加] をクリックします。

基準がセグメントに追加されます。

9. 以下のいずれかを実行します。

- このセグメントの作成を終了する場合は、[保存] をクリックします。
- さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。

10. 以下のいずれかを実行します。

- ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ

行)にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加]をクリックします。

- セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下(次の行)にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加]をクリックします。

11. 以下のいずれかを実行します。

- ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
- 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。
- [ショッピングカート]を選択した場合は、[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)に進みます。

手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義

1. [ショッピングカート]をクリックします。

画面に[ショッピングカート]フォームが表示されます。

セグメントのフィルタ基準:

[Buyer Contact](#)
[User](#)
[Demographics](#)
[Buyer history](#)
[History](#)
[Shopping Cart](#)

Shopping Cart

含む カート内のアイテムの合計額 **が次と等しい** \$ - \$

含む カート内のアイテムの合計数量 **が次と等しい** -

特定の製品に制限:

制限がありません

ツリーで特定のアイテムに制限します(ツリーの該当タブでアイテムを選択してから[追加]をクリックします)。:

プロダクトまたはプロダクトカテゴリが選択されていません。

2. 以下のいずれかを実行します。

- このセグメントをビジターのショッピングカートに入っているプロダクトの合計金額に基づいて定義するには、最初のオプションを選択してから値を設定します。たとえば、カート内に合計して最低 \$50 以上のプロダクトが入っているビジターに限定するには、以下のように値を設定します。

含む カート内のアイテムの合計額 **が次以上** \$ 50 - \$

- このセグメントをビジターのショッピングカートにある合計アイテム数に基づいて定義するには、2 番目のオプションを選択してから値を設定します。たとえば、カート内に 3 個以上のプロダクトが入っているビジターに限定するには、以下のように値を設定します。

⑥ カート内のアイテムの合計数量 .

3. アイテム数または金額をカタログ内の特定のアイテムに制限するには、以下の手順に従います。
 - a. [ツリーで特定のアイテムに制限します]を選択します。
 - b. ツリーで、[プ Product] タブを選択します。
 - c. 選択するプロダクトをクリックします。複数のプロダクトを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか（隣接しない製品を選択する場合）、Shift キーを押しながらクリックします（隣接した製品をまとめて選択する場合）。
 - d. [セグメントのフィルタ] フォームで、[選択したアイテムの追加] をクリックします。
ツリーがオフになっている場合は、[選択したアイテムの追加] ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択することができます。
4. [この基準を追加] をクリックします。
ショッピングカート基準がセグメントに追加されます。

このセグメントには次が含まれます::

▼

ビジターの制限

include: (ショッピングカート)

count - >= 3

▼

ビジターの制限

▼

5. 以下のいずれかを実行します。
 - このセグメントの作成を終了する場合は、[保存] をクリックします。
 - さらに、セグメントに基準を追加するには、この手順を続行します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - ビジターがこのセグメントに対する適格者となるかどうかを判断するための基準をさらに追加するには、上の手順で追加した基準の右側（同じ行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[別の基準を追加] をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、上の手順で追加した基準の下（次の行）にあるドロップダウンフィールドをクリックします。ドロップダウンリストからカテゴリ名を選択して、[制限の追加] をクリックします。
7. 以下のいずれかを実行します。

- [ショッピングカート]を選択した場合は、[ステップ 2](#)に戻ります。
- ビジター属性カテゴリを選択した場合は、[手順 2：ビジター属性によるセグメントのフィルタ条件の作成](#)に進みます。
- 履歴定義カテゴリを選択した場合は、[手順 3：履歴定義によるセグメントフィルタ条件の作成](#)に進みます。

サンプルセグメントアセット

Engage と Burlington Financial Extensions を合わせてインストールすると、以下の2つのサンプルセグメントアセットもインストールされます。

- BFfrequentvisitors
- highriskinvestors

これらのサンプルアセットは、ツリーの [Marketing] タブに表示されます。これらのセグメントは、[Marketing] タブにも表示されるサンプルリコメンデーションおよびプロモーションアセットと連動して動作するように設計されています。これらのサンプルセグメントをテンプレートとして使用すると、サイト用のセグメントアセットを作成できます。

セグメントのパブリッシュ

パブリッシュの準備ができたセグメントを配信システムにパブリッシュするには、そのセグメントを承認する必要があります。そうすると、Engage でセグメントを使用してビジターを評価したり、ビジターに適切なアイテムを推奨できるようになります。

パブリッシュを承認する前に、セグメントが正しく設定されていることを検証するための調査または確認を必ず行ってください。

アセットの承認およびパブリッシュの詳細については、[第 5 章 「パブリッシュ」](#)を参照してください。

パブリッシュ完了後

セグメントの作成、検証、パブリッシュが一通り完了した後は、各セグメントのメンバーにとって重要度の高いプロダクトとコンテンツにレーティングを割り当てる必要があります。詳細については、[第 10 章 「リコメンデーションの作成および設定」](#)を参照してください。

セグメントを作成した後で、プロモーションを作成することもできます。詳しくは、[第 11 章 「プロモーションの作成」](#)を参照してください。

第 10 章

リコメンデーションの作成および設定

リコメンデーションは、サイトページ上で特集を組んだり、推奨品として紹介するアセットを決定するアセットです。リコメンデーションは、ビジターが属するセグメントに基づいて推奨するアセットを決定します。また、プロダクトやコンテンツに相当するフレックスアセット間の関係に基づく場合もあります。

リコメンデーションアセットの作成後、リコメンデーションを設定するには、作成したセグメントに対するアセットの重要度に基づいてレーティングします。アセットが推奨されるかどうかは、これらのレーティングに基づいて決定されます。さらに、リコメンデーションは複数のフレックスアセット間の関係を定義することもでき、どのアセット間に関係を持たせるかはマーケティング担当者が決定します。

この章は、以下の節から構成されています。

- [リコメンデーションアセットについて](#)
- [リコメンデーションアセットタイプ](#)
- [リコメンデーションアセットの作成](#)
- [リコメンデーションアセットの編集](#)
- [推奨されるアセットの設定](#)
- [フレックスアセットの関係の設定](#)
- [リコメンデーションアセットの検証](#)
- [サンプルリコメンデーションアセット](#)
- [レーティングされたフレックスアセットのパブリッシュ](#)

リコメンデーションアセットについて

リコメンデーションアセットは、プロダクトやコンテンツに相当するアセットの収集、評価、およびソートを行い、現在のビジターに最適なアセットを推奨します。リコメンデーションアセットは、ビジターが属するセグメントのリストとアセットに対して設定されている確信度を調べることによって、ビジターに対して最適なアセットを決定します。確信度については、[185 ページの「確信度」](#)を参照してください。

マーケティング担当者は、セグメントを作成した後、各セグメントに対する重要度に基づいてフレックスアセットをレーティングします。リコメンデーションアセットがサイトページから呼び出されると、Engage によって現在のビジターに適したセグメントが判断されます。リコメンデーションが示すアセットから、それらのセグメントに対して最高レーティングを獲得しているアセットを選択します。これが、ビジターに「推奨」されるアセットとなります。

リコメンデーションには以下の 3 種類があります。

- **関連アイテム**：プロダクトまたはコンテンツに相当するフレックスアセット間の関係に基づいて、推奨アイテムのリストを返します。それらの関係を持たせるアセットの種類はマーケティング担当者が決定します（旧バージョンでは、「コンテキストベース」と呼ばれていました）。
- **静的リスト**：ビジターが選択されたセグメントに対する適格者となる場合や、該当するセグメントがない場合に推奨アイテムのリストを返します。（旧バージョンでは、「マニュアル」と呼ばれていました）。
- **動的リスト**：セットアップした動的選択に基づく推奨アイテムの動的リストを返します。（旧バージョンでは、「SQL」と呼ばれていました）。

注

旧バージョンで作成された SQL リコメンデーションを使用または更新することはできませんが、新しい SQL リコメンデーションは作成できません。

Engage では、サイトページを表示するテンプレートに表示しきれないほど多くのアイテムがリストに含まれる場合、リコメンデーションの設定オプションとアセットのレーティングを使用して、推奨アイテムのリストを制限します。関連アイテムリコメンデーションの場合も、アセットの関係を使用してリストを制限できます。どのようなリコメンデーションであっても、任意のビジターが属するセグメントに対する任意のアセットのレーティングが 0 の場合、そのアセットがそのビジターに対して推奨されることはありません。また、レーティングが 100 の場合は必ず推奨されることとなります。

リコメンデーションの作成 概要

ここでは、リコメンデーションを作成するための基本的な手順を説明します。

1. 設計者と開発者はマーケティングチームと共に、サイトに表示するすべてのマーチャンダイジングメッセージを定義し、リコメンデーションアセットとプロモーションアセットを使用してどのようにそれらのメッセージを表現するかを計画します。

2. 設計者と開発者は、リコメンデーション用テンプレートを設計し、コード化します。また、動的リストを生成するための CSElement アセットも作成します。
3. その後、マーケティング担当者は Engage リコメンデーションフォームを使用して、リコメンデーションに名前を付け、設定を行います。
4. マーケティング担当者は、Engage フレックスアセットフォームを使用して、各セグメントに対するアセットの重要度、つまり、各セグメントのメンバーとなる個々のビジターに対するアセットの重要度をレーティングします（通常、レーティングは、個々のフレックスアセットではなく、フレックスペアレントに対して割り当てます）。
5. 各関連アイテムリコメンデーションに対して、マーケティング担当者は、リコメンデーションによって定義された関係を持つアセットを、フレックスアセット（プロダクトまたはコンテンツに相当）に割り当てます（通常、個々のフレックスアセットではなく、フレックスペアレントに対する関係を指定します）。

レーティングおよび確信度について

現在のビジターに対する最適なアセットについては、アセットのレーティングに**確信度**の値を乗算して決定されます。確信度の値とは、アセットの最終レーティングを取得するために、リコメンデーションによってアセットに割り当てられた値のことです。

ここでは、これらの値について説明します。

レーティング

アセットのレーティングとは、作成したセグメントのメンバーに対してアセットの重要度または非重要度を表すために割り当てられる値のことです。アセットに手動で割り当てることができるレーティングは、以下の 3 種類です。

レーティング	説明
セグメント内	現在のビジターが特定のセグメントのメンバーである場合に使用されます。
セグメント外	現在のビジターが特定のセグメントのメンバーではない場合に使用されます。
適用レーティングなし	他に適用できるレーティングがない場合に使用されます（「代替」レーティング）。

これらの特定のレーティングを割り当てられていないフレックスアセットまたはフレックスペアレントには、システムデフォルトレーティングが適用されます。システムデフォルトは、マーケティング担当者および Web 開発チームが（サイ

トページの XML または JSP オブジェクトメソッドを使用して) 変更しない限り、50 に設定されています。システムデフォルトは、サイトに対するレーティング評価の平均または中間点を示すものです。そのため、FatWire では、システムデフォルトレーティングを 50 から変更しないことをお勧めします。

セグメントに対してレーティングできるのは、プロダクトまたはコンテンツに相当するフレックスアセットのみです。ベーシックアセット (アーティクル、イメージなど) および AssetMaker で作成されたその他のアセットは、セグメントに対してレーティングできません。

範囲

レーティングの値として設定可能な値は 0 ~ 100 の数値です。0 および 100 の各値は、アセットのレーティングに対して以下のような影響を与えます。

- 任意のセグメントに対するレーティングが 0 の場合、そのアセットはそのセグメントのメンバーに対して推奨されません。たとえば、「Macintosh Users」という名前のセグメントのメンバーには、PC や PC 関連プロダクトを推奨しないようにすることができます。
- 任意のセグメントに対するレーティングが 100 の場合、そのセグメントのメンバーにはそのアセットが必ず推奨されます。

レーティングの継承

フレックスアセットおよびフレックスペアレントは、「セグメント内」、「セグメント外」、および「代替」(他に適用できるレーティングがない場合) レーティングを、それぞれのペアレントから継承します。アセットまたはペアレントの最終レーティングは、個別レーティングの値 (個別レーティングが設定されていない場合は、システムデフォルトレーティングの値) に、継承レーティングの値を加えた値の平均となります。アセットに継承されるレーティングの値は、ペアレントに設定されたレーティングの値にそのペアレントに継承されたレーティングの値を加えた値になります。

以下に例を示します。

アセットまたはペアレント	個別レーティング	継承レーティング	最終レーティング
アセットペアレント A (トップレベルグループ)	80	継承なし	80
アセットペアレント B (アセットペアレント A の子)	60	80	$(60 + 80) / 2 = 70$
アセット 1 (アセットペアレント B の子)	70	70	$(70 + 70) / 2 = 70$

* アセットが階層のトップレベルにあるため、継承レーティングがない場合は、システムデフォルトが継承レーティングとして使用されます。

フレックスアセットが、レーティングの設定されていないセグメントに対するレーティングを継承する場合、Engage は、継承レーティングとシステムデフォルトレーティング（通常は 50）の合計値を平均して、最終レーティングを決定します。

以下に例を示します。

アセットまたはペアレント	個別レーティング	継承レーティング	最終レーティング
アセット ペアレント A (トップレベル グループ)	80	継承なし	80
アセット ペアレント B (アセットペアレン ト A の子)	なし、シス テムデフォ ルトの 50 を 使用	80	$(50 + 80) / 2 = 65$
アセット 1 (アセットペアレン ト B の子)	70	65	$(70 + 65) / 2 = 67.5$

0 と 100 は特別な値であるため、これらの値には以下のルールが適用されます。

- 個別または継承レーティングのいずれかが 0 の場合、最終レーティングは 0 になります。
- 個別または継承レーティングのいずれか一方が 100 の場合は、もう一方が 0 の場合を除いて、最終レーティングは 100 になります。

現在のビジターが複数のセグメントに属しており、それらのセグメントにおいて、あるアセットに対するレーティングが指定されている場合は、次のルールが適用されます。

- レーティングの最高値が最終レーティングになります。
- レーティングに 1 つでも 0 が含まれている場合、最終レーティングは 0 になります。

確信度

アセットの**確信度**とは、リコメンデーションによって現在のビジターに返すアセットが決定されるときに、評価または比較要素として手動で割り当てられる値のことです。確信度は、リコメンデーションの種類別にそれぞれ割り当てられます。

確信度は、割り当てを行うリコメンデーションアセット固有のものとなります。つまり、任意のリコメンデーションによる確信度の値は、別のリコメンデーションによって評価される場合、そのアセットのレーティングには影響を与えません。

範囲

確信度は評価要素であるため、パーセントで表されます。パーセント値の有効範囲は 0 ~ 100 です。アセットのレーティングに対する 0% および 100% の各値は、以下のような影響を与えます。

- 確信度が 0% の場合は、アセットのレーティングは 0% (0) で乗算されて最終レーティングは 0 となるため、そのアセットはリコメンデーションによって返されません。
- 確信度 100% の場合は、アセットのレーティングは 100% (1) で乗算されるため、アセットのレーティングは評価されず、確信度による影響もありません。

継承

通常、マーケティング担当者は、プロダクトまたはコンテンツに相当するフレックスアセット間の関係を指定し、確信度レベルをペアレントレベルにあるその関係に割り当てます。これは、リコメンデーションによってペアレントに割り当てられた確信度がアセットに継承されるためです。

同じリコメンデーションに対して、アセットが複数の確信度を持っている場合、Engage では（それらの値のうち 1 つが 0 の場合でも）最高値が使用されます。この場合、値は平均化されません。

選択基準およびソート順について

選択基準とソートは、リコメンデーションアセットによってテンプレートに返されるアセットの選択とソート順に影響を与える設定オプションです。

リコメンデーションアセットによるアイテムの選択方法を指定する場合は、選択基準オプションを使用します。選択されたアイテムが表示される際の順番を指定する場合は、ソートオプションを使用します。

選択基準

選択基準に選択する方法によって、データベースからアイテムが選択される方法が決まります。選択基準には 2 つの方法があります。

- **最高**：Engage によって、現在のセグメント（現在のビジターが属するセグメント）に対して最高のレーティングを持つアセットが選択されます。
- **ランダム**：Engage では、加重ランダムアルゴリズムを使用して、リストからアセットが選択されます。この選択基準を使用すると、メッセージを変更するリコメンデーションを設計して、ビジターがサイトページに戻るたびに最新または異なる推奨アイテムを表示することができます。ただし、これは加重ランダムアルゴリズムであるため、選択内容はアセットのレーティングに基づきます。現在のセグメントに対するアセットのレーティングが高いほど、選択される可能性は高くなります。

たとえば、1 つのアセットにランダム選択基準を使用するリコメンデーションを呼び出すようにコーディングされているテンプレートがあるとします。選択肢には 3 つのプロダクトが含まれています。

アセット	レーティング
Movie 123	95
Movie ABC	87
Movie RedYellowBlue	65

各プロダクトが選択される確率は、そのレーティングをすべてのレーティングの合計（247）で割った値になります。したがって、「Movie 123」が選択される可能性は 38%、「Movie ABC」は 35%、「Movie RedYellowBlue」は 26% となります。

ソートオプション

選択基準の方法によってテンプレートに送るアイテムが決定されたら、ソートオプションでテンプレートにこれらのアイテムを表示する順序が決定されます。

以下のオプションを使用して、選択したアイテムのリストをソートできます。

- **プロダクト属性**：価格、SKU、色などプロダクト（システムで使用されているプロダクト属性によって異なる）のプロダクト属性に基づいてソートされます。
- **コンテンツ属性**：見出し、ファイル名、作成者など（システムで使用されているコンテンツ属性によって異なる）のコンテンツ属性に基づいてソートされます。コンテンツ属性は、ベーシックアセットではなくフレックスアセットを定義するために使用されている属性のみを指します。
- **カスタム属性**：ユーザーが作成したカスタムのフレックス属性に基づいてソートされます。
- **アセットタイプ**：リスト内のアイテムがアセットタイプに基づいてアルファベット順にソートされます。この方法では、詳細なアーティクルアセット (AArticles)、詳細なイメージアセット (Almages)、プロダクトアセットの順にソートされます。降順オプションを選択すると、ソート順が逆になります（プロダクトアセットが最初にソートされます）。
- **確信度**：返されたアイテムが確信度の値に基づいてソートされます。
- **レーティング**：返されたアイテムがレーティングに基づいてソートされます。

注

表示されるプロダクト属性およびコンテンツ属性のカテゴリは、サンプルサイトのデータに基づいています。ソートオプションによって、他の属性カテゴリが表示されることがあります。

リコメンデーションには、必要な数だけソートオプションを追加できます。Engage では、リコメンデーションフォームに表示される順序でこれらのオプションが使用されます。

リコメンテーションアセットタイプ

ここでは、3つのリコメンテーションアセットタイプの概要と各タイプに対するレーティングの算出方法について説明します。204 ページの「[ソート順の設定](#)」を参照してください。

静的リスト

静的リストリコメンテーションアセットには、あらかじめ選択された静的アセットのリストが含まれます。テンプレートによってリコメンテーションが呼び出されると、静的リストのアイテムが返されます。

静的リストリコメンテーションを作成するには、ツリーで選択したアイテムを特定のセグメントに追加します。また、セグメントに追加しないでツリーから静的リストを作成することもできます。

セグメントの静的リストに追加するアイテムごとに、セグメント内およびセグメント外レーティングに対する確信度を割り当てることができます。

これは静的リストリコメンテーションであるため、リストのアイテムは、ユーザーが変更（または、データベースから削除）するまで変わりません。

静的リストのレーティングの算出

テンプレートによって静的リストリコメンテーションが呼び出されても、アイテムの数が指定されていない場合は、レーティングが0のアセットを除外しただけのレーティング算出となります。その結果、現在のビジターに対しては、レーティングが0のアイテムを除くリスト内のすべてのアイテムがリコメンテーションによって返されます。

テンプレートによって静的リストリコメンテーションが呼び出され、かつリコメンテーションリストに含まれているアイテム数よりも少ない数のアイテムが要求された場合は、リコメンテーションで指定された選択基準方法を使用して、返されるアセットが決定されます。

Engage では、以下のようにアセットのレーティングが算出されます。

1. 現在のビジターが属するセグメントが判断されます。
2. リコメンテーションのリスト上の各アイテムを調べて、現在のビジターが属するセグメントに対してレーティングが設定されているアイテムがないかどうか判断されます。
3. 適切なレーティングが設定されているアイテムについては、そのレーティングと（リコメンテーションのリストから参照した）アセットに対する確信度が乗算されます。こうして算出された値がアセットの最終レーティングになります。たとえば、レーティングが 90 で確信度が 75% の場合、最終レーティングは 67.5 (90×0.75) になります。

選択基準方法が最高の場合、Engage では最高の最終レーティングを持つアセットが推奨されます。選択基準方法がランダムの場合、Engage では加重ランダムアルゴリズムを使用して、選択された推奨アイテムが返されます。

動的リスト

動的リストリコメンデーションは、CSElement アセットと呼ばれる特別なアセットを参照します。このアセットは、開発者がエレメントと呼ばれるプログラムの一種としてコーディングしたものです。テンプレートによってリコメンデーションが呼び出されると、エレメントが実行され、エレメントで定義された条件に基づくリストが返されます。たとえば、「New Products」というリコメンデーションを作成して、その参照されたエレメントに過去 5 日以内にデータベースに追加されたプロダクトだけを選択させるように設定することができます。

動的リストリコメンデーションを作成するには、ツリーの CSElement アセット（リスト生成ロジックを含む）を選択します。その後、現在のリスト結果を表示して、選択されたエレメントをテストすることができます。エレメントは、以下の項目を含む特定タイプのリストを返す必要があります。

- アセット名：アセットの名前。サイト内で一意です。
- アセット ID：アセットに対して生成された識別子。
- アセットタイプ：アセットクラスの名前（例：「プロダクト」）。
- 確信度：開発者が算出した値、または Engage によって 1（100%）として割り当てられた値。

名前が示すとおり、この種類のリコメンデーションは動的です。テンプレートによってリコメンデーションが呼び出されるたびに、エレメントが実行され、データベースの現在の状態に基づいたリストが再生成されます。

注

下位互換性のため、既存の SQL リコメンデーションも使用できます。このリコメンデーションでは、アセットタイプ、アセット ID、およびオプションの確信度の値を含む動的結果セットのリストが返されます。ただし、新しい SQL リコメンデーションを使用することはできません。

動的リストのレーティングの算出

テンプレートによって動的リストリコメンデーション呼び出されても、アイテムの数が指定されていない場合は、リコメンデーションによって生成リストから取得したすべてのアイテムが返されます。この場合、レーティングは算出されません。

テンプレートによって動的リストリコメンデーションが呼び出され、かつリコメンデーションリストに含まれているアイテム数よりも少ない数のアイテムが要求された場合は、リコメンデーションで指定された選択基準方法を使用して、返されるアセットが決定されます。

Engage では、以下のようにアセットのレーティングが算出されます。

1. 現在のビジターが属するセグメントが判断されます。
2. エレメントから返された各アイテムを調べて、現在のビジターが属するセグメントに対してレーティングが設定されているアイテムがないかどうか判断されます。

3. 適切なレーティングが設定されている各アイテムについては、そのレーティングと（そのエレメントから参照した）アセットに対する確信度が乗算されます。こうして算出された値がアセットの最終レーティングになります。たとえば、レーティングが 90 で確信度が 0.75 の場合、最終レーティングは 67.5 (90×0.75) になります。

エレメントから確信度の値が返されない場合は、リストの各アイテムに対する確信度値として 1 が割り当てられます。

選択基準方法が最高の場合、Engage では最高の最終レーティングを持つアセットが推奨されます。選択基準の方法がランダムの場合、Engage では加重ランダム選択方法を使用して、選択された推奨アイテムが返されます。

関連アイテム

関連アイテムリコメンデーションには、関係の名前が含まれます。テンプレートによって関連アイテムリコメンデーションが呼び出されると、アイテムが返される（推奨される）のは、現在ページに表示されているアセットとリコメンデーションによって名前の付けられた関係を持つように手動で設定されている場合に限ります。

一般的なアセット間の関係は、クロスセルとアップセルの関係になります。たとえば、「Cross-Sell」という名前の関連アイテムリコメンデーションでは、サスペンス映画を表示するページに西部劇映画のリストが表示されるようになっています。これは、西部劇映画を購入する人はサスペンス映画も購入するとマーケティング担当者が判断したためです。

関連アイテムリコメンデーションを作成するには、リコメンデーションに名前を付け、関連アイテムリコメンデーションであることを指定します。

続いて、他のフレックスアセットと、このリコメンデーションが表す関係を持たせるフレックスアセットを決定する必要があります。フレックスアセットおよびフレックスペアレントアセットフォームを使用して、これらの関係を割り当てます。また、そのリコメンデーションに対するアセットの重み（評価）を示す確信度の値も割り当てます。

テンプレートによってリコメンデーションが呼び出されると、Engage で以下の処理が実行されます。

- 現在表示されているアセットと、リコメンデーションで指定された関係を持つアセットが特定されます。
- これらのアセットに対するレーティングを調べて、現在のビジターに適切なアセットであるかどうか判断されます。

関連アイテムのレーティングの算出

この例では、Movie 123 のプロダクト説明を表示するテンプレートによって、Cross-Sell という名前の関連アイテムリコメンデーションが呼び出されます。Cross-Sell のテンプレートは、Movie 123 とクロスセル関係にある 5 つのアセットを返すように要求します。Engage では、以下の処理が実行されます。

1. 現在のビジターが属するセグメントが判断されます。
2. Movie 123 用のプロダクトフォーム上の [関連アイテム] セクションから、プロダクトプロダクト Cross-Sell リコメンデーション用のプロダクトおよび（または）プロダクトペアレントがリストされているかどうか調べられます。さらに、Movie 123 のすべてのペアレントの関連アイテムも調べられます。
3. すべての映画、および Movie 123 とクロスセル関係にあるプロダクトの仮リストが作成されます（このリストには、ペアレントからこの関係を継承しているプロダクトもすべて含まれます）。このリストでは、各アイテムの確信度の値も決定されます。
4. プロダクトフォーム上の [レーティング] セクションで、仮リストに含まれているすべての映画とプロダクトのレーティングを確認します。
5. 仮リストを制限して、現在のビジターが属するセグメントに対して適用可能なレーティングを持つ映画とプロダクトのみが含まれるようにします。

6. レーティングと、制限されたリストの各プロダクトに対する確信度が乗算されます。

選択基準の方法が最高の場合、Engage では最高の最終レーティングを持つアセットが 5 つ推奨されます。選択基準の方法がランダムの場合、Engage では加重ランダム選択方法を使用して、選択した推奨アイテム 5 つが返されます。

リコメンデーションアセットの作成

ここでは、3 種類のリコメンデーションアセットを作成する方法について説明します。

静的リストリコメンデーションの作成

静的リストリコメンデーションを作成するときには、リコメンデーションモードまたはリストモードが選択できます。

リストモードには、リコメンデーションモードに用意されているマーケティングオプション（レーティング、選択基準、ソート順）がないため、簡単な静的リストが作成できます。リストモードの静的リストリコメンデーションがテンプレートによって呼び出されたときには、常にリスト内のすべてのアセットが表示されます（表示順はユーザーが指定します）。リコメンデーションモードの静的リストリコメンデーションがテンプレートによって呼び出されたときには、アセットの表示順は、リスト内の順序ではなく、セグメントとレーティングによって決まります。さらに、セグメントとレーティングを適用することによって、リスト内のアセットの一部がフィルタによって排除されてしまう場合があります。

静的リストリコメンデーションを作成するには（リコメンデーションモード）

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [新規] をクリックします。
3. アセットタイプのリストから [New Recommendation] を選択します。

[Recommendation] フォームが表示されます。

Recommendation

名前	タイプ	オプション	作成	選択	ソート
----	-----	-------	----	----	-----

*名前:

説明:

サブタイプ:

テンプレート:

モード: リスト リコメンデーション

4. [名前] フィールドに、固有でわかりやすいリコメンデーション名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を入力できます。先頭には必ず文字を指定してください。

5. [説明] フィールドに、リコメンデーションの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
6. [サブタイプ] フィールドで、ドロップダウンリストからサブタイプを選択します。サブタイプは、リコメンデーションを分類する方法の 1 つです。開発者がリコメンデーションアセットタイプに対するサブタイプを定義していない場合、ドロップダウンリストは空白です。
7. [テンプレート] フィールドで、ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。

注

このフィールドにドロップダウンリストが表示されない場合は、リコメンデーションに対するテンプレートが作成されていません。リコメンデーションのテンプレート作成については、開発者に問い合わせてください。

8. [モード] セクションで、[リコメンデーション] ラジオボタンを選択します。
9. [続行] をクリックして、作成するリコメンデーションのタイプを選択します。または、フォームのタイトルの下にある [タイプ]。

[タイプ] フォームが表示されます。

名前	タイプ	作成	選択	ソート
リコメンデーションタイプ:	<input type="radio"/> 関連アイテム(エレメントによって生成) <input checked="" type="radio"/> 静的リスト(必要に応じてセグメント別) <input type="radio"/> 動的リスト(エレメントによって生成)			

10. [静的リスト] を選択してから、[続行] をクリックしてリコメンデーションのオプションを設定します。または、フォームのタイトルの下にある [オプション]。
[オプション] フォームが表示されます。

Recommendation: クライアントからのリコメンデーション

名前 タイプ オプション 作成 選択 ソート

オプション:

返されたアセットの子アセットを戻します。

返されたアセットの子アセットを戻さないでください。

プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできます。

プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできません。

このリコメンデーションはすべてのアセットタイプに適用されます。

このリコメンデーションは次のアセットタイプに適用されます:

Article (Flex)

Attribute Editor

CSElement

Collection

Content Attribute

Content Definition

Content Parent

Content Parent Definition

History Attribute

History Definition

追加

消去

キャンセル 保存 続行

11. リコメンデーションの目的に合ったオプションを設定して、[続行] をクリックしてリコメンデーションを作成します。または、フォームのタイトルの下にある [作成] からリコメンデーションの作成ができます。
[作成] フォームが表示されます。

Recommendation: クライアントからのリコメンデーション

名前 タイプ オプション 作成 選択 ソート

静的リスト:

新しい静的リスト: <セグメントの選択>

セグメントを適用しない場合:

アイテム名	確信度
--アイテムが指定されていません--	

選択したアイテムの追加

ヒント: ツリーでアイテムを選択してから[選択したアイテムの追加]をクリックします。

キャンセル 保存 続行

12. 以下の方法で静的リストを作成します。
- a. ドロップダウンリストからセグメントを選択します。
 - b. ツリーから、このセグメントのリストに表示するアイテムを選択して、[選択したアイテムの追加] をクリックします。
ツリーがオフになっている場合は、[選択したアイテムの追加] ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップ

アップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択できます。

- c. 各アイテムのセグメント内とセグメント外両方に対する確信度の値を割り当てます。これらは、現在のビジターがセグメントのメンバーである場合とメンバーではない場合に、リコメンデーションによって返されるアセットが決定される時の加重要素となるものです。デフォルトの値は、セグメント内が 100%、セグメント外が 0% です。詳細については、[183 ページの「レーティングおよび確信度について」](#)を参照してください。
- d. さらに、リストにセグメントを追加するには、手順 a、b、c を繰り返します。一度選択されたセグメントは、ドロップダウンリストに表示されなくなります。
- e. (オプション) アイテムを選択して、[セグメントを適用しない場合] カテゴリに追加します。必要に応じて確信度の値を割り当てます。

完成したフォームは、以下のように表示されます。

セグメント: Bffrequentvisitors

アイテム名	セグメント確信度 内	セグメント確信度 外
<input type="checkbox"/> Income (Class A, Max Load) (Products)	100 %	<input type="text"/> %
<input type="checkbox"/> Industrial Sector (Products)	100 %	<input type="text"/> %

ヒント: ツリーでアイテムを選択してから[選択したアイテムの追加]をクリックします。

セグメント: highriskinvestors

アイテム名	セグメント確信度 内	セグメント確信度 外
<input type="checkbox"/> Energy Sector (Products)	100 %	<input type="text"/> %
<input type="checkbox"/> Communications (Products)	100 %	<input type="text"/> %

ヒント: ツリーでアイテムを選択してから[選択したアイテムの追加]をクリックします。

セグメントを適用しない場合:

アイテム名	確信度
<input type="checkbox"/> Tax-Managed U.S. 5-10 Value (Products)	100 %
<input type="checkbox"/> Small Cap Growth (Products)	100 %

13. [続行] をクリックして、選択基準を設定します。または、フォームのタイトルの下にある [選択] から設定できます。

[選択基準] フォームが表示されます。

名前	タイプ	オプション	作成	選択	ソート
選択基準:	<input type="radio"/>	ランダム(レーティングによる重み付け)		<input checked="" type="radio"/>	
	<input type="radio"/>	最高レーティング			

14. リコメンデーションによってアイテムが選択される方法を選択します。これらの方法については、[186 ページの「選択基準」](#)を参照してください。

15. [続行] をクリックして、ソート基準を設定します。または、フォームのタイトルの下にある [ソート] から設定できます。204 ページの「ソート順の設定」の説明に従ってソート基準を設定します。
16. ソート基準の設定が終了したら、[保存] をクリックしてアセットの作成を完了します。各段階で [保存] をクリックして、段階ごとにアセットを保存することもできます。

静的リストリコメンデーションを作成するには (リストモード)

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [新規] をクリックします。
3. アセットタイプのリストから [New Recommendation] を選択します。
[Recommendation] フォームが表示されます。

The screenshot shows the 'Recommendation' form with the following fields and options:

- 名前:** 個別リコメンデーションリスト
- 説明:** 個別リコメンデーションリストの詳細
- サブタイプ:** (サブタイプなし)
- テンプレート:** Recommendation_Template
- モード:** リスト, リコメンデーション

Buttons at the bottom: キャンセル, 保存, 続行

4. [名前] フィールドに、固有でわかりやすいリスト名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を使用できます。先頭には必ず文字を指定してください。
5. [説明] フィールドに、リストの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を使用できます。
6. [サブタイプ] フィールドで、ドロップダウンリストからサブタイプを選択します。サブタイプは、リストを分類する方法の 1 つです。開発者がリストアセットタイプに対するサブタイプを定義していない場合、ドロップダウンリストは空白です。
7. [テンプレート] フィールドで、ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。

注

このフィールドにドロップダウンリストが表示されない場合は、リコメンデーションに対するテンプレートが作成されていません。リコメンデーションのテンプレートの作成については、開発者に問い合わせてください。

8. [モード] セクションで、[リスト] ラジオボタンを選択します。

9. [続行] をクリックして、リストのオプションを設定します。または、フォームのタイトルの下にある [オプション] できます。
[オプション] フォームが表示されます。

Recommendation: 個別リコメンデーションリスト

名前 オプション 作成

オプション:

- 隠されたアセットの子アセットを戻します。
- 隠されたアセットの子アセットを戻さないでください。

- プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできます。
- プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできません。

- このリコメンデーションはすべてのアセットタイプに適用されます。
- このリコメンデーションは次のアセットタイプに適用されます:

<ul style="list-style-type: none"> Article (Flex) Attribute Editor CSElement Collection Content Attribute Content Definition Content Parent Content Parent Definition History Attribute History Definition 	<div style="margin-bottom: 5px;">▶ 追加</div> <div style="margin-bottom: 5px;">◀ 消去</div>
--	---

キャンセル 保存 続行

10. リストの目的に合ったオプションを設定して、[続行] をクリックしてリストを作成します。または、フォームのタイトルの下にある [作成] からリストの作成ができます。
[作成] フォームが表示されます。

Recommendation: 個別リコメンデーションリスト

名前 オプション 作成

静的リスト:

アイテム名

▶ 選択したアイテムの追加

◀ 消去

表示
順序:

▲

▼

キャンセル 保存

11. ツリーで、リストに含めるアセットを選択して、[選択したアイテムの追加] ボタンをクリックします。[アイテム名] リストからアイテムを選択してから上下矢印ボタンをクリックする方法でも、アイテムの順序を変更できます。
12. [保存] をクリックします。

動的リストリコメンデーションの作成

事前に、設計者および開発者と、作成するリコメンデーションから呼び出す CSElement アセットについて話し合ってください。

動的リストリコメンデーションを作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [新規] をクリックします。
3. アセットタイプのリストから [New Recommendation] を選択します。

[Recommendation] フォームが表示されます。

Recommendation

名前 > タイプ > オプション > 作成 > 選択 > ソート

*名前:

説明:

サブタイプ: (サブタイプなし) ▼

テンプレート: Recommendation_Template ▼

モード: リスト リコメンデーション

キャンセル 保存 続行

4. [名前] フィールドに、固有でわかりやすいリコメンデーション名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を使用できます。先頭には必ず文字を指定してください。
5. [説明] フィールドに、リコメンデーションの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を使用できます。
6. [サブタイプ] フィールドで、ドロップダウンリストからサブタイプを選択します。サブタイプは、リコメンデーションを分類する方法の 1 つです。開発者がリコメンデーションアセットタイプに対するサブタイプを定義していない場合、ドロップダウンリストは空白です。
7. [テンプレート] フィールドで、ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。

注

このフィールドにドロップダウンリストが表示されない場合は、リコメンデーションに対するテンプレートが作成されていません。リコメンデーションのテンプレートの作成については、開発者に問い合わせてください。

8. [モード] で、[リコメンデーション] ラジオボタンを選択します。
9. [続行] をクリックして、作成するリコメンデーションのタイプを選択します。または、フォームのタイトルの下にある [タイプ]。

[タイプ] フォームが表示されます。

名前	タイプ	オプション	作成	選択	ソート
リコメンデーションタイプ:					
<input type="radio"/> 関連アイテム(アセットフォームで定義)					
<input type="radio"/> 静的リスト(必要に応じてセグメント別)					
<input checked="" type="radio"/> 動的リスト(エレメントによって生成)					

10. [動的リスト] を選択してから、[続行] をクリックしてリコメンデーションのオプションを設定します。または、フォームのタイトルの下にある [オプション] から設定できます。
[オプション] フォームが表示されます。

Recommendation: クライアントからのリコメンデーション

名前	タイプ	オプション	作成	選択	ソート												
オプション:																	
<input checked="" type="radio"/> 返されたアセットの子アセットを戻します。																	
<input type="radio"/> 返されたアセットの子アセットを戻さないでください。																	
<input checked="" type="radio"/> プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできます。																	
<input type="radio"/> プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできません。																	
<input checked="" type="radio"/> このリコメンデーションはすべてのアセットタイプに適用されます。																	
<input type="radio"/> このリコメンデーションは次のアセットタイプに適用されます:																	
<table border="1"> <tr> <td>Article (Flex)</td> <td rowspan="11"> <input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="消去"/> </td> <td rowspan="11"> <div style="border: 1px solid gray; width: 100px; height: 100px;"></div> </td> </tr> <tr><td>Attribute Editor</td></tr> <tr><td>CSElement</td></tr> <tr><td>Collection</td></tr> <tr><td>Content Attribute</td></tr> <tr><td>Content Definition</td></tr> <tr><td>Content Parent</td></tr> <tr><td>Content Parent Definition</td></tr> <tr><td>History Attribute</td></tr> <tr><td>History Definition</td></tr> </table>						Article (Flex)	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="消去"/>	<div style="border: 1px solid gray; width: 100px; height: 100px;"></div>	Attribute Editor	CSElement	Collection	Content Attribute	Content Definition	Content Parent	Content Parent Definition	History Attribute	History Definition
Article (Flex)	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="消去"/>	<div style="border: 1px solid gray; width: 100px; height: 100px;"></div>															
Attribute Editor																	
CSElement																	
Collection																	
Content Attribute																	
Content Definition																	
Content Parent																	
Content Parent Definition																	
History Attribute																	
History Definition																	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="続行"/>																	

11. リコメンデーションの目的に合ったオプションを設定して、[続行] をクリックしてリコメンデーションを作成します。または、フォームのタイトルの下にある [作成] からリコメンデーションの作成ができます。
[作成] フォームが表示されます。

名前	タイプ	作成	選択	ソート
エレメント: -- エレメントが指定されていません --				
<input type="button" value="選択したエレメントの追加"/>				
ヒント: ツリーでエレメントを1つ選択してから [選択したエレメントの追加] をクリックします。				

12. ツリーの [Design] タブから、実行する CSElement アセットを選択して、[選択したエレメントの追加] をクリックします。ここでは、1つのエレメントしか選択できません。

ツリーがオフになっている場合は、[選択したエレメントの追加] ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からエレメントを選択できます。

以下のようなフォームが表示されます。

名前 タイプ 作成 選択 ソート

エレメント: DynamicList

ヒント: ツリーでエレメントを1つ選択してから[選択したエレメントの更新]をクリックします。

ヒント: 選択したエレメントによって生成されたリストを参照するには、[表示結果]をクリックします。

13. CSElement アセットを変更する場合は、別のアセットを選択してから [選択したエレメントの更新] をクリックすると、リスト内のアイテムと置き換えることができます。エレメントから生成されるリストを表示するには、[表示結果] をクリックします。

以下のようなフォームが表示されます。

ヒント: ツリーでエレメントを1つ選択してから[選択したエレメントの更新]をクリックします。

ヒント: 選択したエレメントによって生成されたリストを参照するには、[表示結果]をクリックします。

結果:

アセット名	アセットID	アセットタイプ	確信度
Income (Class A, Max Load)	993403844495	Products	100.0%
Domestic Equity Portfolio	993403844773	Products	100.0%
Emerging Markets Equity Fund	993403845336	Products	100.0%
Small Cap	993403845588	Products	100.0%
Mid Cap Stock Fund	993403845840	Products	100.0%
Global Fund	993403846085	Products	100.0%
EastSouth Fund	993403846326	Products	100.0%
Tech Titans	993403846578	Products	100.0%
Financial Titans Fund	993403846823	Products	100.0%
Large Cap Growth (Class A, Max Load)	993403847128	Products	100.0%
International Titan Funds	993403847744	Products	100.0%
Ero Titans	993403847970	Products	100.0%
Worldwide Spectrum	993403848918	Products	100.0%
Small Cap (Class A, Max Load)	993403849555	Products	100.0%
Convertible Bond	993403849979	Products	100.0%
Small Cap Growth	993403850319	Products	100.0%
DJ Index	993403851044	Products	100.0%
Ultra Risk Int'l	993403851295	Products	100.0%
Small Gain Tax Hedge	993403851802	Products	100.0%
Energy Sector	993403852228	Products	100.0%
Financial Services Specialty	993403852438	Products	100.0%
Health Care	993403852646	Products	100.0%
Communications	993403853236	Products	100.0%
Utilities Specialist	993403853448	Products	100.0%
International Index Fund	993403854142	Products	100.0%
Select Industrial Equipment	993403855059	Products	100.0%
Tax-Managed U.S. 5-10 Value	993403855278	Products	100.0%
Doculab Super Fund	993559376745	Products	100.0%

リストは動的であるため、テンプレートによってリコメンデーションが呼び出されたときにデータベース内のアセットが変更されている場合は、リストの内容も変化することになります。ツリーから別の CSElement アセットを選択すると、現在表示されているリスト結果は消去されます。

[表示結果] をクリックしたときに、以下のような状況が発生する可能性があります。

- エレメントから必要なリストタイプが返されない。
- 返されたリストに必須の列が表示されていない。
- エレメントで表示エラーが発生した。
- エレメントからアセットが返されない (必ずしもエラーではありません。必要なアセットが存在していない可能性もありますので、管理者に問い合わせてください)。

このような状況が発生した場合は、別の CSElement アセットを選択して再試行してみるか、CSElement ロジックが正しく設定されているかどうかを調べてください。

14. [続行] をクリックして、選択基準を設定します。または、フォームのタイトルの下にある [選択] できます。

[選択基準] フォームが表示されます。

15. リコメンデーションによってアイテムが選択される方法を選択します。これらの方法については、[186 ページの「選択基準」](#)を参照してください。
16. [続行] をクリックして、ソート基準を設定します。または、フォームのタイトルの下にある [ソート] から設定できます。[204 ページの「ソート順の設定」](#)の説明に従ってソート基準を設定します。
17. ソート基準の設定が終了したら、[保存] をクリックしてアセットの作成を完了します。各段階で [保存] をクリックして、段階ごとにアセットを保存することもできます。

関連アイテムリコメンデーションの作成

関連アイテムリコメンデーションを作成するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの [新規] をクリックします。
3. アセットタイプのリストから [New Recommendation] を選択します。

[Recommendation] フォームが表示されます。

4. [名前] フィールドに、固有でわかりやすいリコメンデーション名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を使用できます。先頭には必ず文字を指定してください。
5. [説明] フィールドに、リコメンデーションの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を使用できます。

6. [サブタイプ] フィールドで、ドロップダウンリストからサブタイプを選択します。サブタイプは、リコメンデーションを分類する方法の 1 つです。開発者がリコメンデーションアセットタイプに対するサブタイプを定義していない場合、ドロップダウンリストは空白です。
7. [テンプレート] フィールドで、ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。
8. [モード] で、[リコメンデーション] ラジオボタンを選択します。

注

このフィールドにドロップダウンリストが表示されない場合は、リコメンデーションに対するテンプレートが作成されていません。リコメンデーションのテンプレート作成については、開発者に問い合わせてください。

9. [続行] をクリックして、作成するリコメンデーションのタイプを選択します。または、フォームのタイトルの下にある [タイプ] から選択できます。[タイプ] フォームが表示されます。

名前	タイプ	作成	選択	ソート		
リコメンデーションタイプ:	<input checked="" type="radio"/>	関連アイテム(エレメントによって生成)	<input type="radio"/>	静的リスト(必要に応じてセグメント別)	<input type="radio"/>	動的リスト(エレメントによって生成)

10. **【関連アイテム】** を選択してから、**【続行】** をクリックしてリコメンデーションのオプションを設定します。または、フォームのタイトルの下にある **【オプション】** から設定できます。
【オプション】 フォームが表示されます。

Recommendation: クライアントからのリコメンデーション

名前 タイプ オプション 作成 選択 ソート

オプション:

返されたアセットの子アセットを戻します。
 返されたアセットの子アセットを戻さないでください。

プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできます。
 プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできません。

このリコメンデーションはすべてのアセットタイプに適用されます。
 このリコメンデーションは次のアセットタイプに適用されます:

Article (Flex)
 Attribute Editor
 CSElement
 Collection
 Content Attribute
 Content Definition
 Content Parent
 Content Parent Definition
 History Attribute
 History Definition

追加
 消去

キャンセル 保存 続行

11. リコメンデーションの目的に合ったオプションを設定してください。このリコメンデーションタイプに対する作成手順はないため、フォームのタイトルの下にある **【選択】** から **【選択基準】** フォームに進みます。誤って **【作成】** または **【続行】** をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

名前 タイプ 作成 選択 ソート

リコメンデーションタイプ「関連アイテム」に作成ステップがありません。
 関連アイテムはアセットフォームで定義されています。

12. **【続行】** をクリックして、**【選択基準】** を設定します。または、フォームのタイトルの下にある **【選択】** から設定できます。

【選択基準】 フォームが表示されます。

名前 タイプ 作成 選択 ソート

選択基準: ランダム(レーティングによる加重)
 最高レーティング

13. リコメンデーションによってアイテムが選択される方法を選択します。これらの方法については、[186 ページの「選択基準」](#) を参照してください。
14. **【続行】** をクリックして、**【ソート基準】** を設定します。または、フォームのタイトルの下にある **【ソート】** から設定できます。[204 ページの「ソート順の設定」](#) の説明に従ってソート基準を設定します。

15. ソート基準の設定が終了したら、[保存] をクリックしてアセットの作成を完了します。各段階で [保存] をクリックして、段階ごとにアセットを保存することもできます。

これで、フレックスアセットおよびフレックスペアレントアセットに対するリコメンデーションリストに、このリコメンデーションが表示されるようになります。フレックスアセットに対する関係の設定もできます。詳しくは、[209 ページ](#)の「[フレックスアセットの関係の設定](#)」を参照してください。

ソート順の設定

リコメンデーションのソート順を設定する手順は、3 種類とも同じです。

リコメンデーションのソート順を設定するには

1. 選択基準フォームから [続行] をクリックして、ソート基準を設定します。または、フォームのタイトルの下にある [ソート] できます。

[ソート基準] フォームが表示されます。

新規 Recommendation: Special Funds

名前 タイプ 作成 選択 **ソート**

新しいソート基準:

属性タイプ	属性	指示
<タイプの選択>	<属性の選択>	<input checked="" type="radio"/> 昇順
		<input type="radio"/> 降順

ソート基準の追加

ソート基準:

キャンセル 保存

2. [属性タイプ] フィールドで、以下のいずれかを選択します。
 - プロダクト属性を基準にソートする場合は、[Product Attribute] を選択します。
 - コンテンツ属性を基準にソートする場合は、[Content Attribute] を選択します。
 - アセットタイプ、確信度、レーティングを基準にソートする場合は、[特別] を選択します。

注

表示されるプロダクト属性およびコンテンツ属性のカテゴリは、サンプルサイトのデータに基づいています。ソートオプションによって、他の属性カテゴリが表示されることがあります。

これらのオプションの詳細については、[187 ページ](#)の「[ソートオプション](#)」を参照してください。

3. [属性] フィールドに表示される リストのアイテムは、[属性タイプ] フィールドで選択したオプションによって異なります。

- [Product Attribute] を選択した場合、このフィールドには、データベース内のすべてのプロダクト属性が一覧表示されます。
 - [Content Attribute] を選択した場合、このフィールドには、フレックスコンテンツアセットに対するすべてのコンテンツ属性（ベーシックコンテンツアセットに対する属性ではない）が一覧表示されます。
 - [特別] を選択した場合、このフィールドには `_ASSETTYPE_`、`_CONFIDENCE_`、`_RATING_` が表示されます。ドロップダウンリストからオプションを選択します。
4. [指示] フィールドでは、ソートを昇順または降順のどちらで実行するかを選択します。
 5. [ソート基準の追加] をクリックします。基準がフォームの下部に表示されます。
 6. (オプション) さらに、基準を追加するには、手順 2 ~ 5 を繰り返します。新しいソート基準は、Engage に実行させるソート順に追加してください。
 7. ソート基準の設定が終了したら、[保存] をクリックしてアセットの作成を完了します。各段階で [保存] をクリックして、段階ごとにアセットを保存することもできます。

リコメンデーションアセットの編集

リコメンデーションアセットを編集するには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 編集するアセットを検索します。
3. [編集] フォームにアセットを表示します。

Recommendation: 個別リコメンデーション

キャンセル 変更の保存

*名前: 個別リコメンデーション

説明: 個別リコメンデーションの詳細

サブタイプ: <サブタイプなし>

テンプレート: Recommendation_Template

モード: リスト リコメンデーション

オプション: 変更

返されたアセットの子アセットを戻します。
プロモーションはこのリコメンデーションを上書きできます。
このリコメンデーションはすべてのアセットタイプに適用されます。

タイプ: 静的リスト 変更

静的リスト: 変更

セグメントを適用しない場合:
アイテム名 確信度
-- アイテムが指定されていません --

選択基準: 最高レーティング 変更

ソート基準: 変更

作成日: 2004-07-23 12:09:21、admin
変更日: 2004-07-23 12:09:21、更新者 admin

キャンセル 変更の保存 続行

4. 編集領域の横にある [変更] をクリックします。たとえば、ソート基準を編集する場合は同列右側にあるボタンをクリックします。リコメンデーションウィザードで現在の選択内容を示す [ソート基準] フォームが再表示されます。

編集 Recommendation: Special Funds

名前 タイプ 作成 選択 ソート

新しいソート基準:

属性タイプ	属性	指示
<タイプの選択>	<属性の選択>	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順

ソート基準の追加

ソート基準:

属性タイプ	属性	指示
1. PAttributes	FundManager	昇順
2. PAttributes	FundInception	降順

キャンセル Save変更の保存

5. 編集後、[変更の保存] をクリックして操作を完了します。アセットの [調査] フォームが再表示されます。

SQL リコメンデーション

Engage の旧バージョンで作成した SQL リコメンデーションがある場合、このバージョンでも使用および編集することはできますが、新しい SQL リコメンデーションを作成することはできません。

1. [編集] フォームに既存の SQL リコメンデーションを開いて、タイプの選択段階に進むと、以下のように選択肢に [SQL クエリー] が表示されます。

名前	タイプ	作成	選択	ソート
リコメンデーションタイプ:				
<input type="radio"/>	関連アイテム(エレメントによって生成)			
<input type="radio"/>	静的リスト(必要に応じてセグメント別)			
<input type="radio"/>	動的リスト(エレメントによって生成)			
<input checked="" type="radio"/>	SQLクエリー			

このオプションはセッション中有効です。タイプを変更後、アセットを保存してもう一度 [編集] フォームに表示すると、[SQL クエリー] はタイプの選択肢として表示されなくなります。

2. [続行] をクリックして、クエリーを編集します。または、フォームのタイトルの下にある [作成] 編集できます。

[作成] フォームが表示されます。

名前	タイプ	作成	選択	ソート
SQLクエリー:				
	<pre>select * from Products where status!='VO'</pre>			

3. SQL でのコーディング方法に詳しい場合は、必要に応じてクエリーを編集するか、開発者の指示に従います。終了したら、[変更の保存] をクリックします。アセットの [調査] フォームが再表示されます。

推奨されるアセットの設定

次のステップでは、カタログを利用して、リコメンデーションで購入するアセットに対するセグメントレーティングおよびアセットの関係を設定します。具体的には、以下の操作を実行するときに、Content Server の標準インターフェイスでフレックスアセットおよびフレックスペアレントアセットフォームを使用する必要があります。

- 各セグメントのメンバーに対するアセットおよびペアレントアセットの重要度をレーティングします。
- 関連アイテムリコメンデーションによって表されるアセットの関係を設定します。

アセットに対するレーティングの割り当て

個々のフレックスアセットまたはフレックスペアレントにレーティングを割り当てることができます。FatWire では、以下の理由から、アセットペアレントを使用してレーティングを割り当てることお勧めしています。

- 複数のアセットがグループに属している場合、複数のアセットに対するレーティングを管理しやすくなります。実際には、子アセットにレーティングを割り当てることだけを目的としたフレックスペアレントを作成しておくのが便利です。これによって、レーティング条件が同じアセットをすべて同じペアレントを持つ子にすることができます。そうすると、すべての子アセットに対するレーティングを一括変更できるようになります。
- アセットグループ同士のレーティング比較する方が、個々のアセットのレーティングを比較するより簡単です。
- 個別レーティングを持つアセットの数が少なくなるため、レーティングをすばやく算出できます。これによって、システムのパフォーマンスが向上します。

レーティングを、特定の環境下で特定のフレックスアセットのプロモーションを試行する目的には使用しないでください。そのような場合には、静的リストリコメンデーションまたは専用のプロモーションを使用します。

レーティングの割り当てを開始する前に、以下のタスクを完了していることを確認してください。

- セグメントを調べて、それらがどのように定義されているかを把握すること。フレックスペアレントの各セグメントに対する重要度を判断すること。
- サイト開発者が、レーティングが指定されていないアセットに対するシステムデフォルトレーティングを変更したかどうかを確認すること。システムデフォルトレーティングが変更されていない場合、デフォルトレーティングは 50 です。このレーティングは、レーティング評価の平均または中間点を示すものです。この値を基準にして、アセットのレーティングを行うようにしてください。たとえば、アセットのレーティングがシステムデフォルトレーティングより低いと、そのアセットはサイトのビジターに推奨される可能性がほとんどなくなってしまいます。

アセットにレーティングを割り当てるには

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 割り当てるセグメントレーティングを持つフレックスアセットまたはフレックスペアレントを検索して選択します。
3. アセットの [編集] フォームで、[レーティング] リストが表示されるまでスクロールします。ここには、このサイト用に作成されているすべてのセグメントが表示されます。以下に例を示します。

レーティング:	セグメント	セグメント内	セグメント外
	Classic Movie Segment	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	Comedy Segment	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	Horror Movie Segment	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	Indie Movie Segment	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	セグメント適用外ユーザーのレーティング	<input type="text"/>	

4. 0 ~ 100 の範囲（100 が最高値）で、リスト内のセグメントに対してこのアセットをレーティングします。

- このセグメントのメンバーに対してアセットをレーティングするには、セグメントの [セグメント内] 列に値を入力します。
- このセグメントのメンバーではないビジターに対してアセットをレーティングするには、セグメントの [セグメント外] 列に値を入力します。
- 特定のレーティングが指定されていないセグメントに対してアセットをレーティングするには、[セグメント適用外ユーザーのレーティング] フィールドに値を入力します。適用するセグメントレーティングがない場合、この値はアセットの固有値を示します。

レーティングの詳細については、[183 ページの「レーティングおよび確信度について」](#)を参照してください。

5. [変更の保存] をクリックします。

これで、このアセットにセグメントレーティングが割り当てられました。

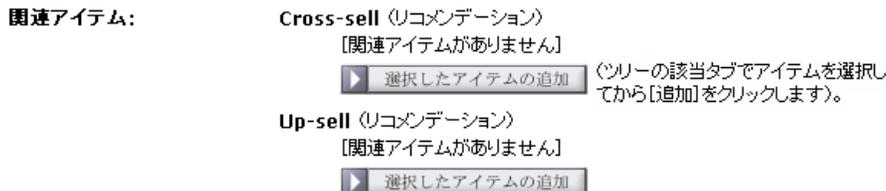
フレックスアセットの関係の設定

設定を開始する前に、以下のタスクを完了していることを確認してください。

- 開発者に、各関連アイテムリコメンデーション（が表す関係）について説明してもらうこと。
- リコメンデーションが、プロダクトフレックスアセットの組み合わせ（例：プロダクトとコンテンツアセット）を表示するようにプログラムされているかどうかを確認すること。プログラムされていないと、正しく関係を設定できません。

アセット間の関係を設定するには

1. Content ログインして、Server の標準インターフェイスを開きます。
2. 設定する関連アイテムの関係を持つフレックスペアレントを検索して選択します。
3. ペアレントの [編集] フォームで、[関連アイテム] リストが表示されるまでスクロールします。以下に例を示します。



4. ツリーで、関係を設定するフレックスアセットに対する適切なタブを選択します。Burlington Financial サンプルサイトでは、[Product] タブを選択します。
5. [Product] タブで、フレックスアセットまたはフレックスペアレントをクリックして選択します。複数のアセットを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか（隣接しないアセットを選択する場合）、Shift キーを押しながらクリックします（隣接したアセットを選択する場合）。
6. [編集] フォームで、この関係を定義するリコメンデーションの名前の下にある [選択したアイテムの追加] をクリックします。

ツリーがオフになっている場合は、[選択したアイテムの追加] ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択できます。

リコメンデーションの下にアセットが表示されます。

7. アセットまたはアセットペアレントの横にある [確信度] に、この関係の重み（重要度）を示す値をパーセント単位で指定します。フィールドに、0～100 の範囲でパーセント値を入力します。0 を入力したり、フィールドに値を入力しないで空白にすると、このアセットはリコメンデーションから除外されます。以下に例を示します。



8. リスト内のすべてのアイテムに対して、[ステップ 7](#) を繰り返します。
9. このアセットに適用されるすべてのリコメンデーションに対して、[手順 4～8](#) を繰り返します。
10. [変更の保存] をクリックします。

これで、このアセットにアセットの関係が割り当てられました。

リコメンデーションアセットの検証

リコメンデーションアセットが正しく設定されていることを確認するには、以下の手順を実行します。

- テストセグメントを数種類作成します。

- フレックスアセットおよびフレックスペアレントアセットフォーム（例：プロダクトとプロダクトペアレント）で、セグメントに対するレーティングを割り当てます。
- ビジターとしてサイトを閲覧して、テストセグメントに適格者として分類されるように登録します。
- リコメンデーションアセットから返されるアイテムを調べます。
- 問題がある場合は、開発者に問題の部分を取り除いたテストページを作成するように依頼してください。

サンプルリコメンデーションアセット

Engage と Burlington Financial Extensions を合わせてインストールすると、以下の 4 つのサンプルリコメンデーションアセットもインストールされます。

- BF Frequent Visitors
- General Funds
- New High Risk Investors
- Similar Funds

これらのサンプルアセットは、ツリーの [Marketing] タブに表示されます。これらのリコメンデーションは、[Marketing] タブにも表示されるサンプルセグメントおよびプロモーションアセットと連動して動作するように設計されています。これらのサンプルリコメンデーションをコンテキストとして使用すると、サイト用のリコメンデーションアセットを作成および設定できます。

レーティングされたフレックスアセットのパブリッシュ

フレックスペアレントにレーティングを割り当てて、それらの関係の設定が完了したら、アセットを配信システムにパブリッシュできるように承認する必要があります。レーティングおよび関係は、アセットがパブリッシュされた後で有効になります。

アセットの承認の詳細については、[第 5 章 「パブリッシュ」](#) を参照してください。

第 11 章

プロモーションの作成

プロモーションは、ビジターが購入しようとしている製品やビジター属しているセグメントに基づいて、ビジターに価値や割引を提供するマーチャンダイジングアセットです。

この章では、プロモーションの概要とプロモーションを作成する手順について説明します。この章は、以下の節から構成されています。

- [プロモーションについて](#)
- [プロモーションの作成](#)
- [サンプルプロモーションアセット](#)
- [プロモーションのパブリッシュ](#)

プロモーションについて

プロモーションとは、ビジターが属しているセグメントや購入しようとしている製品または表示した製品に基づいて、サイトのビジターや顧客に一種の価値を提供することです。この価値は、以下のようなさまざまな方法で提供することができます。

- プロモーション対象製品の購入価格を割引する。
- ショッピングカートの合計額を割引する。
- 送料を割引する。
- 複数の割引（送料の割引+製品の購入価格またはショッピングカート合計額の割引）を組み合わせる

マーケティング担当者は、以下の基準を使用してプロモーションを定義します。

- プロモーションの適格者となるセグメントメンバー。プロモーションの対象者は、ビジター全員または選択したセグメントのビジターのみ。
- プロモーション対象製品。
- プロモーション対象製品を購入する顧客に提供する価値。
- プロモーションの期間。
- ビジターにプロモーションについて通知するサイトページに表示される文字やグラフィック。
- 通知する場所。プロモーションは、通常リコメンデーションが表示されるライブパブリックサイトページに置き換わる形で表示されます。

プロモーションおよびリコメンデーションについて

リコメンデーションアセットは、すべてのプロモーションコンテンツを配信するメカニズムです。プロモーションアセットを作成するときには、リコメンデーションアセットを選択して、プロモーションを表示する場所を決定します。プロモーションには、リコメンデーションに割り当てられていたテンプレートが使用され、通常リコメンデーションが表示される場所に置き換わる（上書きされる）形で表示されます。

そのため、Engage では、テンプレートからリコメンデーションが要求されると、そのリコメンデーションを上書きするプロモーションが存在しないかどうか自動的にチェックされます。存在する場合は、プロモーションがリコメンデーションのテンプレートに返されて、テンプレートにはリコメンデーションの代わりにプロモーションが表示されます。

プロモーションが重複している場合

複数のプロモーションに対して同じリコメンデーションが使用される場合があります。ここで、ビジター複数のプロモーションの対象者となるビジターが存在し、それらのプロモーションには同じリコメンデーションが使用されている場合を考えてみましょう。以下の例でわかりやすく説明します。

例プロモーションの重複

同時進行している 2 つのプロモーションがあり、同じリコメンデーションが上書きされます。

質問：2つのプロモーションのうち、1つのプロモーションしか表示されていませんでした。このような場合、購入者は請求書の合計額について正しく理解できますか。

回答：マーケティング担当者がプロモーションを適切に作成していれば、Engage 割引フォームに割引に対する説明が入力されているはずです。請求書には、割引が適用されたアイテムの横にその説明が印刷されるようになっていきます。

プロモーションの作成

プロモーションを作成する前に、以下のタスクを完了していることを確認してください。

- サイト開発者に、システム内のすべてのリコメンデーションのリストと、各リコメンデーションが表示されるようにプログラミングされている場所を確認します。
- 特定のセグメントに適用されるプロモーションを作成する場合は、そのセグメントについてもマーケティング担当者が作成する必要があります。

ステップ 1 プロモーションの名前付けと定義

1. ログインして、Content Server の標準インターフェイスを開きます。
2. ボタンバーの**新規**をクリックして、作成可能なアセットタイプのリストを作業領域に表示します。
3. リストから **Promotions** を選択します。リストに **Promotions** が表示されない場合は、プロモーションを新規作成するための適切な許可がありません。

[新規 Promotion] フォームが表示されます。

新規 Promotion					
名前	目標	セグメント	割引	期間	表示
名前と説明					
*名前: <input type="text"/>					
説明: <input type="text"/>					
キャンセル 完了 続行					

4. [名前] フィールド内をクリックして、固有でわかりやすいリコメンデーション名を入力します。スペースを含む、最大 64 文字の英数字を使用できます。先頭には必ず文字を指定してください。
5. [説明] フィールドに、プロモーションの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を使用できます。
6. [続行] またはプロモーションナビゲーションバーの**目標**リンクをクリックして選択します。

目標フォームが表示されます。

このナビゲーションバーを使用すると、プロモーションフォームの入力作業を省略することができますが、最初のプロモーションは、必ず**続行**ボタンを使用する手順で作成してください。フォームに入力された情報は、[完了] をクリックするまでデータベースには保存されません。

ステップ 2 プロモーションの目標の定義

新規 Promotion: Winter Special

名前 目標 セグメント 割引 期間 表示

目標

このプロモーションの目標を必要に応じて入力します。この情報はプロモーションの概要に含まれます。

1.

2.

3.

キャンセル 完了 続行

プロモーションの目標について記述しておくこと、他の担当者が自分の作業を確認する場合や、プロモーション終了後にそのプロモーションの設計理由について記録しておきたい場合に便利です。

1. 1 番目の [目標] フィールドに、目標を入力します。
2. 必要に応じて、2 番目、3 番目の [目標] フィールドにも目標を入力します。
3. [続行] をクリックします。

[セグメント] フォームが表示されます (ステップ 3 へ)。

ステップ 3 プロモーションの対象ビジターの定義

新規 Promotion: Winter Special

名前 目標 セグメント 割引 期間 表示

セグメント

すべてのビジターに適用

選択されたセグメントに適用:

セグメント名	説明
<input type="checkbox"/> Horror Movie Segment	Customers who buy at least 2 horror movies in 12 months.
<input type="checkbox"/> Comedy Segment	Customers who buy at least 2 comedy movies in 12 months.
<input type="checkbox"/> Indie Movie Segment	Customers who buy at least 2 indie movies in 12 months.
<input type="checkbox"/> Classic Movie Segment	Customers who buy at least 2 classic movies in 12 months.

キャンセル 完了 続行

セグメントフォームを使用して、プロモーションの対象者となるビジターを選択します。ここでビジターを選択しない場合は、すべてのビジターがプロモーションの対象者となります。

1. 以下のいずれかを実行します。

- サイトのすべてのビジターにプロモーションを提供するには、[すべてのビジターに適用] を選択します。
 - プロモーションの対象者を特定のセグメントに属するビジターに限定するには、**選択されたセグメントに適用**を選択して、プロモーションを提供するセグメントを選択します。
2. オプションプロモーション用に新しくセグメントを作成するには、以下の手順を実行します。
 - a. フォームの右上にある矢印アイコンをクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 - b. 新しいウィンドウで、新しくセグメントを作成します。セグメントの作成の詳細については、[164 ページの「セグメントの作成」](#)を参照してください。
 - c. ペアレントウィンドウ（プロモーションを作成中のウィンドウ）内の [更新] アイコンをクリックします。
 - d. このセグメントをプロモーションに含めるには、このステップ 3 の最初の手順を繰り返します。
 3. [続行] をクリックします。
[割引] フォームが表示されます（ステップ 4 へ）。

ステップ 4：割引の定義

新規 Promotion: Winter Special

名前 目標 セグメント **割引** 期間 表示

割引額

購入:

割引がありません

パーセント プロモーション対象製品を割引く

カタログ内の全製品

ツリーでアイテムを指定してください (ツリーの該当タブでアイテムを選択してから [追加] をクリックします)。

請求書または領収書に表示される購入割引の説明:

配送料:

パーセント ドルを配送料から割引く

請求書または領収書に表示される配送料割引の説明:

店舗IDは

注

ビジターの現在のショッピングカートの状態に基づいた割引を設定するには、ショッピングカートに基づいてセグメントを作成します。次に、そのセグメントをプロモーション用を選択します。ショッピングカートに基づいたセグメントの作成については、177 ページの「[手順 4：ショッピングカート基準によるセグメントの定義](#)」を参照してください。

割引を定義するには、以下のオプションを使用します。

- [オプション 1 ショッピングカートの合計額に対する割引](#)
- [オプション 2 特定製品の割引](#)
- [オプション 3 配送料の割引](#)

オプション 1 と 3、オプション 2 と 3 を組み合わせることはできますが、オプション 1 と 2 を組み合わせることはできません。

オプション 1 ショッピングカートの合計額に対する割引

1. 購入の 2 番目のオプションを選択して、割引率を定義する値を設定します。たとえば、\$5 割引の場合は以下のように値を設定します。

購入:

- 割引がありません
 プロモーション対象製品を割引引き

10% 割引の場合は以下のように値を設定します。

購入:

- 割引がありません
 プロモーション対象製品を割引引き

2. [\[カタログ内の全品\]](#) を選択します。
3. [\[請求書または領収書に表示される購入割引の説明\]](#) テキストボックスに、割引率の説明を入力します。このフィールドに入力された説明は、請求書または領収書の割引が適用されるアイテムの横に表示されます。ビジターが請求書の計算方法を理解できるように説明してください。

以下に例を示します。

請求書または領収書に表示される購入割引の説明:

4. [\[続行\]](#) をクリックするか、[オプション 3 配送料の割引](#) に進みます。

オプション 2 特定製品の割引

1. 購入の 2 番目のオプションを選択して、割引率を定義する値を設定します。たとえば、\$5 割引の場合は以下のように値を設定します。

購入:

- 割引がありません
- プロモーション対象製品を割引き

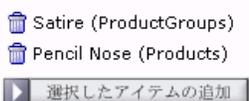
10% 割引の場合は以下のように値を設定します。

購入:

- 割引がありません
- プロモーション対象製品を割引き

2. 割引を適用する製品を選択します。
 - a. [特定のプロダクトまたはプロダクトカテゴリ] を選択します。
 - b. ツリーで、割引を適用するフレックスアセットに対する適切なタブを選択します。Burlington Financial サンプルサイトでは、[Product] タブです。
 - c. ツリーからプロダクトまたはプロダクトカテゴリをクリックして選択します。複数のアセットを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか（隣接しないアセットを選択する場合）、Shift キーを押しながらクリックします（隣接したアセットを選択する場合）。
 - d. [Promotion] フォームで、[選択したアイテムの追加] をクリックします。
ツリーがオフになっている場合は、**選択したアイテムの追加**ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択できます。
選択されたフレックスアセットまたはフレックスペアレントはフォーム上に表示されます。以下に例を示します。

- ツリーでアイテムを指定してください(ツリーの該当タブでアイテムを選択してから[追加]をクリックします)。:



3. テキストボックスに、割引率の説明を入力します。このフィールドに入力された説明は、請求書または領収書の割引が適用されるアイテムの横に表示されます。ビジターが請求書の計算方法を理解できるように説明してください。
以下に例を示します。

請求書または領収書に表示される購入割引の説明:

4. [続行] をクリックするか、[オプション 3 配送料の割引](#) に進みます。

オプション 3 配送料の割引

購入価格の割引に加えて、または購入価格の割引の代わりに、配送料を割引することもできます。

1. [配送料] の下で、割引率を定義する値を設定します。
たとえば、配送料に 15% 割引を適用する場合は以下のように値を設定します。

配送料:

ドルを配送料から割引く

2. [請求書または領収書に表示される送料割引の説明] テキストボックスに、割引率の説明を入力します。このフィールドに入力された説明が、請求書または領収書の割引が適用されるアイテムの横に表示されます。ビジターが請求書の計算方法を理解できるように説明してください。

以下に例を示します。

請求書または領収書に表示される配送料割引の説明:

3. [続行] をクリックします。

期間フォームが表示されますステップ 5 へ。

ステップ 5 プロモーション期間の定義

新規 Promotion: Winter Special

名前 目標 セグメント 割引 期間 表示

期間

開始日時を指定: 時刻 :

終了日時を指定:

削除されるまで適用

適用対象

次の期限まで適用: 時刻 :

プロモーションの実施期間を指定しない場合は、そのプロモーションが削除されるまで実施されます。

1. [期間] の下で、開始日時を設定します。
2. プロモーションを終了する日時を指定します。以下のいずれかを実行します。
 - プロモーションを削除するまで、または期間を変更するまで実施するには、削除されるまで適用を選択します。期間を限定しない継続型のプロモーションを設計している場合は、このオプションを使用します。このプロモーションをキャンセルするには、削除するか、期間終了日を指定します。
 - プロモーションを、ステップ 1 で指定した開始時刻から一定期間実施するには、[適用対象] をクリックします。テキストボックスに整数（分数、小数以外）を入力して、ドロップダウンフィールドから単位（時、日、週、月、年）を選択します。
 - プロモーションを指定日まで実施するには、[次の期限まで適用] を選択して終了日時を指定します。デフォルトでは、現在の日付と時刻が表示されます。
3. [続行] をクリックします。

[表示] フォームが表示されます（ステップ 6）。

ステップ 6 サイトのプロモーションの広告

新規 Promotion: Winter Special

▶名前 ▶目標 ▶セグメント ▶割引 ▶期間 表示

サイトの表示

以下のテキストまたは他のメディアを使用してプロモーションを表示してください
(ツリーの該当タブでアイテムを選択してから [追加] をクリックします)。:

▶ 選択したアイテムの追加

キャンセル 完了

1. ツリーで、プロモーションの広告に使用するアセットに対する適切なタブを選択します。
2. プロモーションの広告に使用するアセットの名前をクリックして選択します
通常、プロモーションバナーは、アーティクルまたはイメージとして保存されています。

注

複数のアセットを選択することができます Ctrl キーまたは Shift キーを押しながらクリックします。複数のアセットを選択した場合、プロモーションがサイトページに表示されるときに、ビジターが属するセグメントに対して最高のレーティングを持つコンテンツが表示されます。つまり、このプロモーションを複数のセグメントに対して使用している場合は、セグメント固有の広告バナーをプロモーション用に使用することができます。

3. [選択したアイテムの追加] をクリックします。

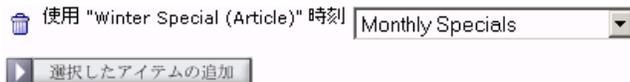
ツリーがオフになっている場合は、**選択したアイテムの追加** ボタンの代わりに右向き矢印が表示されます。これをクリックすると、ポップアップウィンドウが開いて、アクティブリストおよび履歴からアイテムを選択できます。

アイテムがフォーム内のリストに表示され、各アイテム名の横にはリコメンデーションのドロップダウンリストボックスが表示されます。以下に例を示します。

🗑 使用 "Winter Special (Article)" 時刻 [リコメンデーションを選択]

▶ 選択したアイテムの追加

4. 1 番目のアイテムの横にある [リコメンデーションを選択] フィールドをクリックします。のアイテムに置き換える (上書きする) リコメンデーション名を選択します **ステップ 3** (このリコメンデーションによって、**ステップ 3** で選択したテキストを表示する場所が提供されます)。以下に例を示します。



5. [ステップ 3](#) で選択した各アイテムに対して、[ステップ 4](#) を繰り返します。
6. [完了] をクリックします。
[調査] フォームが表示され、プロモーションに関する概要リストが表示されます。

サンプルプロモーションアセット

Engage と Burlington Financial Extensions インストールすると、High Risk Discount というサンプルプロモーションアセットもインストールされ、ツリーの [Marketing] タブに表示されます。このプロモーションは、[Marketing] タブにも表示されるサンプルセグメントおよびリコメンデーションアセットと連動して動作するよう設計されています。このサンプルプロモーションをテンプレートとして使用すると、サイト用のプロモーションアセットを作成できます。

プロモーションのパブリッシュ

プロモーションを作成したら、プロモーションを配信システムにパブリッシュできるように承認する必要があります。プロモーションはパブリッシュされた後で有効になります。パブリッシュを承認する前には、必ずプロモーションが正しく設定されていることを検証するための調査または確認を行ってください。

アセットの承認の詳細については、[第 5 章 「パブリッシュ」](#) を参照してください。

付録

この部は、以下の付録から構成されています。

- [付録 A 「フレックスアセットモデル」](#)

付録 A

フレックスアセットモデル

コンテンツプロバイダは、フレックスアセットモデルについてすべてを理解する必要はありません。この付録では、このデータモデルやコントラクトプロバイダとフレックスアセットモデルの関連性についての基本的な概念を説明します。

この付録は、以下の節から構成されています。

- [フレックスアセットモデルの概要](#)
- [フレックスアセットの機能](#)

フレックスアセットモデルの概要

第1章「概要」でも説明されているように、Content Server 開発者は、ベーシックアセットモデルとフレックスアセットモデルの2種類のアセットデータモデルを使用して、アセットタイプを作成したり、アセットデータを Content Server データベースに保存する方法を定義します。

フレックスアセットモデルは、ベーシックアセットモデルよりデータ構造が複雑です。ベーシックアセットでは、アセットのインスタンス情報は1つのデータベーステーブルに保存されますが、フレックスアセットでは、フレックスアセットのインスタンス情報は複数のデータベーステーブルに保存されます。

基本アセットタイプがスタンドアロンアセットタイプであるのに対し、フレックスアセットタイプは複数のアセットタイプのファミリーから構成されます。フレックスファミリーの構成メンバー：

- フレックス属性タイプ（必須）
- フレックスアセットタイプ（必須）
- フレックス定義（必須）
- フレックスペアレント（必須）
- フレックスペアレント定義（必須）
- フレックスフィルタタイプ（必須）

フレックスファミリーのメンバーはアセット継承ツリーを構成して、子アセットにペアレントアセットからさまざまな属性が継承されます。

コンテンツプロバイダが直接作業することになるフレックスファミリーのメンバーは、主に主要メンバーであるフレックスアセットとなります（他のメンバーはすべて何らかの形でフレックスアセットに関与しています）。適切な権限がある場合は、フレックスアセットの特性であるフレックス属性を新しく作成することになる可能性もあります。

フレックスアセットモデルについては、『*Content Server Developer's Guide*』を参照してください。

フレックスアセットの機能

コンテンツプロバイダの業務内容のほとんどは、フレックスアセットであってもベーシックアセットであっても同じことが多いため、これらのアセットタイプの厳密な区別は重要ではありません。ただし、作業内容によっては、フレックスアセットに特有な機能を使用することもあります。

注

この機能にアクセスできるかどうかは、Content Server 管理者から与えられたロールと許可によって決まります。

Engage の使用

Engage は、ベーシックアセットとフレックスアセットのどちらでも使用できますが、フレックスアセットで使用する場合の方がより多くの Engage 機能を使用できます。

- セグメントに対するレーティングができるのは、フレックスアセットとフレックスペアレントのみです。ベーシックアセットのレーティングはできません。アセットのレーティングの詳細は、[183 ページの「レーティングおよび確信度について」](#)を参照してください。
- 関連アイテムリコメンデーションはフレックスアセットに対してのみ作成できます。関連アイテムリコメンデーションの詳細は、[191 ページの「関連アイテム」](#)と [209 ページの「フレックスアセットの関係の設定」](#)を参照してください。
- リコメンデーションアセットのソート順を設定するときは、ソートオプションとして使用できるのは、フレックス属性のみです（ベーシック属性は不可）。詳細は、[187 ページの「ソートオプション」](#)を参照してください。

アセットの検索

- 特定の属性を検索できるのは、フレックスアセットのみです。詳細は、[76 ページの「特定の属性の検索」](#)を参照してください。

新しいアセットの作成

- 新しくフレックスアセットを作成する場合、その新しいアセットのペアレント（1つまたは複数）を選択するためのフィールド（コンテンツ入力フォーム）が表示されることがあります。
 - アセットタイプがどのように設定されているかによって、このフィールドは必須またはオプションとなります。
 - ペアレント選択フィールドの横に(S)または(M)が表示されます。(S)が表示されている場合は、1つのペアレントのみ選択できます。このフィールドが必須の場合は、ペアレントを1つ選択してから、新しく作成したアセットを保存します。(M)が表示されている場合は、複数のペアレントを選択できます。このフィールドが必須の場合は、ペアレントを1つ以上選択してから、新しく作成したアセットを保存します。
 - 開発者によって導入されたデザインによって、ペアレントの選択は選択ボックスまたはツリーを使用します。
- 適切な許可がある場合は、新しくフレックス属性を作成することになる可能性があります。フレックス属性に名前を付ける場合、名前にはスペースを含めることはできません。

手順の索引

Content Server の標準インターフェイスでアセットを編集するには.....	79
Content Server の標準インターフェイスにログインするには.....	44
InSite Editor を使用するには.....	80
アセットのコンテンツを挿入するには.....	85
外部リンクを挿入するには.....	83
内部リンクを挿入するには.....	82
アサイメントに対する承認作業をキャンセルする手順	128
アサイメントを委任するには.....	126
アサイメントを再度承認するには.....	129
アサイメント期限を設定するには.....	123
アセットにレーティングを割り当てるには.....	208
アセットのバージョン履歴を確認するには.....	150
アセットのワークフロー進行状態を調べるには.....	132
アセットの検索を実行するには.....	72
アセットの参加者リストを調べるには.....	131
アセットの承認状態を確認するには.....	99
アセットをチェックアウトするには.....	149
アセットをチェックインするには.....	150
アセットをエクスポート開始ポイントとして指定するには	104
アセットをコピーするには.....	69
アセットをロールバックするには.....	151
アセットをワークフローから削除するには.....	131
アセットをワークフローグループから削除するには	139
アセットをワークフローグループに追加するには	137
アセットを関連付けるには (Burlington Financial を例に使用)	90

アセットを共有するには.....	87
アセットを削除するには.....	92
アセットを新規作成するには.....	67
アセット間の関係を設定するには.....	209
関連アイテムリコメンデーションを作成するには.....	201
検索結果を保存するには.....	75
検索結果リストからアクティブリストにアセットを追加するには.....	62
検索条件を保存するには.....	74
現在のパブリッシュ処理を調べるには.....	107
コレクションを作成するには.....	88
承認済みのアセットをパブリッシュするには.....	105
スケジュール設定されたパブリッシュアクティビティを確認するには.....	108
静的リストリコメンデーションを作成するには (リコメンデーションモード).....	192
静的リストリコメンデーションを作成するには (リストモード).....	196
[調査] フォームからアセットを追加するには.....	62
チェックアウトを元に戻すには.....	149
動的リストリコメンデーションを作成するには.....	198
特定の属性および属性値を検索するには.....	76
パブリッシュするアセットを承認するには.....	98
パブリッシュ先に対する競合を解決するには.....	103
パブリッシュ履歴を確認するには.....	109
複数のアセットを既存のワークフローグループに追加するには.....	137
プロセス期限を設定するには.....	121
保存済みの検索を実行するには.....	76
保存済みの検索を編集するには.....	76
リコメンデーションのソート順を設定するには.....	204
リコメンデーションアセットを編集するには.....	205
リストからアセットを消去するには.....	63
レポート条件を保存するには.....	142
ロックされたアセットのロックを解除するには.....	152
ログアウトするには.....	64
ワークフローの参加者を設定するには.....	132
ワークフローをアセットに割り当てるには.....	119
ワークフローグループを作成するには.....	134
ワークフローグループを編集または削除するには.....	139
ワークフローレポートを作成するには.....	141
ワークフローレポートを実行するには.....	143
ワークフローレポートを編集または削除するには.....	144

索引

Numerics

0

- 確信度の値 186
- レーティング 184, 185

100

- 確信度の値 186
- レーティング 184, 185

B

- Burlington Financial サンプルサイト 37
- サンプルアセット 39

C

- Content Server 16
 - 概要 16
- Content Server Desktop
 - Word アセットの作成 70
 - Word アセットの編集 79
 - オンラインヘルプ 70
 - クライアントソフトウェア 79, 70
 - Word アセットの編集 79
- Content Server DocLink
 - オンラインヘルプ 80
 - クライアントソフトウェア 80
 - ファイルアセットの編集 80
- Content Server インターフェイス
 - アイコンバー 53
 - 作業領域 60
 - ボタンバー 47

- CO サンプルサイト 37
 - サンプルアセット 38
- CS, Content Server を参照
- CS-Desktop, Content Server Desktop を参照
- CS-DocLink, Content Server DocLink を参照

E

- Engage
 - 概要 155

F

- FirstSite サンプルサイト 37
- サンプルアセット 37

G

- GE Lighting サンプルサイト 37
- サンプルアセット 40

H

- HelloAssetWorld サンプルサイト 37
- サンプルアセット 39
- [History] タブ 56

M

- Microsoft Word
 - アセットの作成 70, 66
 - アセットの変更 66, 79

N

- [New Recommendation] フォーム 192, 196, 198, 201
- Normal Article Process サンプルワークフ

- ロー 115
- サンプルワークフロー 98
- S**
- SQL エンジン
 - Verity 78
- SQL 検索 78
- SQL リコメンデーション 182, 189
- V**
- Verity 検索エンジン 78
- W**
- Windows アプリケーション
 - アセットの作成 71
- Word, Microsoft Word, Content Server Desktop を参照
- X**
- XML にアセットをエクスポートパブリッシュする
 - 外部パブリッシュ先 94
- あ**
- アーティクルアセット
 - 埋め込みリンク 82
- アイコンバー 53
- アクションバー 51, 60
- アクティブリスト
 - アセットの消去 63
 - アセットの追加 61
 - 使用 63
 - 表示 54, 62
- アクティブリストからアセットの消去 63
- アサイメント
 - 委任 114, 126
 - エクスポート開始ポイント 104
 - 完了 124
 - 期限 124
 - 期限日 113
 - キューされる 114
 - 承認 113
 - 承認作業のキャンセル 128, 114
 - 取り消される 114
 - 表示 113, 124
 - プロモーション期間 221
 - 保持 126
 - 保留中 124
 - レーティング 208
 - ワークフロー内 31
- [アサイメントの委任] フォーム 128
- アサイメントの完了 124
- アサイメントリスト 53, 113
- アサイメント期限を設定するには 123
- アサイメントに対する承認作業をキャンセルする手順 128
- アサイメントを委任するには 126
- アセット
 - チェックアウト 146
 - eWebEditPro の使用 81
 - アセットコンテンツを埋め込む 85
 - 依存関係 29, 94
 - 関係 90
 - 関係の定義 209
 - 外部リンクの埋め込み 83
 - 機能 61
 - 共有 86
 - 作業の許可 27, 66
 - 削除 92
 - サブタイプ 96
 - 参加者リスト 131
 - サンプルサイトアセット 37
 - 承認 29, 94, 98
 - 状態の表示 119
 - タスク 26
 - チェックアウト 149
 - チェックイン 146, 150
 - 定義 17
 - 内部リンクの埋め込み 82
 - パブリッシュ 30, 105
 - プレビュー 60, 100
 - 編集 79, 91
 - ランク 29
 - ランク付け 88
 - ロールバック 151
 - ロック解除 152
 - ワークフローからの削除 130, 138
 - ワークフローグループに追加 137

ワークフローの種類 112
アセット間の関係を設定するには 209
アセットアソシエーション 59
アセットタイプ
クエリー 24
セグメント 156
プロモーション 157
ページ 24
リコメンデーション 156
リコメンデーション用にソート 187
リンク 24
アセットの関連 90
アセットの検索を実行するには 72
アセットの承認
依存関係の解決 103
手順 98
パブリッシュするため 29, 94, 98
アセットの順序付け, コレクションの作成を参照
アセットのランク付け 29, 87
アセットのロック解除 152
アセットフォームの関連アイテムセクション 191
アセットフォームレーティングセクション 191
アセットをエクスポート開始ポイントとして指定するには 104
アセットを関連付けるには (Burlington Financial を例に使用) 90
アセットを共有するには 87
アセットを削除するには 92
アセットを新規作成するには 67
アセットをチェックインするには 150
アセットをチェックアウトするには 149
アソシエーション
アセット 29
新しいウィンドウ 54
誤ったチェックアウト 151

い

依存関係
一致 95

解決 99, 103
基本アセット 94
存在 94
パブリッシュ 29
フレックスアセット 94
依存関係の解決 99, 103
一致の依存関係 95

う

埋め込みリンク
アセットコンテンツ 85
外部 83
タイプ 82
内部 82
フレックスアセット 86

え

エクスポート開始ポイント
アサイメント 104
定義 96
テンプレート 105

お

大文字と小文字の区別
検索 72
オプションの適用
選択したセグメント (プロモーション) 218
オンラインドキュメント 54
オンラインヘルプ 71

か

カート, ショッピングカートを参照
確信度 185
継承 186
ソート基準 187
範囲 186
列 (フレックスアセットフォーム) 210
[数]フィールド (セグメント) 170
カタログ内の全品オプションプロモーション 219

関係
名前付き関連 90
無名 90

関連

無名 90
名前付き 90
関連アイテムリコメンデーション 182, 191
レーティングの算出 191

関連アセット 209

き

期間制限オプション (セグメント) 167
期限

ワークフローのアサイメント 121
ワークフロープロセス 121

基本アセット

依存関係 94
説明 24

共有

アセット 86

許可

アセットの共有 86
アセットの使用 27, 66
機能 61
パブリッシュの承認 98
ロールに与えられている 31, 113

く

クエリー

コレクション 87

クエリーアセット

コアアセットタイプ 24

クライアントソフトウェア 71

グループ, ワークフローグループを参照

グループデッドロック 115

グループデッドロックの解決 130

け

計画

リコメンデーション 182

継承

確信度 186
レーティング 184

検索

SQL 78
基本 72
基本的な検索の実行 72
共有 48

結果 73

結果の保存 75

検索条件の入力 73

検索条件の保存 74

詳細 73

属性値 76

保存 48

検索結果リストからアクティブリストに
アセットを追加するには 62

検索結果を保存するには 75

検索条件を保存するには 74

検索スタイルオプション 186

検索の特徴 72

[検索] フォーム 74

こ

[更新] コマンド 57

構造化されたコンテンツアセット

定義 22

構造化されたコンテンツアセットタイ
プ 22

構築

コレクション 29

購入オプションプロモーション 219

候補リスト (ページフォーム) 90

[この基準を追加] ボタン (セグメン
ト) 166

子ページ 51

コマンド

更新 57

削除 57

新規 57

状態 57

すべてクリア 57

すべて更新 57

調査 57

プレビュー 57

編集 57

ページの配置 57

コレクション

構築 29

作成 88

合計

- ショッピングカート内のアイテム数オプション (セグメント) 177
- ショッピングカートの合計金額オプション (セグメント) 177
- フィールド (セグメント) 168
- さ**
- サーバーにミラーパブリッシュする
 - デフォルトの依存関係タイプ 95
 - 動的パブリッシュ先 93
 - [パブリッシュ] フォーム 106
- 最高 オプション (選択基準) 186
- 最後 (履歴定義) 173
- [最終記録日] オプション (セグメント) 173
- [最先記録日] オプション (セグメント) 172
- サイト
 - 現在のセッション中に選択 54
 - ログイン時に選択 45
- サイトツリーの切り替え 54
- サイトの切り替え 54
- サイトの表示 222
- サイトプラン
 - ツリービュー 55
 - ページの配置 29
 - ボタンバービュー 50
 - ボタンバービュー内のパス 51
- サイトルートノード 50, 55
- 削除
 - アセット 92
 - ワークフローグループ 139
- [削除] コマンド 57
- 作成
 - アセット 66
 - コレクション 88
 - セグメント 164, 216
 - プロモーション 216
 - ワークフローグループ 134
- サブタイプ
 - 名前付き関連 90
- サンプルワークフロー 98
- 参加者
 - 設定 132
 - 定義 113
 - 表示 131
- [参加者の設定] フォーム 120
- 算出
 - レーティング 188-192
- サンプルサイト
 - BurlingtonFinancial 37
 - CO 37
 - FirstSite 37
 - GE Lighting 37
 - HelloAssetWorld 37
- サンプルサイトアセット
 - Burlington Financial 39
 - CO 38
 - FirstSite 37
 - GE Lighting 40
 - HelloAssetWorld 39
- サンプルワークフロー 115
- し**
- 指示フィールド (リコメンデーション) 205
- システムデフォルトレーティング 183
- 詳細検索 73
- 承認
 - 依存関係 29, 94
 - キャンセル 128
 - デッドロック 114
 - デッドロックを解決するための承認 129
 - ステータス 101
- [承認作業のキャンセル] フォーム 129
- 承認済みのアセットをパブリッシュするには 105
- 初回 (履歴定義) 172
- ショッピングカート 162
 - セグメントの定義に使用 177
 - カート内のアイテムの割引 219
- [新規] コマンド 57
- 持続的リスト, アクティブリストを参照
- [実行者コメント] フィールド (ワークフロー) 125
- 自動チェックアウトまたはチェックイ

ン 147

状態

サンプルワークフロー 115

ワークフロー 112

[状態]コマンド 57

す

スタートメニュー 66

ステージングシステム, 管理システムを参照

[ステータス]フォーム 101

ステップ

サンプルワークフロー 115

ワークフロー 112

[すべてクリア] コマンド 57

[すべて更新] コマンド 57

せ

請求書または領収書に表示される購入割引の説明 フィールド (プロモーション) 220

請求書または領収書に表示される購入割引の説明 フィールド (プロモーション) 219

請求書または領収書に表示される送料割引の説明 フィールド (プロモーション) 221

制限の追加 166

静的パブリッシュ, ディスクにエクスポートするを参照

静的リストリコメンデーション 182, 188

レーティングの算出 188

セグメント

概要 159

合計に基づく 168, 170

最後のレコードに基づく 173

最初のレコードに基づく 172

作成 164, 216

ショッピングカートに基づく 177

名前を付ける 164, 216

ビジター属性で定義 165

ビジターの分類 156

プロモーションの対象 217

履歴属性に基づく 174

履歴定義で定義 166

レーティング 208

セグメント外

列 209

レーティング 183

[セグメント定義]フォーム 163

セグメント適用外ユーザーのレーティング フィールド 183, 209

セグメント内

レーティング 183

列 209

[セグメントのフィルタ条件]フォーム 164

セッションの定義 56

設定

アセット間の関係 209

ソート順 204

[説明]フィールド

セグメント 164

説明フィールド

プロモーション 216

選択

関連するアセット 210

ショッピングカートセグメント用のプロダクト 178

ツリーをオフにしたときのアセット 59

プロモーションの対象セグメント 217

別のサイト 54

ログイン時のサイト 45

割引対象プロダクトプロモーション 220

[選択した属性の値]オプション (セグメント) 175

[選択したアイテムの追加] ボタン (プロモーション) 220

[選択したアイテムの追加] ボタン (プロモーション) 222

[選択した属性の値]オプション (セグメント) 176

そ

送料割引 220

ソート機能

アセットタイプ 187

オプション 187

確信度 187

- プロダクト属性 187
- レーティング 187
- ソート順
 - 設定 204
- 存在の依存関係 94
- 増分パブリッシュ 97
- 属性
 - 検索 76
 - ビジター 160
 - 履歴 160, 174
- 属性タイプ フィールド (リコメンデーション) 204
- 属性 フィールド (リコメンデーション) 204
- た**
- タブ, ツリータブを参照
- ち**
- チェックアウト
 - 実行 149
 - 定義 146
 - 自動 147
- チェックアウトリスト 53
- チェックアウトを元に戻す 146, 149
- チェックイン
 - 実行 150
 - 自動 147
 - 定義 146
- [調査] コマンド 57
- [調査] フォーム (アセットの状態) 119
- つ**
- 追加
 - アクティブリストにアセットを 61
 - ワークフローグループへアセットを 137
- ツリー
 - オン/オフの切り替え 54
 - ポップアップメニュー 57
 - 右クリックメニュー 57
- ツリータブ
 - Content 56
 - アクティブリスト 56
 - カスタム 56
- 管理 56
- クエリー 56
- サイトプラン 56
- 製品 56
- デザイン 56
- マーケティング 56
- 履歴 56
- て**
- 定義
 - アセット間の関係 209
 - プロモーション期間 221
 - プロモーションの対象セグメント 217
 - プロモーションのための割引 219
- 適用オプション
 - 削除されるまで適用 (プロモーション) 221
 - すべてのビジタープロモーション 217
 - 次の期限まで適用 (プロモーション) 221
 - 適用対象 (プロモーション) 221
- テスト
 - リコメンデーション 210
- テンプレートアセット
 - デフォルト承認 96
 - 183
 - エクスポート開始ポイント 105
 - デフォルト承認 100
- テンプレート フィールド (リコメンデーション) 193, 196, 198, 202
- ディスクにエクスポートパブリッシュする
 - デフォルトの依存関係タイプ 95
 - 静的パブリッシュ先 93
 - [パブリッシュ] フォーム 106
- デザインアセット 24
- デッドロック
 - 解決 129
 - 定義 114
- デッドロックの解決 114, 129
- デフォルト承認テンプレート 96, 100
- デフォルトレーティング 183
- 電子メール通知
 - アサイメントの委任 114, 128

デッドロック 114
ワークフローのアサイメント 113

と

[特定の期間に制限] (セグメント) 168
[特定のプロダクトに制限] オプション (セグメント) 178

特定のプロダクトまたはプロダクトグループオプションプロモーション 220

動的パブリッシュ, サーバーにミラーパブリッシュするを参照

動的リストリコメンデーション 182
レーティングの算出 189

ドキュメント, オンラインドキュメントを参照

ドキュメントアセット
定義 22

ドキュメントアセットタイプ 22

な

名前付き関連 90

[名前] フィールド
セグメント 164
プロモーション 216

は

配信タイプ
サーバーにミラーする 93
XML にアセットをエクスポートする 94
ディスクにエクスポートする 93

送料オプションプロモーション 220

範囲

確信度の値 186
レーティング 184

パブリッシュ
XML にアセットをエクスポートする 94
アセット 30, 105
依存関係 29
依存関係の解決 99, 103
エクスポート開始ポイント 96
サーバーにミラーする 93, 106
増分 97
ディスクにエクスポートする 93, 106
ルール 96

パブリッシュコンソール

定義 98

パブリッシュ 105
パブリッシュイベント 30
ボタンバー 52

パブリッシュの承認

一致の依存関係 95
自動化された 118
存在の依存関係 94
デフォルトテンプレート 100, 96

パブリッシュのルール 96

パブリッシュ方法, 配信タイプを参照

ひ

表示

アクティブリスト 54, 62
アサイメント 53
アセットの状態 119
アセットの履歴 54
チェックアウト 53
ワークフロー履歴 132

ビジター属性 160

セグメントの定義に使用 165

ビジターデータアセット 160

ふ

ファイルアセットの作成 71

フィルタ

合計に基づく 168, 170
最後のレコードに基づく 173
最初のレコードに基づく 172
ショッピングカートに基づく 177
履歴属性に基づく 174

フォーム

アサイメントの委任 128
検索 74
参加者の設定 120
承認作業のキャンセル 129
新規 47
マイアサイメントの終了 125
ログイン 44
ワークフローグループ 134
ワークフローグループへの追加 138
ワークフローの選択 120
ワークフローレポート 141

- ワークフローレポートの結果 142
 - ワークフローレポートの保存 142
 - フレックスアセット
 - 依存関係 94, 95
 - 埋め込みリンク 86
 - 説明 24
 - プレビュー
 - アセット 60, 100
 - [プレビュー]コマンド 57
 - プロセス期限を設定するには 121
 - プロダクト属性
 - リコメンデーション用にプロダクトソート 187
 - プロモーション
 - 価値の定義 157
 - 概要 214
 - 期間 221
 - 作成 216
 - ショッピングカートに基づく 162
 - 重複 214
 - セグメント 160
 - 名前を付ける 216
 - 表示 222
 - 目標 217
 - リコメンデーションの置き換え 214
 - 割引の定義 219
 - プロモーション期間 221
 - プロモーションの重複 214
 - プロモーションの対象ビジター 217
 - プロモーションの長さ 221
 - プロモーションの場所 222
 - プロモーションの表示 222
- へ
- ヘルプ 54
- 編集
- eWebEditPro でアセットを編集 81
 - アセット 79
 - ページ 91
 - 保存済みの検索 76
 - ワークフローグループ 139
 - ワークフローレポート 144
 - [編集]コマンド 57
 - [編集]フォーム (アセットの状態) 119
 - 別の基準を追加 166
 - ページ
 - 配置 29
 - 配置解除 50
 - 編集 91
 - ページアセット
 - コアアセットタイプ 24
 - ページの更新 91
 - ページの配置 29
 - [ページの配置]コマンド 57
 - [ページ]フォームの候補リスト 90
 - ページフォームの候補リスト 90
- ほ
- 保存
 - 検索条件 48, 74
 - ワークフローレポート条件 142
 - 保存済みの検索
 - 編集 76
 - 保存済みの検索を実行するには 76
 - ボタンバー
 - Content Server インターフェイス 47
 - 検索 48
 - サイトプラン 50
 - 新規 47, 66
 - パブリッシュ 52
 - マイワーク 48
 - ワークフロー 49
 - ポップアップメニュー 57
- ま
- マイアクティブリストに追加ボタン 61
 - マイアクティブリストの表示 54
 - マイアクティブリストへの追加ボタン 62
 - [マイアサイメントの終了]フォーム 125
 - マイアサイメントの表示 53
 - マイチェックアウトの表示 53, 151
 - 前のバージョンへの復元 151

み

右クリックメニュー 57

む

無名関係 90

め

メニュー

ポップアップ 57

右クリック 57

も

目標フィールド（プロモーション） 217

ゆ

ユーザー

ルール 113

ら

ランダム オプション（選択基準） 186

り

リコメンデーション

SQL 182, 189

アセット間の関係の定義 209

アセットのレーティング 156

関連アイテム 182, 191

概要 181

作成 182

静的リスト 182, 188

セグメント 160

テスト 210

動的リスト 182

プロモーションによる置き換え 214

レーティング 182

リコメンデーションのソート順を設定するには 204

リビジョントラッキング

バージョンの表示 150

アセットのロック解除 152

自動チェックアウトまたはチェックイン 147

チェックアウト 32, 146, 149

チェックアウトを元に戻す 32, 146, 149

チェックイン 32, 146, 150

リビジョン履歴 147, 150

ロールバック 32, 146, 151

リビジョン履歴 147, 150

履歴属性 160

セグメントの定義に使用 174

履歴定義 160

セグメントの定義に使用 166

履歴の表示 54

リンク, 埋め込みリンクを参照

リンクアセット

コアアセットタイプ 24

れ

レーティング

0 または 100 のルール 185

アセットに割り当てる 208

継承 184

算出 188-192

システムデフォルト 183

セグメント外 183

セグメント内 183

ソート基準 187

適用レーティングなし 183

デフォルト 208

範囲 184

複数のセグメントが適用されている場合 185

レーティング 列（フレックスアセットフォーム） 209

レポート, ワークフローレポートを参照

レポート条件を保存するには 142

レンダリング用テンプレート 96

ろ

ルール

与えられている許可 46

ワークフロー 113

ロールバック 146, 151

ログアウト 54

ロックされたアセットのロックを解除するには 152

わ

ワークフロー

アサイメントの完了 124

- 参加者の設定 132
- アサイメント 31, 113
- アサイメント期限 124
- アサイメントの委任 126
- アサイメントの表示 124
- アサイメントの保持 126
- アセットの削除 130
- 許可 27, 66, 113
- 参加者 113
- 参加者の表示 131
- サンプル 115
- 承認作業のキャンセル 128
- 状態 112, 115
- ステップ 112, 115
- タスクの状態 134
- 定義 30
- デッドロックの解決 129
- 保留中のアサイメント 124
- 履歴 132
- レポート 50
- ロール 31
- ワークフローアサイメントの保持 126
- ワークフローグループ
 - アセットの削除 138
 - アセットの追加 137
 - 削除 139
 - ステップをグループ単位で同期 114
 - セットアップ 134
 - デッドロック 115
 - デッドロックの解決 130
 - 編集 139
 - [ワークフローグループ]フォーム 134
 - [ワークフローグループへの追加]フォーム 138
 - [ワークフローの選択]フォーム 120
 - ワークフローレポート
 - 検索条件の保存 142
 - 編集 144
 - [ワークフローレポートの結果]フォーム 142
 - [ワークフローレポートの保存]フォーム 142
 - [ワークフローレポート]フォーム 141
 - ワークフローレポートを実行するには 143
- 割引 214
 - ショッピングカート内の全品 219
 - 請求書の説明 220
 - 製品 219
 - 送料 220
 - 特定のプロダクト 220
- 割引の適用 219

